132476

臺灣日日新報
本日二十四頁

國家民人の志

飽くまで正しく強く

[illegible]に昭和七年の新春を迎[illegible]む此年に當り、各人心[illegible]して一段の躍進を期す[illegible]るを失はない。[illegible]れては、聖壽資質愈[illegible]竹の園生の御榮えは千代田城の松の緑と共に色を増す、これ國[illegible]能はざる所である。[illegible]多難なりし年も珍ら[illegible]もありて財政に經濟に或は外交に「國難」とも見らるべきもの相踵ぎ政府も國民も共に慘澹たる辛苦を重ねた。殊に昨年九月十八日には圖らずも奉天大事變勃發し、日支間に重大なる事態の發生を見るに至つた。此の紛爭は延いて世界の主なる國家國民の關心する所となり、取り分け國際聯盟は聯盟規約により又米國は主として不戰條約の立場より日支間の紛爭に深甚なる注意を拂ひ來つた。この間に處して日本政府と國民とは鐵石の心を以て斷然滿洲に於ける我が生命線の確保に努め[illegible]聯盟理事會に於ては我が代表の如き殆ど四面楚歌の間にありて帝國の權益維持に勇往し、世界言論界の支持によつて理事會の大勢を日本に有利にリードした。これ自衛權の範圍に於て正しきに即した日本の主張と行動とが是認是正されたに過ぎずとは言へ、同時に國民の一致協力より得た最も貴き收穫なりと言はねばならぬ。斯くして日支事件は解決に至らずして年を越え、我が皇軍は嚴寒の荒野に雪を踏みつつ匪賊と對峙してゐるのである。誠に國民安逸の時ではなく、協力と團結とは今後に於ても飽くまで嚴守されねばならぬのである。

顧つて世界の大勢を見るに、本年匆々よりは軍縮會議開催さるべく、我が全權は命を含みて既に出發してゐる。更に世界の經濟不況は獨逸の賠償金問題等を中心として容易に立直るべき氣勢も見えず、何時好況に轉じて愁眉を開き得るや殆んど見込みは立たない。この艱難なる時局に當り我が國家民人の志す所は勤儉力行、唯だ一筋に正義に立脚し「正しく強く」をモットーとして精進し勇躍するにある。これ吾人が年頭に際し固く之れに銘記して國民と共に其の實踐を期さねばならぬ所以である。

聖壽萬歲

（兩陛下の御近影）

日支係爭問題につき 國民の御覺悟を願ふ

昭和七年の新春を迎へて

内閣總理大臣 犬養毅

茲に昭和七年の新年を迎ふるに方り[illegible]

◇

[illegible]

◇

[illegible]

◇

[illegible]

臺灣統治

―に關する事務も 重要性を加ふ

海外進出の大急務は 更に強く提唱されん

拓務大臣 秦豐助

[illegible]拓務大臣に任ぜられ、自分は拓務行政統理の任に當ることとなつたのであるが、國家多事の際、此の重責を負ひ只管至誠を以て任に當り、大いに拓務行政の實を擧げ、以て輔弼の任を誤らざらむことを深く期する次第である。

▽

昭和四年六月拓務省の設置を見たのは、時運の進展と共に拓務行政を[illegible]に付し得ざる事情が朝野に痛感せられた結果であつて國策遂行上正に適當の施設と云ふべきである。然るに設置後僅か二年有半にして、前内閣時代に行政整理の犠牲に擧げられ廢止せられんとするに至つたことは、甚だ遺憾に堪へぬことであつたが、斯くの如きは正に時勢を察せず、拓務省の本來の使命を解せざるより出でたるものであつて、甚だ當を缺くものと云ふほかないのである。

▽

我が國の現狀を見るに、内外多事多難であつて無爲消極徒らに坐して環境の好轉を待望し得ざる事情となり、茲に政局の轉換を見た次第であるが、新内閣組織と共に拓務省の存置を確定し拓務行政の中樞機關として其の機能を發揮せしむることになつたのである。

▽

朝鮮、臺灣、關東州、樺太及び南洋群島の統治に關する事務は年と共に重要性を加へること明であり、又滿鐵、東拓の業務の監督に關する事務は益々複雜となつて行くのであるが、更に又遠く南洋南米に於ける移植民及び海外拓殖事業に關しては拓政[illegible]の下に於て海外進出の急務が更に強く認識せらるべきは火を見るよりも明かであらう。

▽

斯の如く拓務省の主管事務は將來益々複雜に且つ重要となるべきであると思ふのであるが、更生の拓務省として直面[illegible]する最も重要なる事務は、刻下の大問題たる滿洲問題に外ならない。

朝鮮總督府及び關東廳に關する事務を統理し、南滿洲鐵道株式會社の業務を監督する等の重責を擔ふ當局者として、滿洲に於ける治安維持の問題、鐵道通信其他の産業問題、在滿鮮人問題等に關しては今回の事變を機として將來の根本方策の樹立に關し、各方面と充分連絡を[illegible]

平和な畑にのみ 文化の華は咲く

統治の第一義的任務は治安の確保

臺灣總督 太田政弘

多事多難なりし昭和六年を送り茲に新しく新年を迎へ、茲に四百萬島民と共に[illegible]

稜威輝く

眞崎軍司令官の近詠

[illegible]

新高嶺を御國のはて
と誰が言ふ御稜威輝く
くみんなみの空

昭和七年五月 日
臺灣日日新報社より寄贈

働くものの「働き易い時代」に

大藏大臣 高橋是清

[illegible]

曉鷄聲

運動精神を 大に鼓吹

文部大臣 鳩山一郎

[illegible]

×　×

[illegible]

×　×

[illegible]

この難局を 奮然打開

陸軍大臣 荒木貞夫

[illegible]

錦州全軍に對し關內總撤退令を發す

三十日張學良より

（北平三十日發電通至急報）張學良は三十日午後八時錦州全軍に對し關內總撤退の命令を發した

關內撤退の部隊天津に向つて退却

第一列車山海關通過

【山海關三十日發電通】錦州軍關內撤退部隊第一列車（車輛二十四、兵五百名、馬百餘頭）は三十日午前四時半山海關を通過天津に向つて退却した、撤退軍は灤州に集結さるるものの如し

錦州政府灤州に移る

追つては自然解消せん

【天津三十一日發聯合】錦州軍の錦州撤退のため錦州の東北邊防軍司令長官公署並びに主要職員は今朝錦州發灤州に引揚げた

【天津三十一日發電通】錦州政府職員は三十一日朝錦州發灤州へ移る

【北平三十一日發電通】錦州軍關內撤退と同時に錦州政府は一先づ灤州に移されることとなつたが、この變態政府は追つて自然解消されるものと見られてゐる

溝帮子を占領し日章旗を揭揚

【大連三十日發電通至急報】多門師團の先鋒は三十日午後五時溝帮子を占領し意氣揚々入城城頭高く日章旗を揭揚した

師團司令部も入城

【溝帮子三十一日發聯合至急報】多門師團司令部は本日午後零時十分威風堂々溝帮子城に入城した

從軍記

田村特派員

【田村特派員打虎山三十日發電通】曉光の勝ひをもつて新民府に進發せし我室村旅團は白旗堡の手前にかて僅に敵の抵抗を受けたがその後は無人の境を行く如く[illegible]家總部を正午すぎに通過して[illegible]將部隊の指揮宜しきを得て三時卅十先發隊[illegible]口大隊（第一大隊）は打虎山を占領したが我飛行偵察に依り打虎山の東方にある鐵橋は支那兵のため破壞されその[illegible]又西方一キロの地點においても破壞されあり爲めに滿鐵鐵道員の修理を待つて午後六時室村旅團司令部は打虎山に入城した、この間レールは諸所破壞され枕木は燒かれて到る處に故障箇所あつたが滿鐵員の必死の修理作業に直ちに回復された、[illegible]打虎山東方の鐵橋破壞箇所は三十一日早朝修復完了の筈である

鐵橋破壞

わが軍修理中

【打虎山三十一日發電通】打虎山の敵は昨日退却に際し打虎山溝帮子間の鐵橋を破壞したので我鐵道修理班は昨夜來必死的全力を盡して修復に力めつつあり修復成り次第前進を開始する

竹の園生の御榮え

御機嫌麗はしく三陛下

中歲御生誕の皇太后樣

畏かしく、明くれば方に之れ昭和七年の新春、天皇陛下には御齡三十二、皇后陛下には御齡三十、皇太后陛下には恰も中歲御生誕の御年四十九歲、また照宮さまには御八歲、孝宮さまには御六歲、順宮さまには御四歲、澄宮殿下には御十八歲、なほ秩父宮殿下には御三十一歲、同妃殿下には御二十四歲、高松宮殿下には御二十八歲、同妃殿下には御二十一歲、その他各宮樣方にも御機嫌麗はしく新春を迎へさせられ、竹の園生の御榮え眞に芽出度く拜される

兩陛下と滿洲事變

天皇陛下には御規律正しき御日常と適當の御運動とで益々御健康に、御多端なる御政務をはじめ、每日の御講書、時々催される木曜日の特別御進講、土曜日の生物學御研究に目まぐるしいまでに御いそしみあらせらるることは既に拜承する所であるが、昨夏突如として起つた滿洲事變に際しては側近者が御察し申上ぐるほどの御精勵ぶりであつた。政務の御親裁は午前十一時と午後二時の二回に定められてゐるが、これは勿論平常の事で、滿洲事變の發起以來は早朝から深夜に亙り午後二時から四時の間に行はれる御運動も廢されることすらあつた。事變の經過は每日侍從武官府から書類を以て奏上する外、首相、陸相、參謀總長が屢時參內して奏上、陛下には深甚なる御心を寄せられ、絕えず事變の經過を御軫念あらせられ、昨年十月には川岸侍從武官を現地に差遣はされて川岸部隊の[illegible]將兵に凶腦の燃草、酒肴料等を賜[illegible]遂せしめられたるなど聖慮を勞し給ふことは畏き極みであつた。滿洲事變では皇后陛下に於かせられても出動將兵の辛苦を痛く御心を痛めさせられ十月、十一月、十二月の三回に亙つて御手製の繃帶を傷病兵に賜はり更に十二月には皇太后陛下と御共同で嚴寒の折柄とて出動全將兵に眞綿を賜はつた。

大演習と地方行幸

陸軍特別大演習と地方行幸は天皇陛下の重大なる御任務、御政務の御一端で、昨年は十一月遙く肥筑の野に親臨を進められて親しく御統監遊ばされたが、本年も十一月[illegible]地方に於て擧行の大演習に御統監の爲め行幸あらせらるる由に拜承する。地方行幸は昨年四五月の候山陰地方に聖轍を進めらるるやの御內儀もあつたが、[illegible]察の[illegible]柄とて、畏くも[illegible]村の窮狀を思召されて御取止めとなり大演習後引續いて熊本縣下[illegible]に[illegible]陛下を四日間に亙つて[illegible]治、教育、產業等の狀態を親しく御視察遊ばされた。本年は四、五月の候宮中に差支へない限り地方に[illegible]を進めさせられ、親しく民情をみそなはせらるるやに洩れ承はる

凶作地方へ

侍從御差遣

更に天皇、皇后兩陛下におかせられては昨年の北海道方面[illegible]下の凶作による慘狀を聞召されていたく御軫念あらせられ過日黑田侍從を御差遣あらせられ御救恤のため金一封御下賜の御沙汰があつた。同侍從は青森に赴き同地方を約四日間視察の上更に北海道に渡り狀況を詳細に視察の上歸京天皇陛下に御復命申上げたが御救恤金は同侍從より青森縣廳並に北海道廳においてそれぞれ知事長官に傳達されたので同地方民は畏き思召を拜し何れも感淚に咽んだ

皇太后陛下と澄宮殿下

皇太后陛下がひたすら先帝の御追慕の爲め靜かな御日常を過させ給ふことは既に民人の畏き極みと仰ぎ奉る所であるが、陛下には先帝御不例の際親しく御看護に盡され一方神宮山陵等に御平癒の御祈願をかけさせられたので、その御禮參りを昨年遊ばされ度き御內意を御近者に御洩し遊ばされた趣に承はるが、深刻なる社會不況のため天皇陛下にも地方行幸をお取止め遊ばさるるが如き折からとて、陛下の行啓も御沙汰止みとなつたが或は本年御行啓遊ばさるるやに[illegible]はる。なほ陛下には先帝[illegible]の思召から、世にも悲慘な境遇にある癩病患者救濟の畏き思召から、さきに國立の癩療養所建設に[illegible]その職員に對して莫大なる御下賜金のあつた事はあまねく知る所であるが、[illegible]感激した所であるが、更に皇后陛下と共に滿洲出動兵士に防寒の眞綿を賜はりて御慰問遊ばされた

澄宮殿下には來る三月學習院中等科四年を御修了、四月からは陸軍士官學校豫科に御入學遊ばさるる筈であるが、將來は騎兵科を御志望の趣で、殿下は[illegible]つて非常に馬術に御堪能であらせられる

秩父、高松兩皇弟殿下

陸の秩父宮、海の高松宮として陛下の御翼賛にあらせらるる兩皇弟殿下には、皇族方の中でもその御意氣高き範を示され、軍務に御精勵遊ばされてゐるが、秩父宮殿下には昨年十一月、三年間の陸軍大學生活を終へさせられて麻布三聯隊に御歸隊、目下は一大尉として第六中隊長の職にあらせらる、高松宮殿下にも大尉に在官し[illegible]海軍の大異動によつて軍令部出仕から海軍砲術學校高等科學生を仰付られた

派遣軍の迎春

慰問品で正月氣分

【奉天發電通】[illegible]と氷に閉ざされた滿洲の荒野に零下三十餘度の酷寒に惱まされながら決死的戰時任務に就てゐる我が派遣軍は瞬時のゆるみもない緊張裡に新年を迎へる、奉天の東北軍司令部、[illegible]第二師團司令部を初め各獨立守備隊本部では御眞影を飾つて

◇拜賀式を行ふ。前線に活躍してゐる各旅團聯隊本部では[illegible]賀式を擧して拜賀し[illegible]線の鐵道警備任務に就いてゐる支隊は白[illegible]の荒野の眞中で支那部落の[illegible]で[illegible]を上げ[illegible]を捧げて「天皇陛下萬歲」「大日本帝國萬歲」を三唱する。司令官から一兵士に至るまで陣中に正月はないと[illegible]ほこりと垢に塗れた武裝のまゝで[illegible]軍[illegible]料本廠から苦心の獻立であるお目出度い[illegible]の膳に[illegible]の子[illegible]ごめと兵士が心を籠めてついた餅で[illegible]の生[illegible]本を[illegible]して僅かに正月氣分を味あふのであるが

◇最前線の支隊は步哨線、斥候、偵察、鐵道線の巡視を寸時も休止出來ないので、任務を終つて交代した兵士が代り合つて御馳、部屋に車座となり、コチコチに凍つた三人前位の料理を十人位でかぢりながら[illegible]酒の乾盃を[illegible]して「お目出度ふ」を云ひ交すのである司令部所在地[illegible]駐地に於ける[illegible]中の部隊でさへ一日の休暇さへ與へられず重要任務を懸命に遂行してゐる

一日は休刊

島內三新聞社の申合せにより四方拜當日は新聞休刊となる故二日附新聞は發行されない

今春から學習院へ御通學の照宮樣

御造營の新御殿から

【東京一日發電通】野口皇后宮事務官[illegible]談　照宮成子內親王樣は今年愈々御齡[illegible]に達せられ四月から女子學習院前期に

◇御通學遊ばされます、天皇皇后兩陛下の御膝下から離れさせられて成規の小學課程を踏ませらるる次第です、宮城內御本丸に御造營の新御殿（皇子御假學所）は三月までに竣成し宮樣は此處から御通學遊ばされます、孝宮樣順宮樣にも御日[illegible]に[illegible]せられると追つて照宮樣御同樣御假學所に御住居を移されると承はつて居ります。照宮樣は非常に御壯健に渡らせられ殊に

◇御聰明なことは御附の者が常に御感嘆申上げて居ります、又お妹樣をお勞りの御[illegible]極めて濃やか拜します、御起居一般家庭と少しも變りなく御居間なども孝宮樣[illegible]官樣と御一緒でピアノ、オルガン、ラヂオ、蓄音機等色々御樂器をお樂み遊ばされます、お庭ではお遊び、お羽突き、凧上げ等遊ばされる御三方の御樣子は誠に御睦じく拜します、孝宮樣は御四歲に順宮樣は御二歲にお成り遊ばされ愈々御賢かに渡らせられる[illegible]は誠に御めでたき限りであります

（御寫眞は照宮樣）

形勢惡化せねば理事會は開かぬ

聯盟の態度は傍觀的

【ゼネバ三十日發電通】日本軍が漸次西進し錦州方面に接近しつつありとの報道に國際聯盟方面では十二月十日の理事會の決議は明かに

失敗に歸した形を認めざるを得なくなつたことを告白してゐる、而して張學良の關內に兵を撤退した事に依つて戰爭行動の擴大を防止し得るだらうと言ひ聯盟本部では日本軍の今回の行動は支那調査委員が支那到着前の最後の行動たる事を希望し日本軍も調査委員の監視の下においては新な軍事行動を執る事はなからうと信じてゐる

◇一方聯盟理事會としては滿洲における日支兩軍の形勢が特別緊急の會議を必要とせざる限り一月二十五日の定期理事會以前に緊急會議を開くことはなからうと觀測されてゐる

奉天新獨立國の新國旗

【奉天三十日發聯合】奉天政府は錦州政權崩壞迫つたとなし俄然積極的に動き今後新獨立國旗を調製[illegible]三民族合體を象徵する赤青黃三色とするに決した元旦より之を東北三省に揭げ新國家の華を祝ふと力瘤を入れてゐる

錦州西方に爆彈投下

山海關との連絡を斷つべく

【山海關三十日發電通】支那側報道に據れば日本軍飛行機十數機は二十九日午後二時から四時間に亙り錦州の西方[illegible]山一帶に數十個の爆彈を投下した右は錦州山海關間の連絡を遮斷する目的と見らるると

田庄臺に急行

【營口三十一日發聯合】多門師團前進後の虛に乘じ敗殘兵匪賊が糾合して田庄臺附近の東に出で今朝五時半以來交戰中で我兵力少なきため守備兵苦戰中である急報に接し本日午前五時營地に着いたばかりの大石[illegible]守備隊○○名は午前七時田庄臺に急行した

激戰の實況を

世界に放送

【奉天三十一日發聯合】錦州軍は飽く迄皇軍に敵對するに於ては大凌河を挾んで彼我主力の一大激戰は免れぬのは當然だが我軍は最後まで公明正大なる態度を持する決心で萬一大凌河を挾んで彼我主力戰やむなきに至つた場合にはラヂオを戰場數ケ所に設け、天東北放送局中繼で激戰の實況そのままを世界に放送すべく着々準備中でラヂオ界最初の新試みである

臺北局扱の年賀狀

昨年より卅萬枚增

臺北郵便局における本年度の年賀郵便特別取扱期間十二月二十日から二十九日迄の間に於ける取扱數は差出が百四十萬二千四百八十九枚、到着が六十二萬四千百六十三枚で前年に比較して前者は十五萬九千四百四十六枚、後者は十六萬五千九百五十七枚の何れも增加となつてゐる。尙臺北局に於ける元旦の年始配達數は前記の六十二萬餘と三十一日入港の內地便と併せて九十五、六萬乃至百萬と見て前年より十萬內外の增加と豫想されてゐる

本紙一部十五錢（郵稅一錢）

謹賀新年

（姓名いろは順）

臺灣日日新報社

河村徹

赤石定藏

石原孝作　伊藤道三　池端貞雄　石川甫平　石原清秀
入貝良郎　伊藤重治　泉田猛四郎　日谷理敬　服部榮一
林松太郎　橋本恭次　濱中弘行　馬場八重子　西田力松
星野德一　東鄉元次郎　富田昇藏　張清德　林佛國
李騰璧　大澤貞吉　大澤榮之進　大坪林吉　尾形鵬平
小倉敬　小川芳郎　大津留次郎　[illegible]周弘　渡邊良太郎
渡邊[illegible]　川崎[illegible]　[illegible]山直猿　金崎勳　金永孝一
郭榮宗　吉田不二　吉光晴七　伯延二　田中貫一郎
武富以代一　高橋勝次一　磯部昌起　竹澤太　武田一
田島信治郎　相馬市太郎　[illegible]伸大　濱森鐵治　長井平次郎
永井文三郎　中村茂夫　永井三郎助　中御駿次　永井省三
中島文堵　中島[illegible]　成井貞緒　長宗重一　桐子[illegible]
[illegible]　植田[illegible]之助　上田[illegible]人　上田久吉　野澤正明
[illegible]　[illegible]　久保田[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

山崎三治　八木孚宮　前田莊吉　增田正一　松本志郎
前野鶴若　松原元義　松田清二　增[illegible]直次郎　福原正雄
深川市次　福島唯夫　船越吉良　小崎[illegible]雄　木場一三
黃[illegible]樹　[illegible]氏秋桂　小林正芳　湯川首　江口清作
江崎桂次郎　江之口榮[illegible]　齋藤俊彥　江原治三郎　有富宇一
荒木德郎　坂田[illegible]家久　會田治平　佐々木彥　佐々木齊
鶴[illegible]清德　木下七郎　許[illegible]亭　湯川[illegible]雄　菊地勝雄
三木辰三郎　宮尾[illegible]　三宅和木近　宮木龜吉　清水梅太郎
島守太郎　志波忠紀　重松頼廣　白石[illegible]　正村功三郎
謝[illegible]　謝[illegible]　芝忠一　[illegible]　樋口武太郎
平松德　森岡[illegible]　森清一　平野榮　杉野謙助
鈴木竹之助　鈴木[illegible]　[illegible]　[illegible]　鈴木幸藏

客員

井丁之一　陳[illegible]　張振茂　陳[illegible]
[illegible]　陳家[illegible]　陳金[illegible]　林[illegible]
林金[illegible]　李[illegible]　林家[illegible]　[illegible]
何[illegible]　加[illegible]　何[illegible]　[illegible]
楊長泉　吉成彥太郎　谷河[illegible]　[illegible]
[illegible]　村上鬼城　村木虎之助　山田勇雄　長井水太郎
安成[illegible]　山澤作治郎　[illegible]日彰　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]水木　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

道岡邦重
右之者今般當店ト一切關係無之候間此段廣告候也
臺北山驛前
㋢後藤運送店
後藤[illegible]

臺北放送局推定の
ナナオラ
ミゼット受信機
大特價廿五圓也
臺北市本町四ノ一
中川章輔商會臺北支店
電話二四六番

謹賀新年

嘉義市
鈴木憲二

嘉義市
西洋料理
喫茶和洋菓子
ホーライ
電話四五五番

嘉義市
漢料理
宜春樓
電話二四九番

嘉義市
勝田醫院
電話四一二番

嘉義
內科小兒科
梅村醫院
電話九一八番

嘉義市
黃德壽
電話一六番

嘉義公園內
御料理
蒲燒
清香亭
電話五二八番

嘉義市
德芳商行
電話六五〇番

嘉義市榮町二丁目七一番地
內外硝子卸小賣
隆盛硝子店
電話九二九番

嘉義市榮町七ノ一番地
建築材料特約店
合成材木商行
電話三五八番

嘉義市
徐乃庚

大林庄役場
藤本大藏

彰化街
中部帽蓆同業組合

彰化街北門
高陽堂印刷所
許[illegible]犁

綿布卸商
㋫富永商店
彰化支店

彰化街
植田勇次郎

彰化街
李崇禮

謹賀新年

（いろは順）

今道定治郎

池田好治

新見喜三

高石威泰

田村作太郎

園部良治

浦田永太郎

藤江醇三郎

古賀達明

江原節郎

阿部道衛

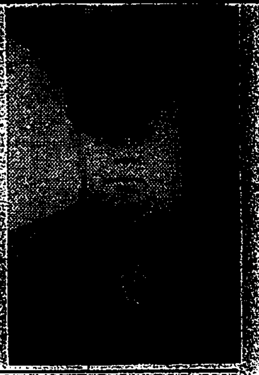
住吉勇三

會席御料理
一式仕出し
一、東京壽司
一、大阪壽司
一、蒸し壽司
一、茶碗むし
一、丼物
一、小鉢物
何品にても一品拾五錢
臺北市本町四丁目朝陽號前
銀水
（電話九八六之乙）
遠近に不拘迅速配達致します
一月二日より開店
何卒開業に際し料理一切も大勉強致しますから何卒[illegible]御用命を[illegible]致します

我等の大指針は『新臺灣の氣分』

明快愉悅に滿ちて進みたい

總務長官　木下信



多事多難なりし昭和六年を送つて玆に昭和七年の新春を迎ふることとなつた。自然界の一轉機に際して心機を一轉し、溌剌たる生氣を以て其の向ふ所に邁進したいと思ふ。顧みれば昭和六年は內外共に頗る問題が多かつた。試みに財界の推移を見ても世界各國共に經濟界不況の渦中に呻吟し、[illegible]歐洲財界の不安を一層大にし、世界を擧げて[illegible]策と關稅障壁に依る國內產業の保護政策に沒頭して他日の

好轉を待望　するの外無きの有様であつた。我國も亦此の世界的不況の大濤圏外に逸脫するを許されず、止むなく緊縮政策の勵行、國產品愛用、產業合理化の促進等に依り金本位制を死守して、朝野一致隱忍自重、以て他日の飛躍を期せざるを得なかつた實情である。然るに九月中旬突如として滿洲に事變起り、之が爲に支那各地にかける前例なき徹底的排日貨運動は我對支貿易を殆ど根絕せしめんとするの勢ひを呈し、產業界は極度に萎縮し國民は益々堅忍不拔の精神を以て徐々に不況對策を講ずるの要あるを思ふとき、英國金本位制の停止となり、國民は別個の苦痛を負うて難局打開の爲め益々奮勵を續けねばならぬこととなつた。而して外國貿易關係にかては依然として日支問題は[illegible]而も我國の

生命線たる　[illegible]存立をも危ふくするの狀態であつて、實に昭和六年は我帝國にとり多事多難の年であつた。顧つて我臺灣を觀るに世界の動きに伴ひ又世界財界の推移に從ひ夫々の影響を受け、相當多難の年であつた。民間に於ても大なる事件も無く此の年を送ることの出來たことは同慶に堪へない。又官廳關係に於ても、或は霧社事件の跡始末に、或は加俸減額問題に、行政整理に、或は豫算編成等目前の處理事項に沒頭して了はざるを得ざることながら、誠に欣快に堪へないが、昭和七年は新臺灣の氣分を以て進む年として迎へたいと思ふ。新臺灣の[illegible]大方針は既に定つて何等の變更を許さない。我帝國の一部として一視同仁の

御聖旨を奉　じて共の開發向上を期するにある。然しながら年と共に其の時勢に應じて施設を爲し、對策を講ずるは理の當然と信ずる。徒らに舊套に戀々として其の時と同一の氣分を以て事を處するならば其處に無理の生ずることは免るべくもない。若し施設の大綱として產業の開發に努むるならば、果して資本の增殖を招來する。資本の增殖は又文化の向上を要求する。文化の向上は社會的活動を誘致する。斯の如きは自然の傾向であり趨勢である。我等は此の趨勢に從ひ官民心を一にして[illegible]進步の道程を辿ることが政治の要諦と考へる。然し乍ら此際に斷言し高唱すべきは我臺灣が帝國の一部として住民は悉く衷心より忠良なる臣民として協心戮力すべき條件の下にかてのみ考へねばならぬことであつて、苟くも非國民的心情態度に對しては斷乎として何等の假借する所なく驅除し、排除することは言を待たない所である。假問す、今日臺灣に於て總ての住民間に眞に融和協力の心情なきもの無しと云ひ得るや。或は一種不平の

反抗的心境　を持するもの無しと斷言し得るや。徒らに一部を擁護して己れの優越なる地位を保たんとする希望を抱く者無きや。又臺灣に一種の陰鬱[illegible]なる氣分の横溢することなきや。自由進步に對して[illegible]の途を進むの[illegible]と[illegible]の弊風[illegible]つつありや。內に何物かを藏するとき自ら陰鬱[illegible]の氣分より脫するを得ず。民衆と云はず、官憲と云はず、住民總てを擧げて天空海濶、明快愉悅の氣宇を以て各々其の業に努らずんば、明るき賑かなる臺地を醞くべくもない。我等の新臺灣と云ふは此の氣宇を以て協心戮力國家に報ずる社會に於て民衆は其の如何を問はず總べて其の福利を增進し、文化を向上して上御一人の聖旨に副ひ奉るに在りと信ずる[illegible]、此の新臺灣の氣分を以て施設諸般の改善進步を計ることは即ち我等が昭和七年の新春に際して所感を披瀝して官民各位の奮起を希望する次第である。

明日の爲に新しき施設

內務局長　小栗一雄

改隸三十有八年、其の間の本島統治の經過は所謂初代樺山總督の創業時代より兒玉總督の土匪剿滅、內政整理の時代に進み佐久間總督の理蕃時代、田總督の地方制度の[illegible]時代を經て、今日の島化の恩澤に浴ふ新文化臺灣を形成したのであるが、何人と雖も改隸以前所謂「三年小亂、五年にして大亂起り」[illegible]のやまなかつた」といふ淸朝治下の[illegible]の島民の苦惱悲慘に想到するとき到底も同日の談ならざる此の島勢の進步に

驚かさ　るるものはなかつたであらう。是れ一に一視同仁の聖旨に因るは素よりでありますが、歷代の總督がよく撫民に努め來り本島の爲めに、產業の進展文教の興隆、警察の振肅行政の刷新、國民精神の作興涵養に努め來られた、幾多官民の尊き努力が凝つて一[illegible]施設の其の宜しきを得、一意和協協力せられたる賜ものであると深く信ずるものであります。私は職を本島に奉じて日尙淺く、此の地に新年を迎ふることは始めてでありますが、年頭に當り今更ながら深き感激の念を禁じ得ないで

感泣す　ると共に先達の上の本島統治の爲めに捧げたる尊き且つ大なる犧牲努力に對し深甚なる敬意を表する次第であります。願はくば將來島民も益々融和協力して本島統治の精神に副ひ奉るの覺悟がなければならぬと思ふのであります。靜かに島勢進展の跡を見るに文物制度は年と共に燦然たる進步發展を遂げ[illegible]國民の一大誇りとなつてゐるのであります。試みに今一、二の事例に就きましても其の進展の顯著なるに驚かされるのであります

領臺後　明治三十年頃の總督府の歲入歲出總決算額は一千萬圓程度に過ぎなかつたのであるが、現在に於ては約一億圓を[illegible]察し、之を往時に比すれば約十倍餘の膨脹であります又貿易方面につきましても當時の輸出入總額は僅かに三千萬圓程度に過ぎざりしものが現在に於ては約五億圓を突破し、其の增加は極めて顯著なるものがあります。更に產業、交通、衛生、教育其他諸般の施設に就きましても同樣であつて、其の進步發展の跡は洵に驚くべきものがあるのであります。さりながら本島統治の

將來は　尙ほ多事多難であつて、現在の情勢で滿足して居られないのであります。所謂政治の對象たる人類社會は複雜なる關係を以て日進月步してやまないのであります。獨り臺灣のみ之れが圈外に存在することを許されないのであります。所かる情勢の下にある明日の新しき臺灣を統治して行くには、新しき進步せる社會に副ふべき新しき施設新しき制度の必要が必然的に起つて來るのであります。所謂本島地方制度の改革の如き其の一例であります。新しく伸び行く明日の臺灣統治に任ずる吾々は常に本島社會情勢の

進運を　洞察し、[illegible]しく先人先公の精神を體し、新臺灣統治の使命を自覺し、我が國運の伸張を增進すべき本島諸般の施設に就し、生々潑溂の氣を以て邁進し本島統治の業蹟に更に一段の光彩をそへるの覺悟がなければならぬと信ずるのであります

輝く精神文化の建設が目標

文教局長　大場鑑次郎

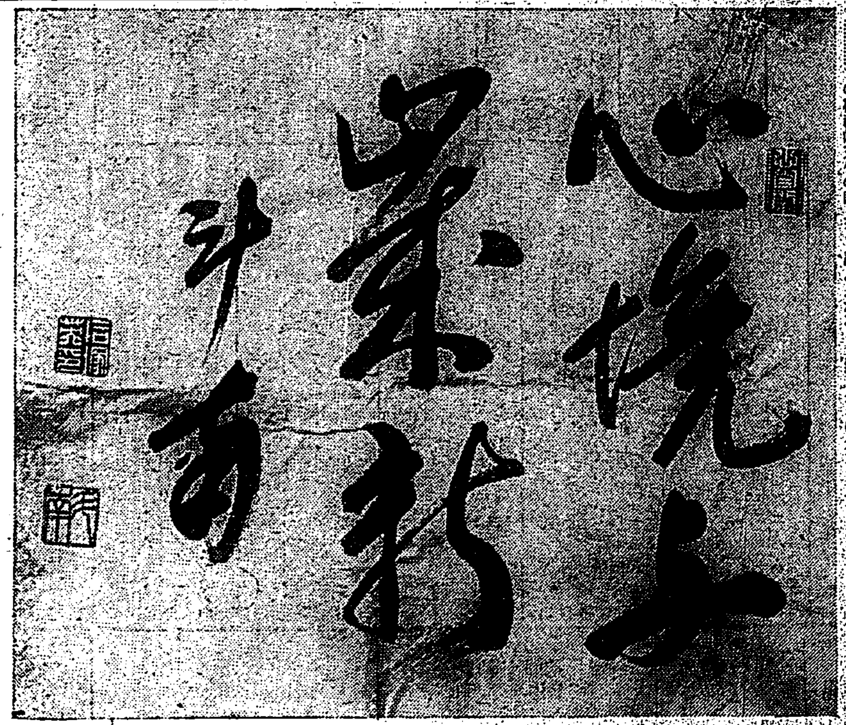
乾　坤一新、世は昭和七年の春となつた。臺灣にとつては正に改隸第三十八年を迎へたわけである。既往三十七年間に臺灣の文化が人をして隔世の懷あらしむる程の發展をなした事は誰人も否定する能はざる事實である。しかしこの急速に進步した臺灣の文化も大部分が物質的文化方面に於ては非常な進步を示して居るが、精神的文化の方面の發達は比較的その進行が遲々たる憾があるといふ事もまた否定する能はざる事實である

然　るに臺灣統治の最も大切な所はこの精神的の方面にあるので、如何に本島が物質的に向上發展しても、それは唯に表面上の榮華をなすに止まり、精神的方面が開拓されて所謂內臺一致そこに渾然たる融和が出來所謂その實を擧ぐるに至らないならば眞の文化の發達を見、臺灣統治の目的が充分に果されたとは云ひ得ないであらう

さ　て本島統治の核心を成す內臺融和の精神の涵養に關しては從來學校教育、社會教育をはじめ各般の施設が講ぜられ當局者はそれぞれ努力して居る所である。內臺融和の方法として國語普及の如きは其の最も重要なる事柄であつて、之に依り意思の疏通を圖り文化の向上を共通にする效果の大なることは之より大なるはない。現今は非常な勢ひでその事業が勃興し各地方に於ける國語普及會や國語講習所は自發的に講習を希望する男女會員を以て常に滿員の盛況を呈してゐる。これは數年前までは見られなかつた現象で內臺融和上極めて結構なことと思ふ

大　に內臺融和上最も效果のあることは體育運動方面から進んで行くことである。凡そ趣味を同じくして同じ道に遊ぶものは職業階級種族年齡の如何を問はず、吾われを忘れてその道に沒頭し、而もこの時のお互ひの心情は渾然融合一體となるものである。この點に關し運動競技や武術等に於て既に其の成績の顯著なるものあるは一般周知のことである。吾人は將來に於て今後大いに勵行すべき餘地あることを痛感するものである

內　臺融和と相竝んで臺灣の精神的文化の向上を



『心境與歲新』　石塚前總督試筆

景氣のよい赤字の話

遞信部長　三宅福馬

年始早々赤字の話でもあるまいと云ふ人がある。然し是れは景氣の好い赤字の話である。さて最近に於て赤字と云ふ言葉は世界の流行語となつてゐる。赤字と云ふはマイナスと云ふ事である。而して私生活に於ても公生活に於てもマイナスの生活と云ふものは有り得ないのである。所謂人間の生活はトントンか乃至はプラスでなければならぬ。つまり人生は常にトントンかプラスであるべきではない。

×　×

唯今日何故に世界を擧げて「赤字だ」「赤字だ」と云ひ出したかと云ふに、先づ其のトップを切つたのは英國がある。英國では本年度の歲出に對して七千四百七十萬磅即ち約七億四千七百萬圓の不足となり、度の進行に從つて漸次さらに見え出した。英國の歲入は凡そ八十億圓であるから其の一割の赤字となる傾向である。

×　×

自分は玆で英國の會計は赤字だと云はない。赤字となるの傾向だと云ふのである。即ちマクドナルドが、どうせ不景氣だから赤字は免れぬ。遺憾でもしてゐようかと考へて其の儘に本年度の會計の進行を續けて行つたならば赤字が、ほんとに姿を現はしたかも知れぬが、マクドナルドは之れは捨てて置けば赤字になる。赤字では國は立ち行かないから內閣の根本を建て直して會計をトントンか但しは黑字にしなければならぬと考へた。それが即ち節約及び增稅の二計畫を基本とする英國緊急財政計畫であつて、それに依ると英國の本年度の會計は赤字でなく百五十萬磅の黑字である。

×　×

次に悲鳴を揚げたのは獨逸である。獨逸では本年度の歲入の不足額は十億マーク即ち五億圓となる見込みである。その上ヤング案に依る今後五十九個年間年平均十九億三千六百萬ライヒスマルクの賠償義務がある。獨逸は此の關に處すべく年末經濟關切拔けの爲め緊急令を發し經濟の國家管理を行ひ、物價、俸給、家賃、金利の引下げを行ひ、之が爲めに若し國內に動搖の起る場合は戒嚴令の布告をも辭せぬと覺悟した。是れで獨逸は赤字を生ぜず、黑字を以て越年せんとしてゐる。獨逸も依然黑字國である、赤ではない。

×　×

「永遠の繁榮」を以て自他共に許してゐた北米合衆國は一九二九年を最後に其の「繁榮の永遠」性を中止した。即ち本年度は二十一億二千三百萬弗即ち四十二億四千六百萬圓見當の歲入不足の傾向となつた。それで米國は借入金と節約とに依つて赤字でなく黑字を以て此の年を目論でゐる。

×　×

問題は、赤字だ赤字だとあきらめて、安閑としてゐてはいけないと云ふ所にある。即ち如何にしてトントンにし赤字を生ぜしめず、進んでは黑字を生み出すかを更に研究と工夫と努力の問題にし、研究と工夫と努力とを積み重ねて赤字の傾向を黑字に導くのである。まだ赤字の生ぜざる以前に黑字を豫想し、努力邁進する所に人生の價値と幸福とがある。世間が赤字を豫期してゐても自分は黑字を豫期すべきである。其處に自ら生くるに値するの歡喜がある。

×　×

我臺灣の遞信事業に於ては本年は昨年に比して收入增を示して居る。是れは英、米、獨の狀態に比すれば寧ろ奇蹟的である。然し自分を以て云へば奇蹟でも何でもない。大變手前みそになつて困るが本年の臺灣遞信の黑字は簡易生命保險の增加と、電話增設の增加の引下げ並に日[illegible]上げと、切手手數料等々と、その外に從業員全部が事業を收支のバランスの上に經營するといふ基本觀念を相當程度迄諒解して來た賜であると思ふ。

×　×

自分は遞信從業員四千餘人と共に、奮張と工夫と努力と誠實との前に不可能はないのだと謂ふ信念を益々強くしつつ、此の新年を迎へ得たるを喜ぶものである。(終)

〆飾りまづ賦にかけてお元日

郡警分離問題は漸進的に解決したい

警務局長　井上英

警察の根本觀念に就ては內地と臺灣とを通じて何等異なるところはないのは勿論であるが、警察の目的を達する手段方法に至つては甚だしく異なるところがある。之は臺灣の植民的特殊事情に鑑みて固より當然のことである。併し翻つて考ふるに臺灣の政治文化、產業の進步は領臺以來誠に顯著なるものがある。其の發達の點に於て臺灣は世界各國の植民地中最も成功せるものと稱せられてゐる。而して今後も益々進步發達を遂げんとする臺灣に於て警察も將來其の面目を改めねばならぬ必要に迫られて居るのではないか。第一に治安の維持を一層完全にすると云ふ點に於て現在警察に改善を加ふる必要なきや、第二に警察規則、警察の執行方法等に改善を要する點なきや否や、此の事に就て私の平素懷抱して居る所見の一端を述べて見たいと思ふ

◇

警察組織の改善問題に就ては人口の增加、警察事務の繁劇に伴ひ警察官定員增加の問題があるが、此のことは昭和七年度の豫算編成に當て一應の基礎案を作成したのであるが遂に實現に至らなかつた。將來は警察力の充實に關し充分の考慮を拂はなければならぬと思ふ。次に從來屢々論議され會ては一度議會の問題となつた郡警分離の問題である。之は現在郡守に委ねられてゐるところの警察權を分離して獨立の警察署(市に於ては現在も獨立の警察署を設く)を設け之に行はしめんとする案であつて、其の趣旨に於ては大體に於て首肯するに値するものがあるのであるが、しかし郡守をして警察權を行はしめると云ふ制度其のものに本質的の缺陷があるのではないと思ふ。寧ろ植民地統治の實情に鑑み助長行政と警察行政とを同一機關をして行はしむると云ふことは多大の妙味も存することは事實である。しかし臺灣の警察は警察本來の仕事以外に可成多くの仕事を負擔せしめられてゐる。故に警察本來の仕事に全力を集中することが多少出來にくくなると云ふ嫌がある上に、郡守が警察の執行機關であるために助長行政に對し警察力を用ふることが自然多くなる。ここに一層警察本來の機能を妨げると云ふ結果を生ずる。此等のことは從來警察の當局者としては可成痛切に感じて居つた點であつて、郡警分離の問題も其の論據の一はここに存するのである

◇

然らば將來如何に此の問題を取扱ふべきかと云ふに本島に於ける教育文化、產業等の發達に鑑みて徐々に助長行政の方面にまで警察を及ぼすことを避け努めて警察本來の目的に向つて進むやうにし助長行政は可成民衆の自發的意思に依つて之を實行せしむるやうに爲すべきであると思ふ。併し警察が全然助長行政から離れて仕事すると云ふことは內地と事情を異にせる臺灣に於て今直ちに之を望むことは無理である。ただ時代の進步に伴ひ從來あまり警察が助長行政の領域にまで立ち入り過ぎた點は漸次之を改めて行くことが臺灣統治の爲にも又警察の爲にも望ましいことであると思ふ

◇

▽また臺灣には保甲制度と云ふ特殊な警察の補助機關が存在するのであるが、此の制度は從來臺灣の治安維持に非常な貢獻を爲したるものであると云はれてゐるけれども、本制度もまた助長行政と警察行政との運用に就ても上述郡警分離の問題と同樣に可成警察本來の目的の爲に之を運用することとし助長行政の方面は一般民衆の自主的自治的活動に俟つことに致し度いと思ふ

◇

又本島に於ける思想問題及び社會運動の取締に就て一言すれば其の思想なり運動なりが本島統治の根本に關係を及ぼし、また國家組織の根本觀念と相容れざる場合には斷乎として之を取締るべきであるが、進步的思想運動に對しては決して之を排斥すると云ふことは決して臺灣の將來の爲に好結果を齎すものではない。寧ろ寬容なる態度を以て之を迎へ將來は臺灣の產業の進步と共に文化方面の進步を出來得る限り促進するやうに心掛け以て思想問題社會問題にも留意すべきであると思ふ

◇

最近十ヶ年間、蕃地は極めて平穩無事であつたが爲め理蕃のことも漸く世人の腦裏より去らんとしつつあつた。然るに一昨年十月霧社蕃の蜂起を見、又昨年ピスタン事件の發生を見、蕃人の獰猛性が甦つた如き感を一般に抱かしめ、理蕃のことにつき世間の關心を惹くに至つたことは臺灣の爲め誠に遺憾なことであつたと思ふのであるが、併し理蕃政策は一時蕃地が平穩であると云ふ事實に依て決して安心すべきものでない。理蕃と云ふことは不斷の努力を拂ひ成果を永遠に期せねばならぬと云ふことを之等の事實に依つて痛感せしめられたのである

◇

私は理蕃終局の目的は蕃人をして一視同仁の聖澤に浴せしむると云ふことでなければならぬ。之が爲には飽く迄も蕃人本位の理蕃政策を行はねばならぬ。而して其の第一步として飽く迄も蕃人を正しく認識することが必要である。換言すれば彼等の思想、生活、經濟、習慣其の他蕃人の生活條件を充分に正視することが必要である。而して彼等を自然的に導かねばならぬ。又蕃人は文化の程度が非常に低い。其の原因は經濟生活が原始的であるからで、彼等の生活を今少しく經濟的に惠まれたるものにすると云ふことが理蕃の重要方策であると思はれる。此の意味に於て將來の理蕃政策は授產方面に一層意を用ゐねばならぬと思ふ

天然瓦斯の重大な役割

工業臺灣の將來

殖產局長　殖田俊吉

年の始めに當り私の日頃やつてゐる仕事に關聯して「臺灣に於ける今後の產業政策の大綱」について述べたいと存じます。我が臺灣は大日本帝國の一部でありまして從つて臺灣の產業政策も大日本帝國の產業政策の一部をなすものでなければなりません。此の點は臺灣の

產業政策　は自給自足を否定すると同時に內地の產業と競爭してはならぬといふことを意味するのであります。即ち互に補助補完の關係に立ち有無相通ずるの策を講じなければなりません。然らば臺灣の產業政策は具體的には何[illegible]地に於ける產業はその所に於ける自然的條件を最も有效に活用せしめることが必要です。臺灣では熱帶的な[illegible]を持つて居りますから、之を大いに利用すべき事が考へられます。[illegible]

臺灣現時　の產業は此の點にかいてその特色を發揮して居ります。併し乍ら自然の條件をそのまま發展させただけでは殊に今日の進んだ世界の產業界にあつて發展を續けて行くことは六ケしいのです。ですから自然以上に人爲を加へるべきで、此のことは今日の大勢であり又必至の勢ひであります。と申しますのは產業の科學化といふことであります。それには人知を盡して科學の力により自然の足らざる所自然にない所を創り出して行くことです。それ故に臺灣には熱と光とがあるとて滿足しては居れません。現に臺灣の誇る有力な產業たる砂糖について見ましても此の事は明であります。若し

科學の力　によつて自然的條件を活用するとなれば我が臺灣においてもまだ〱色々の方面に產業の發展が企圖出來るのであります。是に於てか產業の科學化といふことが今後の臺灣產業政策のモツトーであるといふべきでせう。從つて臺灣の產業は自然に農業から工業に移るといふことになつて參りませう。此の間に於て豐富なる天然瓦斯は直接工業の原料或は燃料として或は又動力として非常に重大な役目を演ずることになるでありませう。だからといつて我は

農業を顧　みないかといふにさうではありません。米にしろ砂糖にしろ殊に砂糖については殆ど工場工業に近いまでに農業を科學化する必要があると思ひます。更に既に充分發達してゐると思はれてゐる糖業の如きも實は未だ非常に不充分でありますから、今後も不斷の努力を要する次第であります。翻然らば臺灣には如何なる工業が起るべきでせうか。之は仲々困難な問題ですが、例へば化學工業、纖維工業、水產加工業といふ如き諸工業が數へられます。その他に臺灣では自然的資源

として重要なるは鑛物でありまして、石油は餘程有望であることは明かで、恐らく日本の

石油鑛業　が臺灣を中心とするに至ることは左程遠くはない[illegible]。又金瓜石の砂金が[illegible]であるかは既に世人の知る所であり、東部の砂金も[illegible]ものと考へられて居ります。[illegible]方面の[illegible]調査は固より[illegible]の地質調査は甚だ不充分でありまして、今後は此の方面に大いに力を注ぎ、以つて天然資源の[illegible]一日も速かならんことを期して居ります。[illegible]水產業が將來有望なることは臺灣が四方海を繞らしてゐることと魚族の無盡藏なる南支南洋を控してゐることからも當然なことであります。唯この水產業の發達も種々なる條件の完備が必要で、此の點に向つても大いに努力を要するものと思ひます

海外發展の樞要なる足場たれ

貴族院議員　川村竹治

◇…多事なりし昭和六年も夢の如く去り、世は愈々光輝ある昭和七年の新春を迎ふることとなつた。顧みれば過去に於ける我が日本は軍縮的國際外交に囚まれ、其海外發展の如き萎靡として振はざるのみか、寧ろ退嬰を之れ事とし先人の努力により獲得せる地步も正に失はれんとし、殊に對支外交に至つては殆ど收拾する能はざる破目に陷り憂國識者の間國難來を絕叫するに至り[illegible]其極に達した

◇…去年九月十八日突如として滿洲事變勃發した。之れが爲め我が國軍の大活動となり、多大の犧牲を拂つて機宜の處置を取つたのであるが、一方國際聯盟は紛糾に紛糾を重ねた末之れ亦國民の熱誠なる輿論の力により[illegible]を得たことは國民の記憶に新なる所である。而も如斯我が外交上逡巡退嬰たるものあるは我が國策たる海外發展上一大支障たるべきは言ふ迄もない。併し事態もより大なる不幸を見ず大難を免るるの曙光を見るに至つた事は邦家の爲め慶賀に堪へない。

◇…斯くして玆に平穩洋々たる新春を迎ふると共に日本は其本來の立場に歸り、四海を見渡して所期の目的遂行にいそしまねばならぬ。所期の目的とは即ち海外發展を意味するのである。國土狹隘物資窮乏、而して異常なる人口增加の壓迫より脫するには海外發展を策するの外に途はないのである。幸ひにして滿洲の權益は擁護せられ世界人類の福祉に貢獻する事を得るに至ると思ふ就ては此機を逸せず其豐富なる資源の開發に努むると共に、世界人類安住の地たらしめ我が移住民の生命安固を期すべき强固なる百年の方策を樹立する事は刻下の最大急務である

◇…而も我が日本の現狀は之れのみを以て滿足し得ざる事は言ふ迄もない。從つて北方は樺太其他へ南方は南支南洋方面へ進出發展を策するは實に止むを得ざる狀勢である而して南支南洋方面へ發展すべき足場としては臺灣を措いて外にないのである。臺灣は實に內地より南支南洋方面への交通の要衝であり、物資集散に關する恰好地でもある。努々臺灣の工業を盛んならしめ何時にても其使命遂行上支障なき樣準備し置くといふ事が最も緊要の事であらう

◇…自分在任中臺灣の工業化を高調し南洋貿易振興につき意を用ゐたのも此見地からであつた。此意味に於て日月潭水力電氣工事の再興計畫が愈々實行せらるるに至つた事は誠に喜ぶべき事である

◇…斯くて臺灣が時代の進運に棹さして邁進し、軈て來るべき世界中樞の地として不自由を感ぜざる程の基礎を確立する事に努力せん事を切望して止まぬ

芝山巖の思ひ出

血で染められた臺灣の教育

貴族院議員　伊澤多喜男

▽臺灣に於ける日本の教育は領臺と同時に最も早く實施せられたものであるが、爾來著しく進步發達し今日に於ては最高學府たる帝國大學まで設置せらるるに至つた

▽顧れば明治二十八年であつた。余の長兄修二は領臺と同時に學務部長に任ぜられ、未だ戰時狀態の臺灣に非戰鬪員の身を以て楫取素彥以下六名の部下を引き連れ決死の覺悟を以て乘込んだものだ

▽恰も其年自分は帝大を卒業したが、臺灣から始めて內地に留學生を出す事となり柯秋潔、朱俊英の兩名を兄が臺灣から連れて來たので、此兩名と自分は起居を同じうし教育に努めて居た

▽越えて明治廿九年一月一日であつた。丁度臺灣から上京して居た兄の所に電報が來たので見ると臺北に程近い芝山巖で楫取以下六氏が兇惡なる匪徒の爲めに慘殺されたといふのであつた

▽[illegible]に反抗する者無し[illegible]又自ら之を人に[illegible]だ。而も丸腰の教育者[illegible]の兒[illegible]であつた[illegible]

▽兎に角臺灣に日本の教育[illegible]には其最初に於て斯うした[illegible]犧牲があつた。恰も彼の[illegible]が十字架上の犧牲によつて[illegible]を世界に弘めたのと其の軌を一にして居るではないか、[illegible]教と教育の差あるのみである

▽如斯教育を施行するに當つて血を見るが如きことは世界何國の歷史にも曾つて無いことである。即ち臺灣に於ける日本の教育は血によつて開始されたわけで、其如何に尊きものであるかを首肯されると同時に實に此の芝山巖は臺灣に於ける日本教育發祥の地である

▽因みに芝山巖の事件は右の如く明治二十九年一月一日に起つたのであるが、其祭日は二月一日となつて居る樣に記憶する

對山地住民政策の重要性を高唱

─一つの愉快な使命─

[illegible]　後藤文夫

臺灣の高地住民は世界に稀な[illegible]的至剛さを持つ種族である。之を立派な文明國民に仕上る事は我々の負擔する重大なさうして愉快な任務である。然るに文明なるものには光明の方面と暗黑の方面とがあり、之まで世界各地の

未開種族　に對する所謂文明人の施設は文明の良い方面よりも惡い方面を多く移植する傾向があつて、未開種族を向上させるよりも寧ろ頹廢亡滅に向はしめる事例が多い。吾等は此先例に鑑みて斷然新例を開かねばならぬ。[illegible]に我が臺灣の山地住民は今日[illegible]文明の惡習には殆ど感染して居らぬ。從つて此の純潔な狀態を保持してゐる人達に對して一面には文明に伴ふ惡習の侵入を防ぎ、他方には力強く

我が文化　を移し入れて之を立派な文明に仕上る事が充分に可能であると思ふ。一昨年の霧社事件によつて山地政策に對する注意が著しく喚起された[illegible]ふが、かかる事件の刺戟は動もすると時の經つに從つて[illegible]れがある。從つて[illegible]移植の事業は最も根氣强い努力を必要とする。此の事業に我が國が立派な成績を擧ぐる事は世界の文明人に向つて其の未だ成し得ざる

好模範を　示すものであつて、最も愉快な文化的人道的事業であらねばならぬ。當局者を始め臺灣に居る人達が根氣强い努力を傾けて山地住民の美質を[illegible]之に文明の長所のみを移植し[illegible]なる日本國民を完成せしむる[illegible]切望に堪へませぬ。年頭に當つて臺灣のあらゆる方面の事業が[illegible]發展に向はん事を祈ると共に、茲に臺灣に於ける吾等の一つの

最も愉快　な使命の一つである對山地住民政策の重要性を高唱し之れに對する人々の新たなる[illegible]心と一層の努力とを懇望して止まぬ次第であります。

臺北市榮町一
松月
電話九五一番

營養玄米精乳酒
胚芽入牛乳
株式會社 **長命軒**
電話一七九番

人參賀母散入りの藥湯
臺北市榮町二ノ一（東本願寺前）
吉廼湯

臺北市本町一ノ四
合資會社 **武藤商會**
電話二一九四番

臺北寫眞業組合（いろは順）
市田寫眞館 大和町三丁目電七五四番
岩松寫眞館 方の前電一六二六番
鎌田寫眞館 榮町四丁目電二〇〇五番
高倉寫眞館 新起町一丁目電一八四八番
倉橋寫眞館 榮町一丁目電七一八番
安武寫眞館 榮町四丁目電三〇七一番
小山寫眞館 京町一丁目電二四二三番
遠藤寫眞館 京町二丁目電三九八番
江藤寫眞館 本町二丁目電九九七番
スタヂオ輝眞館（本町天馬）電一六〇五番
眞開寫眞館 新起町二丁目電二八四八番

臺北時計商組合

臺北市榮町
製菓 店屋
朝日堂
電話三五四番

臺北市兒玉町
和洋御料理 仕出し 喫茶部
東家
電話三〇七七 五四三

臺北市
富島農民
電話二〇八四番

[illegible]
蟹江尾州
同和風會
會員一同

臺北
日本亭
電話長二一一七〇六

理化學器械 製圖用具 [illegible]
合資會社 **幸野商會**
臺北市新起町一丁目
電話一〇八四七番
振替一一[illegible]

新起町市場通
食料品商 **宮崎支店**
電話二六一七番

公認 華道家元池坊
臺北州橘會
會員一同

臺北市本町
臺灣オフセット印刷株式會社
電話二四三・三四五〇

臺北市本町
オフセットマーケット
電話二二〇八

臺北市南門町三丁目
片倉合名會社
臺北出張所
電話長二二三番

東洋コンクリート株式會社
臺北市御成町三ノ一九
出張所 臺北、臺中、嘉義、臺南

華道家元池坊
臺北州聯合橘會
會員一同

毛織物 麻綿布 卸小賣
臺北市太平町三丁目
大和洋行
電話四三六八番
振替臺灣（ヤマトヨウコウ）

臺北南人力車營業組合
電話一、四〇三番

公設御成町食料品小賣市場
公商會員一同

カセイン塗料臺灣發賣元
岩城塗料製造株式會社
臺灣出張所
臺北市榮町四丁目（電三〇八八）

臺北市本町一ノ二四
表具材料製造販賣
神島兼吉
電話四二〇番

羽中田運送店
臺北市北門町七番地
電話一三一五番

大東電氣商會主
徳成義和
事務所 臺北市本町三丁目四番地
電話三一三一番

土木建築請負業
堀江商會
臺北市北門町二丁目二十九番地
堀江淳一
電話一四八六番

荷造函 衣裳函 洋服函
聯合紙器株式會社製品特約店
各種紙函商
中村洛陽堂
臺北市榮町一ノ三六
電話二八八五番

ワタヌキ石版印刷所
臺北市榮町一丁目（新公園前）
電話一八〇五番

萬染物
㊂**森染工場** 臺北市新起町一丁目（電話三一九番） 森喜三郎
㊂**森分店** 臺北市兒玉町一丁目（電二八六二番） 森常吉
㊂**基隆支店** 基隆市明治町（電八八五番） 前田守兼

オフセット石版印刷
臺北市末廣町四ノ一
田淵石版印刷所
電話二七四七番

眼鏡製造 卸小賣
臺北市本局前（大和町）
和田眼鏡店

臺北南理髮營業組合

鈴木組
鈴木學
臺北市若竹町
電話長四八八

臺北旅人宿營業組合員
一同

特許下駄全國一手製造販賣
臺北市日新町
王源遠商行
行主 王國棟
電話三三三一・二四〇番

綿布商
臺北市太平町三丁目八十一番地
分星加商行
電話一〇六〇番

臺北市北門町十九番地
梅屋敷
電話三九六・二七四五・長七九六番

米雜穀類 砂糖麥粉 各種油類 精米業 令印麵類
吉岡徳松商店
臺北市北門町一丁目
電話一四六〇番
振替臺灣二六〇番

御婚禮の結髮、お化粧、着付
御年賀、御訪問の御美容は
本町の**ハラ美粧院**
臺北市本町四丁目 電二九一二番

純良醬油 登錄商標
日本醬油株式會社
臺北市馬場町一一八番地
電話一六三六 振替二五八三

臺北市榮町二丁目
冨士屋菓子舖
電話六四七番

臺北市兒玉町二丁目
高砂菓子舖
電話一一九五番

活版 石版 凸版 木版 寫眞版 コロタイプ版
印刷 **盛文社**
臺北市八甲町
電話八七九番

龜甲萬醬油販賣株式會社
本店 臺北市本町三丁目一番地
出張員 臺南市白金町三丁目百五十番地

純良牛乳 ヨーグルト 純良生バター
臺灣畜産株式會社
電話六一五・七四〇番

臺北鐵道株式會社
臺北市新富町五丁目五〇
電話一一九八番

臺北市新起町一丁目
臺北檢番
電話一三三、一二〇、九三一六

臺灣生命保險協會
（いろは順）

日本生命保險株式會社
日清生命保險株式會社
日華萬歲生命保險株式會社
東洋生命保險株式會社
常磐生命保險株式會社
千代田生命保險相互會社
第一生命保險相互會社
太平生命保險株式會社
大正生命保險株式會社
安田生命保險株式會社
帝國生命保險株式會社
共保生命保險株式會社
明治生命保險株式會社
三井生命保險株式會社

臺北材木商組合（いろは順）

濱崎材木店
龜田材木店
中森材木店
植松材木店
松岡材木店
牧田材木店
兒玉材木店
恵比壽商會
天龍木材株式會社臺北支店
櫻井組材木部
三浦材木店

萬華貸座敷組合

萬華共立檢番

萬華演舞場

臺北醫師會

臺北市
齒科醫師會員一同

臺灣鐵道ホテル
電話五六二 五六三 五五六
後藤鐵二郎
支配人 福島篤

日本赤十字社臺灣支部

愛國婦人會臺灣支部

臺北菓子商組合

臺灣書籍商組合

臺北消防組
本町 電話三〇〇番
大稻埕 電話一六〇〇番
萬華 電話一五〇〇番

再禁止を中心とする本年の經濟界

大に伸びるの實力

新年を迎ふるに當りて

財務局長　池田藏六

輝かしい新春を迎へて神代ながらのあらたまな心に先づ聖壽の萬歳を壽き奉り併せて聖生の彌榮を祈ると共に皇國に生れ神代に活きるの幸福を泌々と感じ本島無恙の今更に新なるを覺えます、今年は「壬申の一」歳、壬は太申は伸に通じ大に伸びるの歳を意味するものと解します、此の生成發展の意氣を以て總ての事に當り進む可き行き方と思ひます顧るに昭和六年は我國にとつて內外ともに多事多難な年でありました、之を經濟界に就て見ますれば昭和四年秋米國の取引所恐慌に端を發した世界的不況は益々深刻となり今又銀價の暴落、金解禁による物價の下落、滿洲事變等の諸原因と合して「對支貿」易の不振各種事業の收益減退企業採算の破壞等極めて深刻な不況に沈淪したのであります、本島の財界も亦之等內外の情勢の影響の下に幾多の苦難を經驗したのでありますが而もその間官民一致協力して克く耐へ忍び着々各種の整理を行つて實力を涵養し以て來るべき好況に資する所の途を講じ、さしたる波瀾も無く欣快に思ふ次第であります今や壬申の新春を迎へて滿洲問題は我國に比較的有利に展開し加ふるに舊臘十三日の金輸出「再禁止」による株式諸物價の昂騰、保界市場の好轉等我國財界の大いに伸びるを豫想せられるのであります、而も本島の產業界は電力石油ガス等の動力資源の開發着々と實行せられ今や劃期的發展を遂げんとするの階梯にありまして其の前途實に洋々たるものがあるのであります、從つて現在は此の氣運に對應する「財政策」の樹立と島民今日の眞面目なる努力とを最も必要とする時であると思ひます、斯る產業經濟の轉換期に當り吾々も留意すべきは個々去り實に就くの心掛けであります、國內的には探究市場の好轉は之を認めることが出來ましても一步眼を海外に轉ずる時は世界的不況は未だ好轉の所さへ見えず、吾財界も亦此の不景氣といふ荊棘の道を步く覺悟を要するのでありまして吾國民は斯る世界的の經濟「難局裡」にあつて眞面目な研究と努力とによつて國民經濟の發展を圖らねばなりません、國民經濟の隆替は確固たる產業基礎の確立と旺盛なる國民の意氣の存否に依存するのであります、而して確固たる產業基礎の培養は大局を誤らざる冷靜なる觀察と周到なる計畫と不斷の研究工夫と更に着實なる實行を必要とするのであります、徒らに名に捕り華に流れ「浮華輕」兆に類することは斷乎として排斥せなければなりません、虛を排し實に就き大いに伸びるの實力を內に養ふべきであります、然しながら國民經濟の發展すると否とは亦國民の意氣の盛衰に依存するのであります、徒らに萎靡沈衰し事毎に退嬰的となることは國家將來の爲に眞に寒心すべき事でありまして斯くては一國の經濟は因より文化諸般の事も亦衰亡の一路を辿るの外ないのであります、吾々は確固不拔の元氣と「勇往邁」進の精神とを以て現下の不況に屈することなく堅忍自重以て國民經濟勃興の機運を釀成すべきであると思ひます、殊に前にも述べた如く本島は今や劃期的產業開發の時代にあります官民一致協力し內臺人融合和親し一陽來福の吉祝を以て此の時代に處するの「覺悟」と「勇氣とを期待して止みません聊かしい新春を迎ふるに當り聊か所懷を述べて年頭の辭と致します（寫眞は池田財務局長）

世界經濟恐慌とロシアの經濟

日露漁業會社社長　川上俊彦

一

現代の世界には二つの根本的に對立した經濟組織がある。無計畫的な資本主義經濟組織を執るものはロシアを除く凡ての國家であり社會主義經濟組織を敷くものはソヴイエット・ロシア一國あるのみである

一九二九年の秋以來、全世界を荒れ狂つてゐる經濟恐慌の嵐を鎭めやうとして、國內的にも國際的にも、政治家、實業家、學者等のあらゆる努力をし[illegible]策を講じてゐるにも拘らず一切の事態は却つて好轉の兆すら示さない「資本主義經濟の行詰まり」が來たのではないかの感を一部に懷かせるに至つたことは否めないのである

ここに、一部識れる者は殊をも掴むしの心理が生ずる。ロシアの經濟が大きな謎として一般の興味を唆るのである

二

ソヴイエット・ロシアはいろんな意味に於て變態の存在である、その特異な社會主義經濟組織を別にしても、二千百萬平方キロの領土と一億六千萬の人口と更に多種多樣の資源を包擁するロシアは、大なる工業品の消費國であると共に、大なる農產物の生產國であるといふ意味で世界經濟にかなり重要な位置を占めてゐる。一九二九年度における貿易狀態を見ると輸出額十億二百萬ルーブルの大部分は穀物、畜產品、木材その他の原產物及び石油等であつて輸入額十億六千八百萬ルーブルの主要部分は農耕機械器具、電氣器具、工業設備品、化學製品その他の製造工業品である。もとより現在のロシアは經濟復興の未完成と購買力の薄弱のため生產資源共にその國際的影響を世界經濟上に表示する所までには至つてゐないけれども、更も內もロシアの事情を計算から除外しては世界經濟の關聯は正しく測し難い

然るに、從來ロシアの事情となると、激賞か然らずんば悄息の極端に對立した見解が行はれた。特にその經濟復興の成否については實際に造反的に報道紛々として容易にその眞相を知り得ない狀態にあつて、相容れぬ樂觀說悲觀說が喧傳されてゐる

三

ロシアの經濟復興の樞軸をなすものは、所謂產業五ヶ年計畫である。今や全世界の視聽はこの計畫の成否如何に向けられてゐる、外國貿易の國營化並に特異の爲替及び信用制度を確立したロシアは、この計畫によつて產業の國際化、工業化、農業の集團耕作化を計畫して、完全な社會主義組織を建設しやうとして、現在あらゆる犧牲を惜まず努力精進してゐる

過去二年間の產業五ヶ年計畫の經過について、第六回ソヴイエット大會における報告を徵すると、工業生產額は豫定二十九億三千萬ルーブル、實額三十億五千萬ルーブル、農耕面積は豫定一億三千萬ヘクタール、實額一億四千萬ヘクタール、商品穀物は豫定一億二千百萬ツエントネル、實額一億六千七百萬ツエントネルで、計畫は着々と進行し豫定以上の效果を收めつつあると傳へてゐる

言ふまでも無く、これ等の數字がどの點まで眞實を語つてゐるかは疑はしい。ヨーロッパ、ロシアはいざ知らず、極東方面に於ては農業も石炭業も共に計畫通りに進捗してはゐないし、勞働者の實質賃銀も上つてゐないし民衆の生活狀態は帝政時代よりも更に惡化してゐる樣に見える。特に農民に於て然りである。故に、一面に於ては農耕者の減少を指摘し、又商品穀物生產額に對する五ヶ年計畫の缺陷を擧げてその遂行の不可能に近いことを斷定しやうとするものさへ生じてゐる

四

とは言へ、ソヴイエット・ロシアの產業五ヶ年計畫の成否は依然として謎である。一九三〇年上期以來、ロシアがその豐富なる資源を利用して小麥、棉花、砂糖、木材、白金のダンピング及び近く石油のダンピングを遂行したこと、計畫を進めてゐることは世界市場殊に米國市場に絶大の脅威を與へ資本主義諸國に少からず不安と動搖とを感ぜしめてゐるのである

ソヴイエット・ロシアの產業五ヶ年計畫の成否は殊にソヴイエットの經濟の死命を制するのみならず、世界經濟上生產分配その他の分野に亙り間接的にも重大な變化を招來するであらう

世界經濟恐慌は資本主義諸國の側に於て社會主義經濟のロシアの產業五ヶ年計畫を計算に入れて今後一層深刻化するものと思はれる（寫眞は川上俊彦氏）

轉開する糖界

國際協定の效果期待

輸出市場の開拓に努力せよ

臺灣製糖會社長　武智直道

多事なりし昭和六年を送り茲に光輝ある昭和七年を迎ふるを得ましたことは我が同胞の齊しく慶祝措く能はざる所であります、平時と言はず戰時と言はず砂糖の必要な事は今更申す迄もない所であります然るに此の砂糖が 近年不振に 不振を重ねて來て居るのであります、昨年は世界協定も纏まつたので糖價の安定へ導かれる者と思つて居りましたに拘らず[illegible]といふ樣なものも手傳つて益々不振に陷り年末に際し金の再禁止で爲替高を受け多少息つけるやうになつたが、他の糖業國は何うかと窺ふて見るに、世界協定に加盟してゐない國は一般に不引合で、協定國とても未だ〳〵樂ではない、然し 昭和七年と いふ年は興味を以て迎へてもよいと思つて居るといふのは世界一般に減產狀態を示して居るので其の結果は七年八年にかけて漸次現はれて來るべき順序と思ひます世界協定の方では加盟國が此協定主張を實行してゐるしキユーバ、ジヤバは元より歐洲では七年度のビートは二割八分五厘といふ減產になつて居る協定國外の國が增產計畫を立てて居る協定國外の國が增產計畫を立ててダンピングをやるとの說もありますが然し 露國の作柄 はよくない、之れを加へても二割一分八厘といふ減產であるから之れが反影は七年の秋頃から糖界に見えて來るのではないかと見て居る、次に日本の砂糖は七年度は想像外の過剩糖を出す事になりさうです、其額は凡そ七百萬擔見當かと思ふがこれが始末には全く非常な困難ではないかと思ふ、之が一部分を輸出すると云ふ事は元よりであるが一般金融にも大なる關係を持つので 非常な努力 を要する年であらう、然し近年の不況は一面には日本糖業の進步を促す事にもなるといふのは斯る不況裡にても何うしても生產費を低下せねばならぬといふ其研究心を誘發するになるからである、兎に角此の一年を切拔ける事が出來たならば世界の狀態も好化の緒に就くであらうと想はれる、一方日本はジヤバキユーバ程には行くまいが八年からは一層生產費の減少を見る事が出來るであらう、男々 日本糖業の 前途は敢て悲觀する必要はない、唯痛切に感ずるのは正貨の流出とか對外貿易の貸借とかいふものと大なる關係にある所の此砂糖が國家經濟上輕視されて居るのではないかといふ點である、元來砂糖は加工業でなくて農產品である、北國の糖は卽ち之れから出て來るのみでなく外糖の輸入を防遏するのみで進んで國產糖特に臺灣糖を海外に輸出するといふやうな事に就いては今少しく 思ひ切った 考へ方を以て平易にどし〳〵輸出し得るといふ方法を講ずる事は最も必要な事で、遂に之が實現を得ば糖界將來の爲め一期して待つべく國家經濟上稗益する所頗る莫大なるものがあらうと思ふ

米界は買の年

本島米は大に惠まれやう

大高値は夏に出る

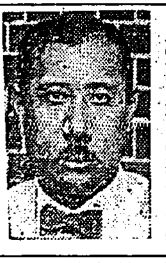
杉原產北支店長　井出松太郎氏談

政變と金輸出再禁止とに依つて株式商品市場の形勢一變し米價も年末誰もが豫想しなかつた暴騰高を演じた 政變前 の期米先値二十四円六十錢其後の高値二十三円八十錢此の値鞘三円二十錢として私は之を斯う觀測した、卽ち內一円切りは政友會內閣の成立を買ひ、一円は金の再禁止を買ひ一円は行過ぎである、結局二十二円臺に下落するとしても半分下げの二十二円二十錢は絕對に年內の底であり假令米價が日本に逆戻りして再禁止をなし爲替相場が平價に復してもそれ以下の安値は無からうと見たのである、果せるかな期米は二十二円五十錢臺で下げ止つて再び二十三円臺に反撥し二十六日二十四円十一錢と前高値にを突破した、豫期の如く發表された 率勢米 價は最高二十四円四十七錢、最低十六円三十一錢で前回に比し最高約三円最低約二円方下つてゐるけれども右は東京大阪等大集散市場の正米値段を標準とするものであるから期米が二十五円になつても正米が二十四円以下であれば率勢米價の最高を突破したものとは云へない、そこで春以後の財界一爲替の成行物價の大勢が問題となつて來るが、米國が再禁止をせぬ限り爲替相場は相當低落するものと見ねばならぬ、それは昨年米國に現送された我が正貨が爲替の安値落付きを待つて日本に逆戻りする見込も多からうし又爲替安に伴ふ輸出貿易の入超に加へ爲替安に伴ふ輸入品の價格騰貴もあらうし、相俟つて一層の爲替の下落を助長することになる一面金融市場は正貨の逆戻りと物價騰貴とに連れて通貨の膨脹を見ることは疑なく從つて再禁止前の如き不安要素の材料もないから金融は緩慢となり、金利の低下する事は之又免かる可らざる傾向である、とすれば 物價の 大勢は春になつても恐らく誤りはなからう就中米價の大勢は昨年の大凶作に伴ふ供給大不足の根本的事情だけでも前途に大きな高値を孕んでゐるのであるから爲替安に伴ふ外米輸入採算の向上、一般物價の騰勢は何れも火に油をそそぐやうなもので春は必らずや期米の二十五円があらうと思ふ正米は府稅中可なり上つてゐるが春は期米に 正米が 鞘寄せするものと見るべく、現くも減收期の二三月頃にはそれを實現するのでなからうか、其の結果政府は米穀法に依り所有米の拂下げをなすか何うかといふことが問題となつて來るであらうが、率勢米價が常に上値を抑壓するから廿五円が何うしても頭となり易い大高値は政府所有米が一掃されてからで、その間には外米輸入其他の對策も講ぜられ 拂下げ があつたりして米價は幾度か伸縮むも其後は爲替安から或は不換紙幣同樣に金の値打ちが下つて夫に供給不足と天災氣分が加味され夏中には期米の三十円を出すのでないかと思はれる母國の米不足殊に端境のカスレを救濟する唯一の補給米は臺灣の第一期蓬萊米である、本年こそ臺灣米が內地に於て其重要なる役割をつとむる一年であり將た臺灣米界の最も惠まるべき年ではないかと思ふ 丸糯の 如きは昨年まで移出が八十五萬袋に上り移出餘力最早三十五萬袋に過ぎない、一月廿日限倉渡の九円四十二錢から十六日に直輸內地沖渡百斤九円以上、一二十錢といふ高値を出したのも不思議でなく春の期米高値二十五円として丸糯の內地沖渡十円を豫想することは決して無謀でないと考へる、但し相場は上下共一本筋に行くものでなく丙蓬丸糯の移出が豫想外に多かつたのは先高見越の思惑が加味され內地殊に東京市場は多少 荷凭れ 氣味となつてゐるから一月の上半には內地よりの入荷が一服すると共に產地に於ける強氣偏頗の祟が出て一杯安いところがあらうと思ふ、そこは丙正平當としては絕好の買場で例に依り東京筋が買仕込みに先手を打ち、關西筋が買來る時は相場が再び奔騰する時と見て好からう、卽ち內地沖の十四円を呼ぶのは此時であらうと思ふ、蓬萊米は主產地の中部に移出餘力多く丙蓬丸糯は東西伸惱んでゐたが採算上深刺の餘地なく期米の二十五円があれば 蓬萊米 も沖の八円位卽ち一石當り內地倉の二十四円はあらうと觀測される、其後は期米次第であるが本年の大勢は絕對に押目買で一貫すべき年で賣方針では思はぬ失敗を招くるものと戒心しなければならぬ兎に角新春劈頭の本島米界は前途に一大光明が輝いてゐるかの感がある（寫眞は井出松太郎氏）

我が經濟界の基調

本年も多難を覺悟せよ

臺灣銀行頭取　島田茂



昨年の我が經濟界は前半に於ては依然として萎靡沈滯の狀態を續け金融市場は未曾有の緩慢狀態に推移したが後半に於ては歐洲金融界の破綻並に滿洲事變の影響を受けて異常なる緊張を示し、更に十二月に入つて政局の急變により情勢は急轉換を見るに至つた、卽ち九月下旬 英國 が突如金本位制の停止を斷行するやデンマーク、スエーデン、ノルウエー等亦これに倣ひ我が國に於ても金輸出再禁止說が頻に唱へられ且つ多額の資金が英國に釘付せられた銀行は在米資金の充實を必要とする關係上弗買に對する需要が急激に增加し、正金銀行また自由に賣り應じて、その取極め高は頗る巨額に上つた、ここに於て日本銀行は正貨を補塡するため十月六日及び十一月五日の二回に亙り步合の引上を行ふに至つたが 正貨 の現送は頻繁に續けられ、十月三日より十一月十五日までの間に正金銀行は實に三億一千四百萬圓の正貨を現送した、これがため正貨準備は急激に減少して遂に五億圓臺を割り大正五年以來の新記錄を示すに至つた、この正貨の激減は日銀再度の利上と相俟つて忽ち金融の緊張を招來し、金利昂騰の原因となつた、卽ち上半期に於て日本銀行の一般預金は概して二億圓前後を往來し多額のときは三億五千萬圓以上にも及びこの金融緩慢は 金利 低落を來してコール月步は翌日物一厘三厘の間を上下したが十月下旬には情勢一變して日本銀行の一般預金は九千萬圓臺に減少しコール月步は十一月末に於て二錢に達する昂騰振りを示して年末の資金需要を豫想せしめた又銀行預金利子[illegible]一齊に引下を斷行したのであるが下半期に於ける金利昂騰の情勢は十二月十四日再び引上斷行を餘儀なくせしめ又 臺灣 に於ても十月十二日及び十一月十六日の二回貸出利率引上を行ふに至つた、かくの如く金融界の基調が急激に變化したので、事業會社の資金調達は頗る困難になり、殊に中小商工業者の資金窮迫は一層深刻になつて地方金融界の動搖と共に年末財界に少なからず不安を釀すに至つたが當局機宜の措置により事なく越年し得たのは慶賀に堪へないところである、ただここに特筆すべきは、正貨激減のため十二月十三日再び金輸出禁止斷行の止むなきに至り日銀、鮮銀、臺銀の 兌換 に制限を加ふる發券制度の改正を見るに至つたことである、惟ふに我が國の幣制として能ふ限り金本位制を維持すべきは言を俟たないところであるが、事態は既に巨額の正貨を喪失し、その上國際貸借の前途は相當惡化を豫想せられて、もはやこれ以上金を自由移動の儘に放任し得ずと認めたる政府當局が正貨擁護の爲めこの非常手段に出でたのは寔に止むを得ない次第である、顧みるに昭和五年一月十一日解禁以來實に二十三ヶ月目に再禁止を見たのである、金融界に關聯し昨年の公債相場について見るに、一昨年十月暴落の後稍安定狀態を呈した 公債 市價は昨年二月より漸次上進の步調を辿り、その後の金融緩慢に刺戟されて益々騰勢を續け七月には昨年第一の高値に上つた、然し間もなくドイツの金融恐慌が起つて公債投資に警戒氣分が現はれ、又金融緩慢も漸く底を衝いたので、公債市價はここに落調に一轉し、更に滿洲事變と英國の金本位停止と相俟つて甚しく市況を惡化し公債投資家に多大の打擊を與へた、而して[illegible]

物價 の趨勢を見るに引き續き低落の物價は昨年三、四月頃一時落付模樣を示し、これがため財界不況底入れを說く者もあつたが深刻なる不況は內部に於て絶えず進行し失業者の增加と農村の疲弊は購買力減退を誘致して物資の需給不均衡は依然改善されず、その結果昨年の物價は十二月中旬迄終始落調を辿つたのであるがただ六月末に於て一時的小康を見た、パーセント[illegible]により昨年日本銀行の物價指數によると昨年十一月は一一六であつて一昨年末の一二六に比し一年間に於て一割五分の低落を示してゐる、然しこの物價下落の傾向は十一月の金輸出再禁止の影響を受けて漸次騰勢に轉じ不況財界に一脈の光明を投じた、卽ち爲替相場の下落は先づ內地商品に影響し綿絲は二割生絲は一割見當の騰貴をなしたのであるが、この騰勢が幾何の伸力を有するかは未だ豫測し難く、四圍の情勢より見て遽に樂觀を許さないのである、更に對外 貿易 について見るに、世界的不況は貿易額を著しく萎縮せしめた、且つ昨年は各國が爭つて關稅障壁を高め自國の產業擁護に努めた爲め我が輸出貿易は多大の支障を來し、その上銀價の崩落、長江筋の水害、支那の日貨排斥等相次いで我が重要輸出品たる綿絲綿布の輸出を甚しく阻害し更に英貨の暴落は英國の東洋市場進出を促し我が既得的地位に關らず動搖を來した、今十一月末までの內地の對外貿易を見るに輸出は十億六千四百萬圓、輸入は十一億二千萬圓で差引輸入超過[illegible]であつて前年同期に比し輸出は二割一分方、輸入は三割五分方の減少であるが輸入に於て下半期の棉花買付が一昨年に比し著しく增加してゐるので貿易狀況は一層惡化を豫想された

顧み て昭和六年の經濟界は實に多事多難であつた、而して本年の經濟界も亦多事多難を覺悟せねばならぬ、先づ支那の日貨排斥は今後當分[illegible]されて、對支貿易の回復は甚だ困難であり、久しく歐洲財界の恐慌は益々深刻を極め更に險惡なる米國經濟界の不況深化が傳へられ、海外市場は實に暗澹たるものがある從つて金輸出再禁止以來の物價騰貴、證券上りを見て我が經濟界が直に好況に轉ずるとなすは未だ早計の謗を免れぬ、この際國民は一致協力して內外の困難に當り、國家百年の大計を立て所謂進出主義の策を探り、不況克服の奮鬪を要するのである（寫眞は島田臺銀頭取）

本年の相場觀

主として期米と株式

今年は申年である、大に伸びる性質を持つてゐるから投機市場は定めし目覺しき活躍を演ずるだらう、昨年十二月十三日政友會內閣成立と共に金の輸出再禁止が斷行せられてから大興奮を續けて來た各市場が 大納會 間際に又も沸騰、春高人氣を殆んど出し盡したかの感がある、卽ち大阪期米先限の廿四円四十一錢、新東株の百六十四円九十錢、鐘紡の二百十七円七十錢、綿絲の七十五円、[illegible]先限の二百四十一円七十錢、分錢前場物の十四円四十三錢（納會）、綿絲五月限八円五十一錢（保證）、期米二十一円五十錢など以前に比し目覺しく上つてゐる、中にも期米、株式、綿絲には思惑氣分が多分に含まれ 春高を 充分に買つた形跡がある、期米などは年末に春高人氣が出過ぎると新年發會でボケたり或は一時高値が出ても押つて春安となる例が少くない、供給大不足と再禁止による爲替價値の低下卽ち物價騰貴の大勢から見て前途に大高値を孕んでゐることは明かだが再禁止發表された率勢米價の據置基準が現在頭を抑へるから春の高値は期米で精々二十五、六円迄 正米で 二十四円位でないか而も大納會の二十四円十一錢は新甫三月限に鞘を見込んで既に二十五円の人氣を現はしたものと云へるシテ見ると春の高値は買へぬといふことになる、又昨年十月初の安値十八円六十二錢に對し二十四円十一錢は約三割上げである、昔から三割高下に向へといふ金言がある、此の金言に從へば新甫の二十五円は好伸味があると云へ、併し再禁止といふ大材料は根本的價値の下落といふ點から大勢は方針が可であるとも云へる、又 株式は 昭和五年の新東株八十三円が三年七月の百九十五円から見て三年目の頭に當る大底でそれから三年目の七年卽ち本年が大天井を出す順廻りとなつてゐる、昭和三年の高値百九十五円に頭を合すことは問題でないかと思ふ、それより遙に上廻るのでなくそれが先決問題で若し米國の爲替が平價を割るまで下るかそれとも 爲替が 三十五弗以下或は三十弗にでもなれば金持は財產擁護の爲め保險的に株式殊に東株を買ふことになるから新東が邦價を超越した高値を出すかも知れぬ、日露戰後に七百八十円世界大戰後に五百円を出した東株であるが、再禁止による新東株の高値こそ全く無口當といふより寧天井で新春賣出百七十円位で一時 頭を打 つても押したところは又好買場となるであらう（ケー・エス生）

綿布界は前途洋々

米高による農村景氣期待

菊元商行主　重田榮治氏談

滿洲事變に次で金の再禁止が斷行され財界各方面の形勢一變し株式の爆發高と共に諸物價は勃然立直つて來たが中にも綿絲の奔騰目覺しく其後一日押目を作つて更に斷然步調を續け大納會を待たで二十六日早くも一月限百三十四円六十 月限 百四十圓 といふ大高値を演出した、月初の安値より約四割方の立直りである、是は云ふまでもなく再禁止に伴ふ爲替安が主因であつて殊に春の爲替が一段安を見越されて居る上一時下落してゐた米棉も一月限六仙二四、先限七仙一九と一時の安値より多少持直し目標百五十円も今一息といふ頑強振りを示してゐた、私は豫て金の再禁止は避けられないものとして唯だ時期の問題であると見てゐたのであるが、政變の爲めその時期を早めたのであつて之がため財界恐慌の危險除去され綿業界も對支問題の打開が緩和し得たことは同慶に存するところである 新年劈頭 更に綿業界の前途を展望するのも無益の事ではないと信ずるが、その基調となるべき爲替市場の頭勢を觀ふに現送正貨三億の內一部は輸入資金に利用さるるとしても何分爲替の未決將が多く政府が之を何う處分するかが問題で解合が出來ると爲替は當然高下るものと見なければならぬ對米三十五弗に落付くか或は三十弗まで下るかは判らぬが何れ或程度迄下つたところで 平價切下 げが行はるるものとしそれまでは綿絲にも可なり浮動商下があらうと思ふ假に百五十円迄下るとせば綿絲布の輸出は阻害せられ居つて思い結果を來すかも知れぬ、さうでなくとも對支事變は未だ解決せず我が國の工業政策は將來に好結果を齎らすとしても差當り對支貿易の回復に望み難く米棉絲相場に關係を持つ米國經濟界の不況は依然深刻を極めてゐるが爲替安と內地の購買力回復以外に樂觀的材料なく從つて無條件の強氣は危險であるとも云へる、併し乍ら綿布の 對外輸出 は爲替安の爲め有利となり英國の金本位停止後一時東洋方面で英國品に壓迫されたが我が綿製品は再び地盤を回復し得る望みもあり一方對內的には米價の騰貴による農村の潤ひから需要も漸增加し一時睡息して居た綿布取引は數年來の萎靡不振から脫して一躍好況時代に入るものと期待され殊に盛夏にあつては米價高に刺戟され米作の豐進的發展を招來し各種農業活動の値上りと共に 本島人側 の景氣は頓に引立ち來るべく從つて綿布の反動的需要增進目覺しい商業者も漸く息つくことが出來やうと思ふ、併し乍ら餘り買に熱狂して思惑に走るとは思はぬ手違ひを來し問屋側としても貸込代金の回收に困難することがないとも限らぬから樂觀の中にも警戒を要し取引先の改選と和合協同の下に綿布取引の堅實なる發達を圖らなければならぬと思ふ（寫眞は重田榮治氏）

新年の辭

臺灣電力株式會社長　松木幹一郎

茲に昭和七年の新春を迎ふるに方り瑞氣に充ち溢れた我臺灣のより新たなる發展が如何なる形態の下に推移すべきかを吾々は瞑想して見たい

臺灣は 其產業發展の過程に於て自然に農業本位であつた、然るに近年の世界的不況から其主要產物たる砂糖、米、茶、樟腦、石炭等の重要輸移出品の價格が一般に慘落を呈し振はざる爲影響甚しく從つて之等諸業者は勿論之と取引關係を有する商工業者も間接の影響を蒙り何れも苦境に立つの止むなきに至つた是畢竟世界經濟界大勢の餘波とは謂ひながら誠に深憂に堪へざる次第である、於是我が臺灣の將來を按ずるに出來る丈け早く 中小工 業を企劃振興せしめて此產業分野の調整を計る事の最も急務なるを信ずる、臺灣は南洋に[illegible]とは一葦帶水指呼の間にある地理上の優位を占めて居り原料の輸入にも製品の輸出にも至極便利である、目下施工中の日月潭水力電氣工事が三年後に完成すれば安價なる巨量の電源が得られ工業上にも一新生面を拓くことの望は充分ある、更に本島特有の天然瓦斯は其分布の狀態に於て頗る有望視され若し之等の 天然資 源の利用が其方法宜しきを得たならば便利なる工業の誘導に好都合で而も電力と瓦斯の兩資源は共存共榮で併行する望も充分あると信ずる

唯最も注意と戒心を要する點は之等の資源の利用は何れも深く學術技術の上に立脚し且近代經濟の軌道を外づれぬやう步を進むべきことである

斯くて農業本位より漸次工業本位へと多元的に經濟の道程を辿るならば今後不況に對する場合にも比較的容易に切拔け得べく又平常の經濟採算も大に面目を改め得らるべきである何事にも一段の研究を遂げたならば對岸 支那の 都市附近に於て現在經營しつつある我紡績工業等も本島に誘致し來り得るものと思ふ、斯くして我臺灣を多元的產業發展の中樞部たらしむることに依つて初めて本島將來に燦榮が待望せられ得るものであることを信ずると同時に官民一致此の方面開拓への精進に充分なる努力を拂はれんことを熱望して止まざる次第である

申年の運命

―世相百般の吉凶―

高島象山

昭和七年度は、壬申の年である世俗には十二支を指して當年の名稱など言つて居るのであるが、十二支は斯の如き意義名稱に依つて起つたものでなく、天地間に於ける地の數より起つて陰の消長を示したものである。而して十干は天の數より起つて陽の消長を示したもので共に天地陰陽の意義を明かにしたものである。此の天地陰陽の消長である、十干十二支を應用して來る可き昭和七年度壬申年の運命を觀測すると壬は十干で陽に位し五行では水になつて居る。而して申は十二支では陽に位し五行は土に屬して居る故に十干も十二支も位は共に陽である。陽は斷片的ではあるが陽氣發剌として 進展の 氣運を有してゐるから世相の凡ては發展性を孕んで向上するものと推定する。然れども陽は陰的であるから物的に進化を生じ統的の向上は遲されない、更に五行が水と土であるから相剋して、物心共に交錯の內に發展性を生じて後平坊に歸し終騰あるの兆にして天地間の萬象は上下入り亂れ激變に陷りて後平坊に至り年末は漸次に順調に復して世相の安定を得ると云ふ年柄である。更に各自の運命上歲廻りを觀ると

一歲、四歲、七歲、十歲、十三歲、十六歲、十九歲、二十二歲、二十五歲、二十八歲、三十一歲、三十四歲、三十七歲、四十歲、四十三歲、四十六歲、四十九歲、五十二歲、五十五歲、五十八歲、六十一歲は凶年に相當して萬事は不如意の兆を有して居る、其の內一歲、十三歲、二十五歲、三十七歲、四十九歲、六十一歲は本年に當つて居るから一層の注意を要するの歲廻りである

然れ共昭和七年度は大勢運命發展の年であるから之れ等の諸氏も一般的には惡くはあるまいが時々の災厄を蒙らん樣に注意が肝要の年柄である。其の他の歲廻りに相當する諸氏は何れも吉年に相當して萬事は有位に傾向して立身出世も赴く年柄である。以上は十二支十干で說いたのであるが更に余が獨創的の科學的推算の觀測に照らして觀ると昭和七年度は三の活用數に相當してゐる。三は陰陽消長に接するの數で多事多端の年柄に當る故に上下內外共に更生して進展する義がある。而して社會運命は正の數に相當してゐる正は正義で整然の意義を含んで惡弊去つて保然され、凡ては物質的向上を發揮して飛躍的に發展あり社會の好傾向を示すの年柄となるのである故に今年は精神的にも物質的にも更生的變化は起るも物心は揃めて合理的に發展するの年である。これで從來易學卽ち十干十二支の本と余の獨創的科學推算の見地より今年度の大要意義を明かにしたから之れ等を應用して次に諸般の事柄を詳細に記述する。

畏み、畏みて、昭和七年度の御皇運を拜すれば、黎明を過ぎ旭輪海上に昇々として出で旭日次第に昌大するの義ありて益々御發展盛に何等の支障なく、國威四海に輝き渡る迄に芽出度い年柄であつて國民の均しく祝福し奉る[illegible]。次に諸外國との關係は[illegible]動搖を 釀起し三、四月、七、八月は最も危險で紛擾を引き起す恐れある時である[illegible]經濟界は大觀として極めて順調に進展の意氣を有して諸物價も漸騰步調を辿るもので[illegible]米大好景氣の前提となる年柄で誠に喜ばしい年である。其の內二、三月、六、七月、十一、十二月は諸物價共に高低變化の波瀾を極める傾向がある。尙株式期米綿絲生絲の定期相場は一月より四月迄は騰勢を辿り高値に邁進する五、六、七、八月は少し押して目下押を遂る時で大保合の內に安く、而して九、十月頃より再び上騰して年末は大に騰貴する義がある。次に農作物は國民重大の關係を有する。之れが豐凶如何と觀察すると當年は稻作は平年作位から少しは良い方であるが豐作とは至らぬ。其の內早稻は不良に至り易く中稻は平年作位で晚稻は稍豐作と云ふ順序であり而して北海道から東北地方は平年作位で中國から四國九州地方は稍豐作と云ふ義がある。更に畑作である麥は豐作であると同時に夏作の總てが豐作の兆を有してゐる點は喜ぶ可きである次に養蠶は概して出來宜しく殊に春蠶は各地を通じて上出來の義あり然し共本年は蠶種は早く成長する程上出來に惠まれる所から掃き立てを早くする事が肝要である。繭價も又有利である、夏蠶は不良の兆が多く秋蠶は稍出來宜しい義あり繭絲共に騰貴するから養蠶家は有利の年柄であると同時に製絲家も力を入れる年である

次に天災地變を觀ると多少は所に依つて風水害及び地變を生ずると雖も大局より見て先づ無難の方である、其の內東北地方は雨量多く又一回又は二回の暴風に襲はれる兆がある關東から中京路は水害に罹り易い其の他の地は大した事はない。地變としては西南地方の海邊に起り易い。而して本年の天候は二三月は雨多く降雨勝なり梅雨期は始めは雨少なく順調であるが末期から六、七月は天候惡しく雨量多し、八月は風水の懸が起り易い年末は天候惡しく十二月は降雪少ない年で夏は凉しいが冬は寒い年柄である。次に本年は厄年と云ふて結婚が多く取り行はれ易い年であると同時に其の結果は誠に幸福な家庭を造り一代を安定する者が多い。然し共本年の總體は女兒を產み易く双子等を澤山出來る。一般社會的にも今年出產するのは女兒多く出產に關る。若し初產にして男兒を產むものは却つて產が重い傾向を含んでゐる年柄である（終り）

草庵の春

島田青峰

元日や何時風いつもある書齋

○

閉すつて罪敷つて見し二日かな

○

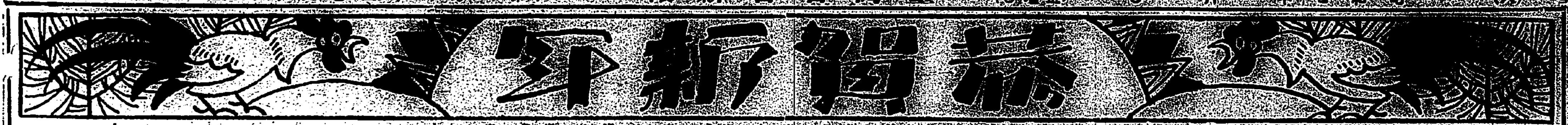
年賀の男氣語も三日かな

○

松の內部屋にある机邊かな

○

松過ぎの庭のくま〴〵掃きにけり



恭賀新年

臺北辯護士會員

（いろは順）

岩本喜之助　臺北市表町二ノ一六　電話一三五三番
生野利一　臺北市末廣町三丁目四　電話三六九六番
石堂明治　臺北市御成町一ノ二四　電話一〇〇四番
知念政信　臺北市御成町一丁目九五　電話三三四八番
陳有輝　臺北市元園町一〇　電話二六九五番
李瑞漢　臺北市永樂町二ノ五九　電話三五九六番
岡野才太郎　臺北市御成町三ノ三　電話二〇三六番
金子光太郎　臺北市末廣町三丁目七　電話八六六番
川村淳　臺北市表町二丁目五　電話二三五〇番
横山市治　臺北市太平町二丁目九二　電話二四八九番
吉江潤國　臺北市大和町四ノ八　電話五三八番
谷本貞雄　臺北市御成町一丁目一四　電話二九九二番
武井羽二郎　臺北市御成町一ノ一一　電話三三八九番
鼓包美　臺北市太平町二丁目四五　電話四九番
土屋理喜治　臺北市大和町二丁目三　電話三三六番
永山章次郎　臺北市大正町三ノ二〇　電話二四八〇番
佐藤德治　宜蘭街　電話一九番

長尾景德　臺北市御成町三ノ五　電話一四九八番
野口滿　臺北市下奎府町一丁目一〇四　電話二二五七番
國原賢德　臺北市太平町二丁目四三　電話二四一三番
安則三之助　臺北市下奎府町二丁目六　電話三五三九番
桝見良作　臺北市御成町一丁目九二　電話八六七番
古屋貞雄　臺北市京町四丁目三番地　電話二九九八番
穎川增福　臺北市本町四丁目七八九　電話三八九〇番
安保忠毅　臺北市下奎府町一丁目一六八　電話二五六・一七一・八七二番
有水常次郎　臺北市表町一丁目三十九番地
吳鴻麒　電話一七九三番
蔡式穀　臺北市太平町二ノ九二　電話二四一六番
木村長十郎　臺北市大和町四丁目八　電話四四二番
蓑和藤治郎　臺北市古亭町一四　電話五〇二番
三谷仁思　臺北市末廣町四丁目一　電話五七六番
井川正直　臺北市蓬萊町四四　電話二八三七番
檜垣元秀　臺北市下奎府町一丁目一六八　電話二五六・一七一番
施炳訓　臺北市御成町一丁目二四〇　電話三六五七番
檜垣元一　宜蘭街　電話二二六番

恭賀新年
臺北市大正町二ノ一七
林熊徵

恭賀新年
許丙
臺北市下奎府町一ノ一六五　電話三六八番

第三區煙草賣捌所
郭廷俊

恭賀新年
臺北茶商公會

臺北州臺北市表町二丁目十番地
合資會社
南國公司
電話一一四番

天上一品
醬油の御指定なら
黒天上　赤天上
最上醬油
大正醬油株式會社特製品

蚊取で
一番ヨクキク
渦巻金鳥香
本年大特賣
全臺灣代理店
臺北市 金重本店

鳩印ゴム紐
臺灣洋品雜貨株式會社
臺北市大平町二（永樂町北側）　電話一三七一番

臺北貸家業組合
臺北市岩竹町二丁目十七番地　電話二四三〇番

臺北市錦町
三合成製菓商會
店主 張心
電話一五五四番　振替臺灣五三七番

臺北市太平町三丁目九十四番地
司法代書人　行政代書人　事務所
林紅嬰
林文運

陸軍　鐵道部　各官衙　專賣局　指定
菊池順高等洋服店
臺北市新起町五丁目十五　電話三五二番　振替臺灣三〇五五番

喪中ニ付年賀缺禮仕候
西洋料理
改陽軒
臺北市京町郵便局前　電話八一八番

喪中ニ付年賀缺禮仕候
眼鏡商
久松千吉
臺北病院眼科御用達　臺北市京町二丁目

喪中ニ付年賀缺禮仕候
池端自轉車店
臺北市榮町三丁目　電一九八五番

喪中ニ付年末年始ノ禮ヲ缺ク
司法代書　行政代書
楊阿東
事務所 臺北市太平町四ノ二五八　電話三一九〇番

各賣藥
各種藥問屋
各新藥
基隆局私書函十四番
福德堂藥房
基隆市玉田町一丁目三十七番地　電話五一一番　振替臺灣五一二番
店主 福田仁三郎

基隆郡役所
清水七郎

基隆市役所
吉富保之

基隆市
淀川喜代治

製粉　パン粉　各種原料　製菓原料　ミツワ洗粉　卸小賣　商標
荒井製粉所
基隆市天神町二五　電話一〇三二番

作業服　既製品　東京小間物　メリヤス　足袋　其ノ他各種
大黒屋商店
基隆市義重町四ノ六　電話一〇〇九番

各種紙函製造　紙函附屬品　其他
竹村紙函店
基隆市東町　電話一〇七二番

食料品商
基隆市義重町四丁目角
是枝正二商店
電話九三六番

食料品商
基隆市義重町
是枝支店
電九八番

賀正
基隆市玉田町一丁目
櫻井印刷部
電話二一八・二〇四四番

土木建築請負業
基隆市玉田町一丁目三十六番地
志村貢
電話五七七番

營業軌道臺北萬華坊寮板橋間
[illegible]
臺北市新起町二ノ一四
蔡溪商會
電話長四六二番

板橋街長
神谷龜吉
外職員一同

林祖壽
板橋街

鶯歌庄長
陳阿玉
外職員一同

中和庄長
江讚慶
外職員一同

土城庄長
簡鴻黎
外職員一同

有限責任
土城信用購買利用組合

中和信用組合

嘉禾拓殖株式會社
板橋驛前

海山自動車株式會社
板橋驛前

田中清
金瓜石

後宮末男
金瓜石

宜蘭線双溪驛前
双溪館
鶴田ミドリ
電話九番

瑞芳郵便局
佐伯鄉介

金瓜石郵便局
村上高二

双溪郵便局
村田爲廣

基隆炭礦株式會社
四脚亭事務所
[illegible]

平溪庄役場
[illegible]

双溪驛前
騰祥運送店
顏添木
電話四番

瑞芳驛前
瑞生運送公司
電話八番

瑞芳驛構內
瑞芳作業所
相談役 王爽

菁桐坑驛構內
菁桐坑作業所

石底驛構內
石底作業所

金瓜石鑛山株式會社
勞力請負
黃仁祥
瑞芳庄九份二番地

臺灣淡水港株式會社
施合發商行
電話 長三一〇番　長五一一番　長六一〇四番　長一二〇四番

淡水街役場
街長
多田榮吉
電話六四番

淡水街
有限責任
淡水信用組合
電話一五二番

淡水街
專賣煙草元賣捌人
雷俊臣

淡水街
協議會員
林百煉

淡水港
老義發材木商行
代表者 李好
電話五四番

淡水街
土木建築請負業
張媽進
電話四五番

淡水海水浴場
水月
電話一一九番

淡水街
御料理　會席
肥後亭
淡水驛前肥後亭支店
森山傳喜
電話一〇三番

淡水街
御料理　仕出し
山口屋
電話二八番

淡水街
御料理　會席
山口亭
電話二九番

淡水港
川口屋
中野金太郎
電話二八番

淡水街
西洋料理　元祖
大歲德太郎
電話二四番

淡水街
水浴場
和樂園
電話七番

八里庄役場
庄長 谷善次
助役 鄭金漢
會計役 張增壽
外吏員一同

宜蘭街
田中吳服店
電話六一番

平戶宜蘭支店
電話一一四六・一七二番

宜蘭街坤門
張逢源商行
電一五九番

宜蘭醫院前通
蘭陽齒科醫院
電話一八番

宜蘭街
小林司法代書人

宜蘭市場前
下山陶器店
電話三二番

宜蘭街
渡嘉敷醫院
電話一六番

宜蘭街
中山齒科醫院
電話一〇一番

宜蘭市場內
大和屋食料店
電話二八番

宜蘭街
下里履物商店
電話一七番

宜蘭食堂
電話一五七番

宜蘭銀行前
南門館
電話二二九番

有限責任
宜蘭建築信用購買利用組合
電話二〇四番

宜蘭街長
小島仁三郎
助役 宮川三二
助役 石鏗遠

有限責任
宜蘭信用組合
電話三四番

宜蘭郡頭圍庄
頭圍酒類小賣人組合

宜蘭街
杉崎旅館
電話五五番

宜蘭
對馬郁之進

宜蘭
畑田光之助

宜蘭專賣局出張所構內
宜蘭煙草小賣人組合聯合會

宜蘭煙草小賣人組合

宜蘭酒類賣捌人
黃再壽
電話二三三番

宜蘭酒類小賣人組合

宜蘭
山地勇

辯護士
宜蘭街
佐藤德治

醫師
宜蘭街
坪井二一郎
電話二三〇番

宜蘭街
加藤吳服店
電話六二番

宜蘭料理屋組合

宜蘭街
電話二二八番
新建發商行

宜蘭
榎本靜夫

礁溪庄
樂園
電話二四八番

宜蘭驛前大通り
電話三一〇番
宜蘭館

宜蘭街
田中榮續堂
電話二六一番

宜蘭名產元祖
老增壽商店

宜蘭街
成興樓
店主 蔣阿番
電話二三五番

宜蘭街南門通り
ライト寫眞館
電話二〇番

宜蘭南門街
奧州屋商店
電話三一番

宜蘭街
蓬萊醫院
電話二六三番
院主 陳土金

宜蘭街
惠德醫院
電話三一六番
院主 李兆敷

宜蘭街南門通り
中和齒科醫院
院主 陳喬岳

宜蘭
渡邊三郎

宜蘭
上村達夫

壯圍庄長
吳焰樹

礁溪庄長
呂天賜

員山庄長
朱再枝

礁溪庄
西山旅館
電話乙六六番

宜蘭街市場前
大成商會
張振茂
電話三〇五番

御旅館
近江屋旅館
蘇澳港
電話一二番

御旅館
東洋商會
蘇澳港
電話一七番

御旅館
壽
蘇澳港 上田ミヨ
電話一〇番

御料理
音羽
蘇澳港
電話二五番

蘇澳港
御料理
小松島
電話三七番

御料理
有明
本店 蘇澳港　電話二三番
支店 南方澳

蘇澳港
海陸赤帽組
倉庫　疊工場
電話二二番

蘇澳港
電話二六番　**市田自動車商會**
電話四六番　**兩森自動車商會**

酒類賣捌所
長谷川鎌太郎
蘇澳港 電話六五番

蘇澳堂藥店
蘇澳港 電話六二番

木原疊工場
蘇澳港 電話二七番

新泰興商店
蘇澳港 電話六三番

蘇澳
菊池和

蘇澳
熊谷三平

蘇澳
小泉清

蘇澳港
公醫
嘉村治剛

蘇澳港
遠藤貞清
電話四七番

蘇澳庄長 小辻宇吉
同助役 高橋均
同會計役 雷木水

（東沿岸航路貨客運搬船南澳丸）
[illegible]
海南興業公司
電話四二番

林榮輝
蘇澳南方澳

南方漁港
福田商店
福田寅太郎

南方漁港
蘇澳水產株式會社
電話七〇番

南方漁港
福島造船所

南方漁港
吉山鐵工所

南方漁港
橫井商店出張所

南方漁港
濱田船具店

臺北州蘇澳庄南方澳一〇二番地
源商店
店主 楊長泉
電話七六番

日用品　食料品　印刷　石油　[illegible]
有限責任
汐止信用組合
組合長 李朝宗

汐止街長
李朝芳

賀正
嚴天送
汐止街三七九

明大軍を迎へて 鐵團先づ相見ゆ

32年の劈頭―圓山球場に 火蓋を切る球界の兩雄

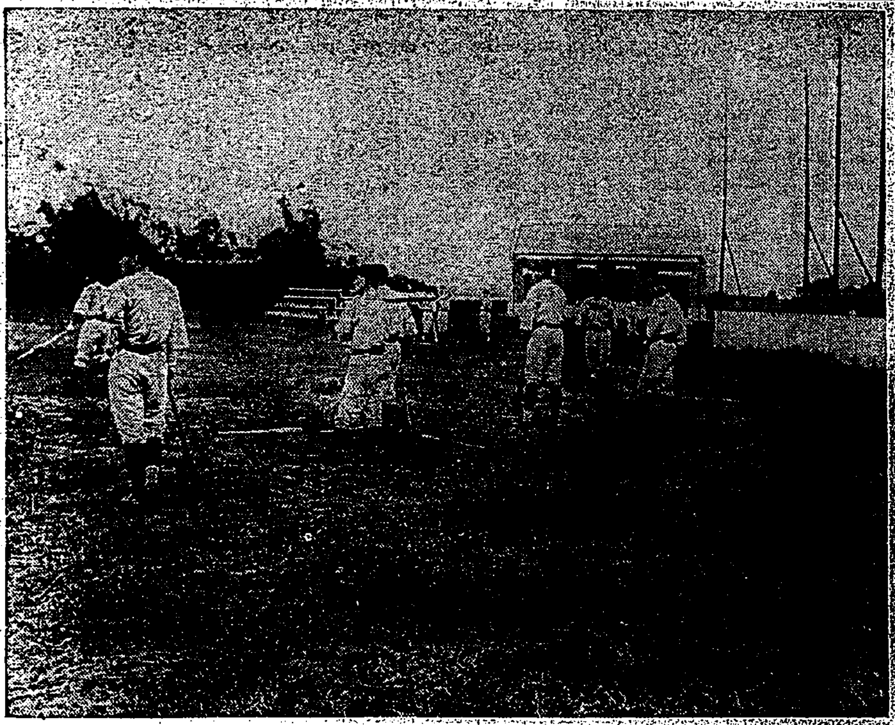
1931年も去つた、新春を迎へ大喜び―それは新しい人生へのスタートだ、本島スポーツメンに訪れた快報―

32年の劈頭

トツプを切るもの、それこそ圓山野球場に展開せられる、明治大學對鐵團の野球第一回戰だ、新興岡田監督の統制に動く廿八の明大軍精兵は昨秋の榮譽を荷なつて精悍新鋭無比な快技を行はんとしてゐる、此の明大スピリツトの下に一丸となつて打つて來る敵鋒を甚々受けて之を粉碎せんとする本島球界の雄鐵團は剛球一世に謳はれた濱崎投手を陣頭に立てて本島球界の闘士、鐵團の擁する俊鋭を總動員しての對戰だ、明大は赤木、八十川、戸來、中村の投手陣に井野川、中村、飾持、二木、山脇の捕手陣を配し一壘には剛打松木を始めとして鈴木、泊綱を配二壘は岸根、市谷充しホツトコーナー三壘は角田主將を頭に三浦、三輪、濱野を擁し遊擊は岡野、久保田の備へ、外野陣は強打者松井を首班として中尾、河野、森松木原、關口、中根を配へての二段三段の構へである、之に相對峙して臨む

陣を張る鐵團

は投手陣に濱崎、鵬岡の鐵々たるスタツフを擁し木村を臣へ捕手陣は名捕手と謳はれた鈴木が控へてその快打を振はんとすれば小堀、増田、山上等之に配き一壘は中村、濱田、二壘は永田、三壘三山、遊擊阪茂尾と内野陣は鐵壁の守備を固くせんとする外野陣は内山、木多、才木のトリオに田子、鈴木平、岡本の第二陣を配して快打、猛打を明大陣營に見舞はんとしてゐる、明勝つか鐵勝つか、試合は時に開始されんとしてゐる、一日午後一時半試合開始のサイレンの吼り―審判員のスタツフは天知、福澤の兩氏を東都より迎へ之に佐崎、大澤の權威を加へて此のビツグゲームを權威あらしめてゐる


猛練習してゐる明大選手

岡田監督一行も きのふ無事著北

自信があると意氣軒昂

岡田明大監督、堤、井野川兩選手を迎ふべく三十一日記者は永井本社員と共に基隆に到り午後零時半ランチに乘つて亞米利加丸を待てば雨中同船は靜々と港内へ入つたデツキに岡田監督が見える手を振つてゐる、ランチから乘船挨拶もそこ〳〵に再びランチへ移乘

自動車 を驅つて直に臺北へ……是非今日午後から圓山で行ふ練習へ行きたいとの岡田監督の望みで車を疾走させてゐたが松山に差懸る頃突如パンクしてしまつた記者は岡田、堤、井野川三氏と共に經營道路をテクつてゐると石原本社支配人、大澤本社主筆西田社員を乘せた自動車が松山に出迎へたので同車に乘り圓山球場へ直行し明大選手の練習は終つてゐたが折柄練習中の鐵團選手の

練習振 を觀て午後三時半旅館蓬萊へ入つた、岡田監督は語る

何しろ投手、捕手、一壘、二壘、三壘、中堅、右翼がなくなるのですからね之はもう口癖になりましたよ新チームの編成ですが勿論大半は新人選手によつて組織せられるでせう、新人は皆つてゐますよ、大丈夫自信はあります、臺灣ですか、十年前に臺へ來たことがあるから臺灣通でせうねそれから三度目の來臺です

元旦は 鐵團との一戰ですね、渡邊福岡君始め猛者連がゐるので全力を擧げて戰ひます、CB共ストレートで撃破する覺悟で戀ります

井野川選手は 臺灣のビーフンが食ひたい、旅館へ着いたら、先づビーフンだと※※だ、堤選手は水牛、家鴨と沿道で眼にしたもの一々が珍らしく記者に質問を浴びせかけてゐたが兩選手共非常な元氣であつた

入場者の注意

明大と臺灣チームとの第一回戰は一日より愈々火蓋が切られるが圓山球場では午前十時から入場券の發賣を四ヶ所にて開始する（二日以後は午前九時より）試合の合圖は午前十時から花火を打揚げる天候不良の場合は決定次第

花火を 揚げる筈、選手席は明大側は毎日三壘側CBと鐵團とは一壘側となつてゐる、選手入場は午後零時半の豫定になつてゐる、尚入場の場合來賓、選手社員其他は東側入口により、自轉車所持の向は圓山街道沿ひの特別の入口よりされたい、同所には自轉車預かり所もある、右の外の注意として觀覽者は球場内に入らぬこと打たれたるボールに手を觸れざること場内には弁當其の他の

賣店あ り森永製菓では スコアカードを入場者に贈る事になつてゐる、又場内には音樂隊あり明大その他のエール等を吹奏し試合その他に就ては擴聲機で逐報する外野に於て特に掲示板を設け外野よりの觀覽にも便じ且つ完全にホームランたることを明かにする樣に設備してある、場内整理委員の外に臺北州人、成淵及び大成中學生隊が整理に當ることになつてゐる

入場券の前賣

明大招聘の野球大會入場券は會場以外にては本社販賣部日新號具店等の外盛進商行、新高堂書店及び各官衙會社その他の販賣所に於て前賣してゐる

三ケ日のお天氣 段々よろし

元旦は依然曇天で 時折霧雨があるかも知れぬ

初詣で、觀賀式、囘禮、本社主催吉例野球戰と新年行事は數多く、せめて元旦だけでも快晴のお天氣に惠まれたいと思ふ時、曇天小雨模樣といふのが本島北部の冬季の常天氣だと聞けばこれも詮方ない事ではあるが、若やの望みを抱いて測候所に質せば揚子江中流に高氣壓が低側してゐるので元旦の臺北の御天氣は矢張り曇天で時折霧雨があるかもわからないが、大晦日の天候は元旦、二日と次第に快方に赴くのは確實である、これで元旦から四日迄のファン待望の明大招聘野球戰にさわりのない事だけは明かである

ラグビー大會 九州臺灣豫選

全國中等學校ラグビー大會臺灣九州豫選會は三十日福岡に於て行はれたが臺灣代表臺北一中は九州代表修猷館中學を十五對八のスコアーにて撃破し臺灣九州代表權を獲得、愈々甲子園南運動場に於て擧行せらるる全國中等學校ラグビー大會へ再び馬首を進めることとなつた

臺北高校 北大豫科に勝つ

全國高校ホツケー大會

四部大學聯盟主催第三回全國高等學校ホツケー大會出場中の臺北高等學校ホツケー部は三十日の第二次戰にて第二回大會の勝者北海道帝大豫科チームを四對二（前半〇―二、後半四―〇）のスコアで撃破し三十一日の決勝にインター・ハイの雄、成城高校を五對四で破つて學習院チームと戰ふことになつた

七萬餘圓を募集 飛行機一臺を獻納

新高號と命名して滿洲軍に 本島鄕軍の義擧

「兵力の消長は是れ國運の盛衰なることを辨へ……」之は明治十五年一月四日軍人に下賜せられたる勅諭の一節である、此の勅諭を拜受して五十周年を迎へるに當り、時恰も國運消長の重要なる時期に直面してゐるので、臺灣の在鄕軍人が一丸となつて明年二月迄に賞金七萬餘圓を募集し飛行機一臺（新高號と命名の豫定）を購入し滿洲軍に使用して貰ふ爲に獻納することに決定したが時節柄醵金は强いて[illegible]募集方法は在鄕軍人分會を問はず醵金は[illegible]在鄕軍人分會長宛に送付し分會長が各々管内の分を取纏めて支部長の手許に屆けることになつてゐる尚總務長官その他有力者が贊助員になつてゐる

年末警戒成績

臺北州警務部は年末警戒のため三十日午後七時より州下各郡署に命じて一齊搜査をなし次の如き成績を得た

逃走犯人五人、罰金未納十三人、違警例三九、賭博六九、逮捕狀執行三、阿片令違反六、無賃渡航一〇、行政諸規則二〇計百六十五名

臺北高商敗る

高專ラ式蹴球

全國高專ラ式蹴球九州及び臺灣豫選會に出場した臺北高商ラ式蹴球選手は九州の覇者たる西南學院と三十日午後一時から福岡市春日ケ原運動場で試合したが十二對三で遂に西南學院に敗れた

けふ明大對鐵團第一回野球戰

午後一時半開始（開場午前十時半）

聖代第七の新春に 宮中四方拜の御儀

引續き嚴かな歳旦祭

聖代第七の新春を迎へて宮中ではこの朝數々の御儀を擧げさせられ、天皇陛下には曉闇なほ濃き午前四時半御離床若水にて御淨身のことあり、五時半には御宿直の侍從等御介添へにて至高の儀服、黄櫨染御袍を召されて綾綺殿を賢所神嘉殿に出御、伊勢神宮をはじめ、四方の神祇畝傍山陵桃山、多摩の各御陵を御遙拜國家安穩、萬民多幸の御祈念を凝らし給ふた、かくて四方拜の儀終了すると更らに御鈴のうちを三殿における歳旦祭に臨ませられて御親拜、天明ほのじらぐ同六時嚴かな神樂歌と共に入御遊ばされた

内外臣僚の拜賀式

晴れの御膳の御儀

元旦の朝の賢所御儀に續いて更に七時半には宮中鳳凰の間に出御あらせられ晴の御膳の儀あり

天皇陛下 には竹屋女官長進獻の「ひしはなびら」を召され終つて皇后陛下、照宮、孝宮、順宮三内親王殿下から宮内官で御祝詞の御挨拶あり、留居番の御祝詞につかせられたが、宮中では同十時から天皇、皇后兩陛下出御の上晴れ晴れと御參内の秩父宮、高松宮、各皇族、同妃殿下をはじめ奉り東鄕、山本兩大將、犬養首相以下各國務大臣、貴族院議長以下在京の親任官、貴衆兩院議長、勳一等功一級同待遇、公爵從一位等の宮中席次の有資格者より奉拜一、二の間及び正殿、豐明殿、東西溜りの間にて夫々年の始めの

御慶言上 をうけさせられ同十一時には正殿に臨御の宮中席次第二席以上の諸員、宮内奏任同待遇官、午後一時半からは本邦駐箚の各國大公使、同夫人の拜賀があり新春第一日をめでたく終らせられた

今年は徐々に 景氣が好轉

米國實業界巨頭の 意見は大體一致

【ニユーヨーク三十日發電通】アメリカ實業界巨頭中重要な地位を有する人々は大體一致して來年度より財界は徐々に好轉すべしと言ふにあるが、その時期については何れも明言を避けてゐる、ゼネラル・電氣社長ジエラード・スウオープ氏曰く

一九三二年も三一年と大體同樣で遽かに好轉は期待出來ぬが、その後は徐々ながら各種生産の增加を見るに至るであらう

ゼネラル・モーターズ社長アルフレツド・スローン氏曰く

三二年度は經濟機關が徐々に回復するであらうがその時期は明言出來ぬ

大納會後の 米價大暴騰

―本島の春景氣樂觀

滿洲事變と再禁止の爲めに形勢一變躍進した重要商品は大納會に於て更に一段の高値を演出し特に人氣益々熾烈となり殊に米日爲替は三十日二弗半三十一日一弗半慘落して三十六弗となり之が爲め春の物價暴騰を見越され米價の如きは政友會内閣の政策と供給不足を買はんとし總選擧までは高いといふ人氣で新市三月限二十六圓買ひの人氣を報じ之が爲め本島米の買入註も續々として絶えず納會で九圓十一錢と止めた二期丸糯一月二十日限は産地の買惱みに氣配メツキリ高張り二十九日九圓七十錢唱へとなり三十日は十圓を突破し大晦日は現物十四五十錢、先物十一圓を呼び、蓬萊米も八圓唱へと大納會より七、八十錢方高氣配である、又南部在來米は越年後の北部需要も見越され蓬萊の刺戟と相俟つて六圓五十錢まで昇騰した、此の米高で農村の人氣は頓に引立ち金廻りの良化と共に新舊季の決濟を樂觀され地方を對象とする市中商店も著しく元氣づいて來た

朝鮮と比較し 臺灣豫算は大成功

池田財務局長の談

アメリカ丸ニユース

【基隆電話】亞米利加丸の代船アメリカ丸が三十一日定時入港した時も年末なので來客もゾロ〳〵として落ち付いた話も出來なかつた、池田財務局長が昨年來年度豫算編成に關し大藏省と折衝し上首尾で大任を全うし歸臺した

來年度豫算は大體豫算紙發表の通りで新規事業五十件に認められたのは甚だ服かである、公債三百萬圓も認められた、これは主として鐵道改良、港灣修築にあてる是も

苦心し たのは歳出で剩餘還元金年割百四十三萬圓を三分の二、即ち約百萬圓の納付を緩和された事で、これはまだ發表していないネ、それと剩餘金六百七十萬圓の中三百萬圓を繰入れたから三者を合せ來年度豫算は財政的技術や手腕で約七百萬圓といふ巨額を浮かしたり繰入れたりしたわけだこの點では臺灣は大成功であつたが朝鮮はみじめなもので何もかも認められず却つて政府補給金から二百萬圓を削減された電力外債は爲替三百萬圓が對米爲替の値下りで百八十圓程損になる、工事材料の

値上り で請負人は困るだらうが鐵材の如きはさしづめ八幡製鐵所から割引して購入するほかないネ、オイ基隆では築港工事もある所に新規事業では漁民住宅、旭橋街道それから專賣局の酒倉庫が一棟增えるなど害り年だよ

その他乘客は古賀三千人が歸臺し歌人松村英一氏も來臺した

二日の初荷

例年よりは盛ん 商店の意氣込素晴しく

滿洲事變と共に金の輸出再禁止が斷行せられてから株式及重要商品市場は俄然的好勢を示し延いて經濟界一面に商工界は俄に活氣づき殊に米價の低落で痛弊してゐた農村に時ならぬ潤ひを與へ資金の移動も著しく頻繁となり商品の

荷動き 增加し又ストツクの値上りで巨利を得たものもあり、年末市況は豫想以上引立つに至つたので各商店共頗に元氣づき商品代金の回收も圓滑に景氣と共に今後漸次良化するものと見越されるに至つたのと一面臘末に迫つて米日爲替が爆落して三十六弗となつたのは滿洲事件に對する米國の態度も一因をなしてゐるとは云へ之によつて諸物價の暴騰を見越す人氣は益々熾烈となり一般に本年の景氣回復を確認してゐる爲めか地方よりの

入註も 多いので市内商店の意氣込み素晴らしく二日の初荷は例年以上に盛況を呈する模樣である、いま臺北の主なる會社商店の初荷を述べると次の如くである

▲東光石鹸 二日午前五時綠町の同東光油脂工場より出荷、藥局藥店用アポーホーサン石鹸百個、東光石鹸三百個、王妃石鹸、三百個、藥品約三十個、市内には藥品自動車三臺、王妃石鹸百個アポーホーサン石鹸五十個、東光石鹸二百個を初荷として各店に配給する中南臺南東光支店で臺北同樣初荷を出す

▲新高製菓（二六軒）午前七時古亭町新的一六工場出發、トラツク十五臺にバナナ・キヤラメル、新高チウインガム及新製品高級新高キヤラメルを滿載し樂隊付にて賑々しく市内へ初荷の配給をする

▲藤田商店 午前八時自動車二臺とトラツク七臺を連ねドリコ、鶏甲丸組甲、ヤマサの初荷を市内取引先に配達する爲め樂隊付にて華々しく繰出す

▲岩川運送會社 午前五時半本町同本社前より荷車にて朝日地下足袋アサヒ靴數十臺を初荷として繰出し各取引先に配給する

▲西川商店 京町化粧品問屋西川商店では午前七時よりトラツクにレコード石鹸ライオン石鹸を滿載樂隊を先頭に景氣よく初荷を出す

▲クラブ化粧品 本島の配給元神木洋行では國產品として定評あるクラブ化粧品が昨年諸合荷が進物用品として豫想以上の好況を示し之が需要益々高調したので本年初荷として之が特別優待特賣付出と第四回クラブデー大景品付荷物を二日全島各驛より華々しく出荷する

▲森永製品販賣會社 自家用自動車五臺に森永チヨコレート、ドロツプス、キヤラメル、ビスケツトミルクを滿載午前九時表町の同社出發各特約店に配給する

▲十一屋 新起町十一屋化粧品問屋はメヌマポマード、仁丹ハミガキ、仁丹石鹸、マスター香粧品六十餘荷を初荷として四日午前五時より各取引先へ配給する

屏東飛行聯隊の 飛行初め

一月六日に行ふ

【屏東電話】屏東飛行聯隊では一月六日飛行初めを行ふ筈であるが當日は明大選手一行も同隊を見學することになつてゐる

JFAK

一日

▲午前六時 歳旦國威宣揚新聞狀況（東京）東京九段靖國神社拜殿より

▲午前八時 全國氣象通報（東京）今日のお天氣のお知らせ（臺北測候所發表）

▲午前九時二十分、吹奏樂「君が代」臺北音樂會、指揮細田榮重 挨拶（臺灣放送協會理事長東鄕）

▲午前九時四十分 講演「年頭の辭」臺北帝國大學總長幣原坦

▲午前九時五十分 齊唱（臺北第二高等女學校生徒）イ、年の始め、ロ、君が代

▲午前十一時五十九分 時報、氣象通報（臺北測候所發表）放送局編輯ニユース、午後のプログラム紹介

▲午後一時二十分 運動競技（野球）明治大學對鐵團第一回戰（圓山野球場より中繼）

▲午後五時 子供の時間（東京）お話（文部大臣鳩山一郎）

▲午後五時三十分 特別講演（大阪）「昭和七年展望」

▲午後六時 子供の時間 商話 西岡頭

▲午後六時三十分 常磐津（東京）「忠臣藏三段目」（桃の井風の段）常磐津文字大夫外四

▲午後七時 放送舞臺劇（東京、大阪南局より放送）

▲午後七時 放送舞臺劇（東京）「吉岡改作竹枝」（藤八幡社頭石段の場）（松本幸四郎、守田勘彌其他）

▲午後七時三十五分 放送舞臺劇（大阪）「黑手組曲輪達引」新吉原仲之町の場、三浦屋格子先の場（實川延若、阪東秀調一座）

▲午後八時四十分 長唄「新年の唄」（尾崎如水作詞、杵屋六多喜作曲）唄芳村伊十郎、芳村[illegible]、三味線新稻葉千四、杵屋六多喜 常磐津「御題「曉の鷄聲」」（尾崎如水作詞、谷口きん作曲）唄梅木梅若、三味線谷口きん 長唄「鶴龜」（杵屋六左衛門作曲）唄新稻葉千奴、瓢亭啓助、三味線新稻葉千房、上調子杵屋六多喜、笛住作久助、小鼓小永樂啓助、大鼓日本亭仙助、太鼓望月仙樓

▲午後九時二十分 時報、氣象通報（臺北測候所發表）臺日ニユース、放送局編輯ニユース、公示並告知事項、明日のプログラム發表

二日

▲午前八時 全國氣象通報（東京）今日のお天氣のお知らせ（臺北測候所發表）

▲午前十一時五十九分 正午の時報、氣象通報（臺北測候所發表）放送局編輯ニユース、午後の放送番組紹介

▲午後一時二十分 運動競技（野球）明治大學對CB鐵團第一回戰（第二日中繼）圓山野球場より中繼

▲午後五時 子供の時間（大阪）童話劇「惑紙」神戸お伽座、大阪影繪社

▲午後五時三十分 特別講演（大阪）「昭和七年展望」講演者木村

▲午後六時 子供の時間 邦樂番組 放送指揮藤尺八、琴吉田山奏、明中村百合子、同吉田智惠子、箏作奏鈴木貞子 一、元日（和田山作作詞、中山晉平作曲、佐藤晴美編曲）二、母さん（千葉光三作詞、佐藤晴美作曲）三、お寺の鳥（野口雨情作詞、佐藤晴美作曲）四、夜の大工さん 五、チヨコレート 六、文福茶釜（楠原しげる作詞、宮城道雄作曲）七、爺さん婆さん（野口雨情作詞、佐藤晴美作曲）八、山家新年（大和田愛羅作詞、佐藤晴美作曲）

▲午後六時三十分 落語（東京）「御慶」柳家小さん

▲長唄（東京）「外記猿」唄芳村伊十郎、同芳村伊久四郎、同芳村伊十三郎、三味線杵屋榮蔵、同杵屋榮次郎、上調子杵屋榮二、笛住田多蔵、小鼓望月朴清、大鼓望月太七、大鼓稀原鍋三郎

▲午後七時三十分 ピアノ獨奏（東京）小倉末子 一、前奏曲及遁走曲、イ短調（バツハ作曲、リスト編曲）二、練習曲、變ト長調、作品二五、第九（シヨパン作曲）三、夜想曲、へ短調、作品四八、第一（シヨパン作曲）四、海のさざめき（アルベニズ作曲）五、交響曲詩「フエートン」（サン・サース作曲）

▲午後八時 かるた會（東京）山田尚

▲午後八時四十分 謠曲 一、翁 宝生流 八島 謠吉見嘉樹、太鼓大村武、小鼓弘盛般一、笛杉田浩丸 二、喜多流 猩々 謠吉見嘉樹、小鼓弘盛般一、大鼓吉見嘉樹、小鼓大村武 四、觀世流「小袖曾我」謠弘盛般一、大鼓吉見嘉樹、小鼓大村武、笛杉田浩丸

▲午後九時 時報、氣象通報（臺北測候所發表）臺日ニユース、放送局編輯ニユース、公示並告知事項、明日のプログラム發表

天氣概況（三十一日）

本島及沖繩附近は引續き相當に北東季節風強く澎湖島は風速十米基隆は九米那覇は八米沖繩列島は雲多り本島内は南部は晴れ又は快晴基隆臺北は雨其他は曇りとなつて居ります

▲天氣豫報（一日）

第一區 北乃至東の風沿海地方は稍強く曇り但北部沿岸は雨模樣

第二區 北乃至東の風沿海地方は弱く曇り

第三區 北乃至東の風沿海地方は弱く晴れ

臺北地方 東の風曇り但小雨模樣あり

		午前	午後
（一日）	滿潮	二・五五	三・五〇
	干潮	九・二五	一〇・四〇
（二日）	滿潮	三・四五	四・三〇
	干潮	〇・二〇	一一・〇〇

謹賀新年
民雄庄役場
陳聯彬

臺灣キネマ營業所
今福豐平
嘉義市榮町四丁目六一 電話四〇二番

嘉義市内 バス
嘉義民雄新港
嘉義朴子
嘉義竹崎
嘉義水上 南靖
各線
嘉義自動車合資會社
代表者 林
電話三一〇・八番

賀正
（嘉義大通）
松本金物店
最上洋品店
正田商店
齋藤小間物店
新谷吳服店

嘉義市
松岡一衛

有限責任 羅山信用組合

嘉義中央土木請負組合
電話五三二番

嘉義醫會

賀正
御旅館 青柳
嘉義市 電話 八二七番

潮州料理屋飲食店組合

有限責任 潮州信用購買利用組合

有限責任 萬巒信用購買利用組合

潮和醫院
醫士 邱

愛生醫院
醫士 王炳水

潮州
高瀨光造

養生醫院
公醫 陳通

潮州庄潮州
購買組合
河野通林

潮恒自動車株式會社
電話 八番

豐裕自動車合資會社
潮州枋寮通り 電話三六番

有限責任 新埤信用購買組合

有限責任 枋寮信用購買利用組合

有限責任 水底寮信用購買利用組合

新涼旅館
潮州庄潮州字五塊厝五四三 電話一〇番

潮州郡潮州
赤嶺明

屏東郡守
武田駒吉

屏東郡
大谷八郎
佐野庄一郎

屏東信託株式會社
電話二五二番

張學良命錦州軍
盡撤退於關內

三十日北平急電。張學良。三十日午後八時。命令錦州全軍。盡退於關內云。

錦州軍撤退隊
經山海關退於天津

三十日山海關。錦州軍關內撤退部隊第一列車（車輛二十四。兵五百名。馬百餘匹）。卅日午前四時半。經山海關。望天津退。撤退軍隊。似集於灤州云。

多門師團占溝帮子

三十日大連急電。多門師團先鋒。三十日午後五時占溝帮子。揭揚城。城頭高揭日章旗云。

嘉村旅團占打虎山

三十日奉天急電。打虎山。三十日午後三時。爲嘉村旅團。完全占領云。

北寧敵軍腹背受擊
已棄陣地而逃

三十日奉天電。嘉村旅團。占打虎山。多門師團。占溝帮子。北寧線上之敵軍。得從腹背。完全挾擊。又溝帮子去錦州。僅十七里。此間敵之防禦陣地。只在大凌河畔。敵恐無力防禦。想已放棄陣地。逃入錦州。若我軍仍此續進。三十一日中。易到錦州。然錦州軍。既撤退於關內。軍之進擊。所當考慮。關東軍司令官。與參謀本部。亦應相商。錦州總攻擊。不即著手。此間如何措置。實要講究云。

裝甲列車猛戰
我飛機自空中投彈
敵軍散亂我軍追擊

卅日大石橋電。飛行隊〇〇機參加盤山溝帮子間裝甲列車戰。擊退敵軍裝甲列車。午後一時任務遂行歸來。據其報告。多門師團先頭裝甲列車。今朝在離溝帮子。東南五里間水坨。東馬廠戰線。與敵第一裝甲列車。交戰猛烈。奈敵數倍優勢。頑強抵抗。因求主力部隊應援。午前十一時餘。敵更得後續裝甲列車增援。猛襲而來。於是彼此裝甲列車。猛烈戰鬪。敵抵抗最頑強。三時久。此時我飛行隊〇〇機。自空中參戰。投下爆彈。敵瞬時散亂。退於溝帮子。我軍直追擊云。

對華對世界極多事
冀極東平和繁榮
外務大臣犬養毅氏談

我對華關係。對世界一般關係。極其多事。滿蒙忍耐諸多犧牲。於門戶開放機會均等原則。欲使成內外人安住繁榮之地。從事平和開發。阻止中國軍閥私鬪之波及。我國防上。國民生活上。有重大利害關係。如無視此歷史及現實。蹂躙滿蒙我權益治安。則須排爲難而膺懲之。在中國。罹國內野心軍閥政治家共產主義者其他不逞分子之禍。漸成無政府狀態。乃極慘事。善隣我國極不幸。如打破若輩惡徒及封建的諸軍閥。猶民衆幸福。則我國于此種運動定當全幅同情及支持也要之。我國對于中國軍閥惡徒之挑戰的運動。以自衛的見地排除之。而對于日華共榮。極東平和之貢獻。則協力提携。增進相互親善也。次與諸外國關係。大體滿足。滿洲事變發生以來。歐美各國。多少誤解。幸實情漸明。認識我公正態度。近將派遣之中國調查委員。若知中國實情。是正歐美認識則幸甚也。能打開世界不況。貢獻于軍備縮小。乃國民之幸。時局重大。希一致努力。俾國運隆昌也。

時評

戰伐之年逸去。平和之歲迎來。同一元旦也。比之過去。大有意義在焉。前途光明。大有希望在焉。翹首可待。不當更引觴暢飲屠蘇酒乎。

○外交政策中。莫大於對華問題。數年來諸懸案。誠早一日圓滿解決。則人口多容食糧多得。國泰民安亦早一日駢臻矣。

○新內閣施政來。所謂犬養景氣者。國中亦大出現。物價相當騰上。公私所有經價倍增。中下階級之生活。能使之不受威脅乎。不受壓迫乎。亦國恩也。亦家慶也。

○內地延長主義。勢所必行乎。理所必行乎。然勢常勝於理也。顧非群策力以進之。不特不可得而遂望。反有倒行逆施之憂者。合法的運動。大衆勉乎哉。

○權利義務。從古相對。權利欲享十分。義務亦盡十分。二者不妨乘除之。當盡則盡。當享則享。苟且姑息。糊塗了事。島人通蔽。害莫大焉。

○政治也。經濟也。文化也。社會也。之四者。現代的國家。無有不行民本主義者。督府於島內。固亦著著施設。唯日新日進。聖詔煌々。我等島民。涓埃未報。倍宜黽勉之。

嘉義各團體
新年拜賀式

嘉義神社。定一日午前五時。舉歲旦祭。三日午前八時。執行元始祭。中學校。農林學。高女。商工校。小公學。女子學校等。均于一日午前八時至九時。舉新年拜賀式。市尹親臨。其他來賓。多數列席云。

切望國民更始一新
爲國家盡瘁
內閣總理大臣犬養毅氏談

茲迎昭和七年新春。謹祝聖壽萬歲。併對七千萬國民諸君表賀。同時稍述所懷。望國民諸君贊同也。第一須覺悟者。乃日華係爭問題。此機會不可不解決。日本何故與中國戰。何故將同胞十萬之血。附諸犧牲。向以投下二十億巨費而不惜。此乃欲確保東洋永遠平和。貢献世界人類文化。幸當時中國政治家。理解日本眞意。雙方善意。締結幾多條約。爾來滿蒙日々開發。日俄戰爭前。同地人口僅九百萬內外。四半世紀後之今日。已逾三千萬。此乃我日本民族之努力。而日本當不可以此而安小成。進而傾注資力心力。爲人類文化。開發滿蒙。近年中國政治家。不知此先輩及日本之眞意。煽動大衆。排日運動。無視條約。且謀破棄之。似此彼等態度。對于世界人類。有所背德。殊如我日本民族。生命財産被脅威。故昭和三年五月。當時政府田中內閣。關滿蒙治安。發聲明書。凡紊亂同地治安。或惹起紊亂治安之事態。帝國政府。欲極力阻止。力說而交附于中國政府。然彼等猶不悟。今回事變遂勃發。誠遺憾千萬也。若于此機會。不解決一切日華係爭問題。則東亞之地。永久不安。我民族不得不退却大陸。亦未可知。此斷不可忍也。我等須忍艱難。一路向根本解決邁進。

次經濟問題。我等既於與黨政務調查會決定。大體已立對策方針。而當面問題。既經當局研究。著々實行。期無誤謬也。

又國民諸君。際此履端伊始。切望更始一新。爲國家盡瘁也。

統治第一義任務
首在治安確保
臺灣總督太田政弘氏談

夫多事多難之昭和六年已過矣。茲復迎多望之新年。而得與四百萬島民。共頌聖壽萬歲。實余最欣幸。顧余于昨年一月。拜大命來任斯島。時適承霧社事件之後。蕃地民情大搖動。即平地亦有過激社會運動。民情難稱爲靜穩。本島施政方針。如余到任以來。每有機會所聲明。奉戴一視同仁聖旨。維持島內治安。使島民經濟的並文化的水準向上。以資帝國々運之進展。就中余以治安之絕對的確保者。爲統治第一義的任務。何者。蓋文化之花。常開于平和之鄉也。乃人民之幸福。絕對不得在于不安之政治下。故余就本島民度。對民情認有惡化之虞之社會運動。則勤斷乎之處置者。全在于此也。至于霧社事件之善後。將同地蕃人。移住于適當豐沃之地。使彼等勿以仇敵感情之刺戟而盲動。又欲明信賞必罰之原則。對行兇者相當處分。勤功者各爲恩賞。以所慎之一端。聊得于治政上具體化者。竊以爲欣幸。昨年六月。賀陽宮殿下。爲陸參謀演習御渡臺。遍巡島內。島民各以熱誠歡迎。而當局御警衛。亦毫無遺憾。安然離臺。與島民所同光榮。蓋日晉京伺候于官邸時。殿下對御渡臺時之官民款待。賜謝詞。今不勝感激。又昨年九月。滿洲事變勃發。斯于我國生存上。極有重大關係。爲特殊權益擁護上。實爲不得已者。依其逐爲國際聯盟問題。依其進行如何。我國遭遇未曾有難局。嗣因外務當局之努力。及國民一致之後援。我國公明正大之行動。終爲列國所承認。誠喜慶。然該事件。尙在進行途上。故吾人切望滿蒙治安。從速回復。爲日華兩國民。實現安全理想鄉。且滿洲爲余前任地。曾各處巡視。而事變勃發以來之登場者。多係相識。殊深感慨。臺灣現如斯業上文化上。適際會更新時機。而于產業上。藉臺灣電力外債之成立。日月潭工事。著々就緒。行見以低廉豐富電力供給。並各種產業勃興之氣運。由文化方面而言。三十六年間之教育。效果頗著。國語到處普及。漸進與母國同一水準。對此過渡期之苦處。由個人言由國家社會言。均要以最慎重態度。吾人必須于大地下足。以確實漸進主義而進也。然由地方制度之改善。共婚法之實施等。使新臺灣益見光明。俾逐來島得以名稱其實。聊述一言以爲迎春之詞。

北州聯吟
三日午後一時

臺北州下聯吟會。來三日午後正一時。將開于臺北聖廟。已如既報。目下聲明者約八十名。尙陸續報名參加。春光明媚。定卜盛況。

吾人須一大覺醒
陸軍大臣荒木貞夫氏談

茲迎昭和七年元旦。恭祝聖壽無疆並祈皇運隆昌。今者皇國思想界經濟界。其他各般。際會重大危機。兼之滿洲事變勃發。吾人須以一大覺醒及決意。慨然打開難局。確保東洋永遠平和。其機會已將實現。吾人意氣。須與新年俱新。所謂脫却歐美模倣弊習。自覺我是日本人。還本來面目。體諸册二千六百年八洲創造之意義。奉天照大神垂示神勅。本神武天皇建國本義。以皇道不可不布施于八荒之決意邁進。確立國家永遠之計。聊述所懷。以當年頭之辭。

以新臺灣氣分邁進
奉報國家社會
總務長官木下信

多事多難之昭和六年已過去。茲迎昭和七年新春。乘自然界之一轉機。心機一轉。以躍判之氣。邁進于所向。顧昭和六年。內外多事。試觀財界之推移。世界各國。俱呻吟于經濟界不況渦中。所謂[illegible]景氣。終歸于徒言。德國金融之恐慌。于歐洲財界益不安。舉盡世界。藉緊縮政策。及稅關障壁。政力于國內產業保護政策。以俟他日之好機。我國亦不能脫出困圍外。不得已亦藉緊縮政策。國產品愛用。促進產業合理化等。死守金本位制。舉國一致隱忍自重。以期他日之飛躍。然九月中旬。奉天突起日華衝突事件。爲崇中國各地。徹底的抵運動。使我對華貿易。殆見根絕。產業界極度萎靡。國民益以堅忍不拔精神。徐講不況對策。議會迫在目前。突起政變。金本位制停止。國民益須忍苦。對外日華問題。依然繼續。然則我國滿蒙權益之擁護難執。非以舉國一致當之。不唯帝國之隆成難保。即樹立亦危。故六年誠爲多事之年。抑吾臺因內界及母國財界推移。亦所多難。唯幸無大事件過年。所堪同慶。又官廳關係。問題亦夥。誠爲遺憾。然昭和七年。欲以新臺灣氣分而進。統治大方針。不許何等變改。臺灣爲帝國之一部。奉戴一視同仁之聖旨。以期開發向上。在施政大綱。若開發產業。須增加資本。資本增加。乃要求文上向上。文化向上。誘致社會的活動。吾等隨此趨勢。衆庶一心而進。是爲政治之要諦。吾臺爲帝國一部。居民宜衷心爲忠良臣民。協心戮力也。我新臺灣。宜以此氣宇。以當諸項施設。不問民衆如何。協心戮力。以報國家。以盡社會。以增進全般之福利。俾文化向上。得爲一人分希酬聖旨。願以此新臺灣氣分。以圖施設諸種改善進步。此乃吾等于昭和七年新所期之大指針。際此新春。披瀝所感。希望官民各位之奮起。

輸墨因緣

高雄州鳳山郡鳳山街。鳳崗吟社々長林靜觀氏爲發起。訂來一月三日午後一時起。欲在鳳山信用購買組合樓上。開擊鉢吟會。

明大野球選手
歷訪總督長官
最後訪本社敍禮

明治大學行野球選手。抵臺第一夜。投宿吾妻旅館。三十日午前九時。由本社。伊藤會計課長等爲嚮導。與岩木部長。横澤兩氏。北乘自動車。前往臺灣神社。正式參拜後。攝影紀念。午前十時。訪問總督官邸。饗應茶菓。次訪長官々邸敍禮。然後訪問本社。與河村社長談敍。次歸旅館。

觀音山柑橘園
遊覽會
自動車開通

觀音山自動車線路。已自稻江太平公學校。開通至新莊郡五股庄觀音山凌雲寺前。際此新春。絕好登山眺望。該自動車公司。因主開觀音山柑橘園遊覽會。自客臘三十日至一月末日。每日午前六時至午後六時。發行往復乘車券付入場券。一人五十錢。小兒半額。且附蜜柑一籠。自動車自太平公學校前。每二十分發車云。

1932の新潮社
新文藝日記
文藝愛好家 文筆の士に 日記選擇の煩なし
諸君の爲に日記新裝して書店に待つ
賣切れぬうち早く
60錢
追加發行

謹賀新年

臺北南カフェー營業組合
事務所 西門町二ノ一九（永樂商）
電話（三〇〇）九番

基隆市
野口末吉

基隆市福德町二ノ三
江源茂藥行
江瑞英

喪中ニ付年賀ノ御挨拶缺禮仕候
桑田剛助

臺灣製麻株式會社
豐原

臺中輕鐵株式會社
豐原

謹賀新年
豐原街
豐原製紙株式會社

謹賀新年 豐原街
林錦

御旅館 安樂ホテル
食堂 カフェー安樂 電話五二

洋品雜貨化粧品卸商
崑源商店

臺灣煙草賣捌人組合
屏東支部

屏東
大和興業株式會社
電話一四八番

有限責任
西螺信用組合
電話一番

石炭採掘販賣
德興株式會社松山炭坑

喪中ニ付年末年始缺禮仕リ候
淡水街 協議員
施禎益

斗六運輸組
浦木小三郎
陳儘泉

鹽水港製糖株式會社
花蓮港製糖所
壽工場
大和工場

獅頭山勸化堂開善寺

竹南郡頭分庄
展南拓殖株式會社
電話竹南一四番

司法代書人
劉珍祥
竹南驛前

有限責任
中港信用購買組合
竹南電話三六番

先橋鎭水間
錦成軌道公司
造橋驛前

喪中缺禮
中港酒類賣捌人
許生
竹南電話三二番

群英旅館
竹南驛前 電話二三番

謹賀新年
方學京
竹南驛前

竹南酒類小賣人組合
竹南煙草小賣人組合

有限責任
竹南建築信用購買利用組合
電話二五番

獅山優良石炭採掘販賣
華南商行
竹南驛前

司法代書人
黃發盛
竹南驛前

貸自動車
新竹タクシー商會
竹南自動車合資會社
竹南驛前 電話三五番

御料理
竹廼家
竹南 電話四一番

竹南驛前
日本生命代理店
臺灣日日新報取次店
林日輝

許萬得
竹南電話二五番

竹南ホテル
竹南電話五番

大湖郡役所前
松屋旅館

大湖庄役場
古賀政一
外職員一同

潮州郡
竹田庄長 李方祉
萬巒庄長 劉安紅
枋山庄長 王啓智

土木建築請負業
高雄市山下町一ノ一六
大野組
大野倉太郎

基隆市日新町三丁目六番地
高橋洋服本店
電話一〇〇八番
臺北市京町三丁目一番地
高橋洋服支店
電話二五五三番

年益二千圓
兎を養へ
熊本市水前寺町五〇
日本兎毛皮工業社

高砂行

光線石油
糖粉雜貨
鼎益興商店
出張員駐在所

綿豐洋行
杜錫圭

辭鄉
御料理
黃龍元
電話一一九番

員林製米株式會社

竹塘庄役場
庄長 莊日
助役 曾得明

北斗郡二林庄二林
二林旅館

內埔庄長
張堪

新社庄長
詹明樹

員林街
石井善次

喪中に付年賀缺禮仕候
羽井佐銅工店
羽井佐禮次郎

訂正
昨紙揭載周金樹年末年始缺禮廣告中
周金樹ハ周錦樹ノ誤植

妻キヨ儀十二月三十日午後六時三十分死去ニ付此段生前ノ辱知諸賢ニ通知ニ代ヘ謹告仕候
夫 清水善一
男 島田敬英

大阪商船

近海郵船

簡素美！簡潔調！向日性！
三二年型のモダン現象
スポーツが鮮明に投影

◇……新居格

小學生の野球試合、全國中等學校選拔チームの甲子園に於ける爭霸戰、六大學チームの神宮外苑球技場での試合、都市チームの對抗試合と云つた風に、野球は全國的な興味の對象になつてゐる。そこへ世界最強チームとも云へる米國の職業野球選手が來て、圓熟な技術を見せた。それは日本でも職業野球の選手團が出來るやうになるのではないかと云ふ氣運を釀成した。三二年にかて職業野球團が出來るとは云はない（出來ないとも限らないとは思つても）だが、段段にその氣運に向ふのであらう。將來アメリカに次いでの野球國日本は兩國の職業選手團とで花々しく試合を行ふ日が來るであらうことが豫想される。日本の職業野球團は日本の資本家たちの手によつて組織されるか、それともアメリカ人の投資に待つて組織するか、それは豫測し能はぬ。財界の不況にあへぎ、日支間の紛爭が何時納まるか、それとも進展するか、限りに、案外早く納まつても經濟的餘波は殘るであらう。內外共難きとき、職業野球團の如きを企畫するものがあるであらうかとも思はれるが、社會情勢の上からして充分職業野球團が成立つと思へば考察する人もないとは云へぬ。

野球と共に、籠球が非常な勢ひで盛んになり籠球ファンが續生した。あらゆるスポーツが全く盛になつた。それらの氣運が三十二年度のモダン現象に鮮明なる投影をするのではないかと豫測される。

映畫が撮影したモダン現象の諸相より、スポーツが與へる影響が三二年度にはより著しくなるのではないか。映畫ものの影響は漸くマンネリズムに陷つて來た形がある。三一年の東京府職業紹介所で取扱つた五千七百七十九名の若き女性に就いて府の社會課で調べた所によると、彼女等は水泳その他スポーツに趣味をもつものが映畫や演劇に興味を持つものよりも遙に多かつたと云ふのは、上述した職業が有力に物語つてゐるものであらねばならぬ。スポーツは頽俗性を掃ふ。そして明快と潑剌とに赴かせる。戶外的にし、向日性にする。それは服裝の上にも現はれるか、三二年には今年よりも一層ハッキリと**特に女性の日常の洋服の上に**取容れられると思ふ。映畫は觀衆を通じての影響的受容だが、スポーツは觀ることの興味もない譯ではないが、より多く、行動にまで押し進らせられる。尤も映畫の影響も行動化させられないでもない。例へば、映畫「モロッコ」でディトリッヒ役の女に愛人の兵士が「自分は氣を變へた」と云つたトオキーの臺詞をその儘、新宿驛の出札掛に靑年らしい男がその愛人宛に「アイ、チェーンヂト、マイ、マインド」と書いてあるのを、筆者は見たこともある。ラヴ、シーンに、ランデブウに、性愛技巧に氣取つた、だが、淨潔なスタイルの上に延用されることもあらうが、何れにしてもスポーツのもつ影響と映畫のもつそれとはかなり相違する。尤もエロチックな物の見方に重心を置けば、籠球のもつ肉體相剋つ全體的な壯烈で男性的なところが性的魅力を釀し、それをサアディズムと結びつけて解釋する方法もあらうし、スポーツ選手のもつモダン英雄的な地位と輝かしい名聲が憧憬とロマンチクな情緒とに殺到り易い若い女性にサインを通じてエロチックに接觸する見方もあらうけれど、私はそんな末梢的な考察は加へたがらないのである。ただ婦人の體操熱から、婦人の築頭が多少とも流行しはしないかとも思ふ。

ラヂオ體操を全國的にする計畫が放送局にはある。それが三二年度の社會に起るところのモダン現象に何の作用もあらうとは思はれないが、三一年度に漸く前進して來た向日性が三二年度にドイツ、フランスなぞにかなり盛んになりかけてゐる裸體體操にまで進むかどうか、さうしたことの叫びが上がるかどうかと云ふに、我國では許しもしなからうが（好奇的娟情を唆るので）さうしたことの叫びを上げる人も先づあるまいと思はれる。ヨーロッパでは裸體體操論流行を目して樂園の復活であるとするものもある。その意味は樂園ではアダムとイーヴとは全裸形であつた。蛇の誘ひで禁斷の果實を食つたことに端緒して裸形が漸次に蔽はれて行つたのだが、今、全裸體になつて紫外線を思ふままに浴びるところの試みは裸體の復活にある樂園への復歸であると見る譯である。サナトリウムに於て男女相混しての全裸體の日光浴が我國に行はれてゐるかどうかをわたしは知らないが、醫療者が保健と美とのためになされる**全裸體操は裸體畫ですらに**今尚理解を持たなさ過ぎる當局を有するわが國に於いてはまだ三二年のモダン現象とはならないであらう。けれどもスポーツのもつ向日性は尚一層揚げられることに間違ひはないであらう。

モダン風物がスタアトを切り出したころは、よしそれがどんなに雅趣であれ、たしかに新しい香ばしさがあつた。しかしそれが一般化され、通俗化されるに及んでは日常生活の俗色にまで溶け込んでしまつた。例へば、初期のショウト・スカアトと斷髪とは一般からは異態であらうが、しかし、新しい香りだけはあつた。だが、それが多くのものによつて目にならされると、モダンの現象としてはもう數へ上げられないのである。モダン風物は移行する。朝顏の花のやうに、その開花を誇る時間は短くて移ろい易い。映畫女優のスター的期間が短かく、しかも替はる毎に年度型のものが、出現し或は出現させられるのが、一つのモダン風物移行の象徵のやうにも思はれる。

三一年に於いて、エロだの、グロだの、獵奇的、猥褻的なものが社會の興味であつた如くに思惟されてゐた。しかし、わたしはさうした風俗に近代性を結びつけることは出來なかつた。何故ならば、モダンの特質は透明性にあつて上揭の如き混濁性乃至陰翳性にはあるべきでないと思つてゐたからである。モダン現象はクリーン、カッチングにあり、直截的モンタアヂュにある。その特質はどこまでも簡潔と不透明乃至半透明性の捨棄とにある。

ところで、三二年型としてのモダン現象を考へるときにわれわれは一面社會情勢との連繫を無視する譯には往かない。三一年度の經濟不況は三二年度にそのまま續く。その經濟情勢と三二年度のモダン形象とは當然に綜合する。例へば服裝に就いてこれを云へば、そこには有閑的餘裕が考察するモダン色ではなくして、經濟的窮乏が適切にクリーン、カットする簡潔美に說かう。モダニチーのもつ簡潔の一つにソフイスケーションがある。その意は安ものを效果的に役立てゐることだと解釋すれば當つてゐるかも知れない。何も誤魔化す辭ではない。それは惡い意味で、モダニズムの上からする解釋に卽くとすれば、上述したやうに意味を取るのがいいので、一言の下に要約すると簡素美であり、簡潔調である。カウレスの上著が流行するとすれば、それは一つの例である。無用の裝飾と、生活の曲線形乃至渦潮形の廢棄である。ポオル、モオランが「現代が新鮮で直截の時代で（現代は）ある」と云つた。その通りである。彼はさらにさうした時代であるが故に**裸體主義の崇拜が齎らされ**、裸體體操が行はれるのだ、と唱へるのだ。裸體主義にまで押し進めなくも、服裝上のソフイスケーションが經濟生活の窮乏とモダニズムとの合流の上に開拓される風潮が三二年のモダン現象を鮮明に特色付けると豫想すべきである。

有閑有產的餘裕のみか或はその餘裕のみかモダン形象のトップを切り出すと考へるのは非常な謬想であつて、三二年型のモダン現象は却つて生活の窮乏から必然に生み出す新しい形色であるかも知れない。いや、わたしはむしろその方がリードしやしないかと確信してゐる位である。

曾てのドイツの生活的窮乏は表現派の運動を生んで其國は元より一切の藝術をリードしたことがある。

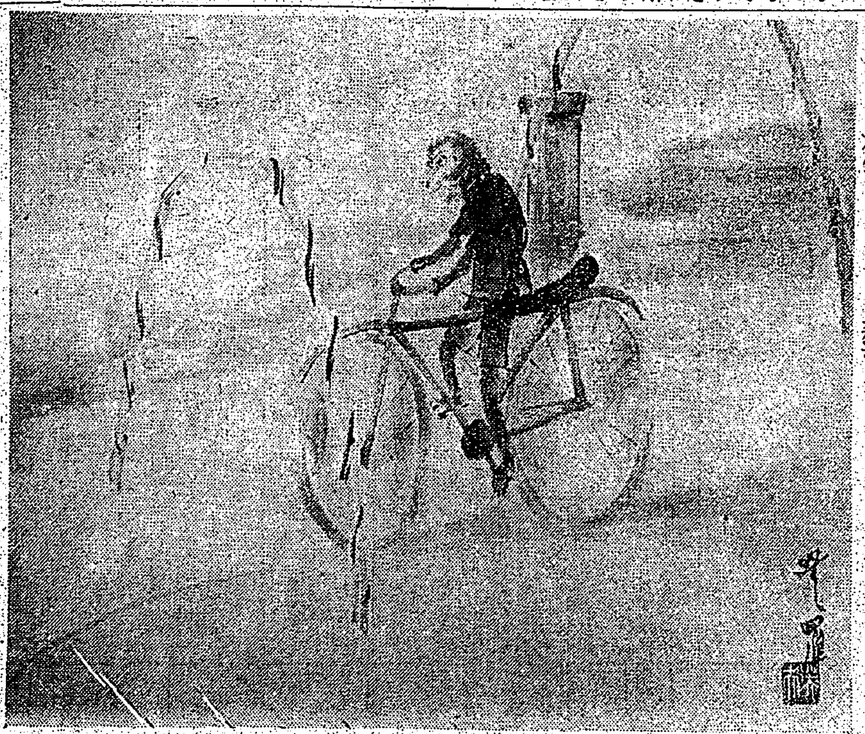
銀座の步道を行くに、仕立て降しの新しい服裝と百貨店の商業主義的方策になつた女性の服裝とが相剋、混濁の窮乏から簡潔された服飾り（この場合、飾りの文字は當らぬ）にいたく考慮して避けねばならない時期にならぬとも限らないであらうことを臆斷が出來さうにも思ふのである。よし、それがどんなに簡素で、單純であつても、清潔でありわたしの所謂向日的傾向をもつてゐるならば、あきらかにモダン的風物であつて、しかもさうした傾向が三二年型として、形の上にも精神の上にも、現はれてゆくのではないか。

思ふに、三二年型のモダン現象はマンネリズムに陷し、通俗に溶解し去つた三一年型のモダン風を投棄して發展すべきである。そしてそれは一言に盡せば向日性と直線性とに歸着するのである。それは輕快なる調步をもつて、トップを切る。潑水を掠つて清流にジャンプする。

バアに泥醉して、低卑なエロにだらしのない、しかも安つぽい逸樂的頽癈をするが如きをモダン人の生活ででもあるかのやうに誤想するモダン感覺の喪失者を侮蔑する。

エロ、グロ、獵奇、さう云つた一聯の變態的、病的新傾向を一蹴して、さわやかにして明るい風と共に、前進すべき三十二年型のモダン形相があるべき筈である。

モダニズムにたいする餘裕的曲解が橫溢してモダン現象に灰白色の混濁を塗りつぶしてゐた。三十二年型はその塗を清掃してから始められるであらう。自然さと向日性（向日性は自然性の一つの性だが）とが快よく織り出す快晴色に、三十二年型のモダン現象があるでもあらうし、また、あらまほしくも思ひたいのである。



◇……猿の曲藝……村上武雄氏筆

漫談　猿
大辻司郎

今年はいよいよ猿年である。これはかりは不景氣だらうが、氣候が惡からうが、支那とモッチヤカモッチヤカ始まらうが、羊の後に猿が來るだけ確かなんだから實に心強くもある。所で猿にちなんだ漫談を述べて見る。

猿は物眞似がうまい。人間に毛が三本足りないと年寄りから聞いたことがある。其の後忙しいんで未だ毛の方は調べてゐないが、人生僅か五十年と云ひますが、猿生僅か十四年と統計の上ではなつてゐます。但し男女三歳位にして結婚が出來ると云ふ速やさであつて五、六歳になると、もうお互ひに再婚の見込がつかなくなつて、十歳になるともう長命期に入つて甚だ此の調子で長い浮き世を渡るべく計算してゐる譯で。

猿はさると云つて緣談の方ではかなりいやがられてゐる。だから羊の歳の暮になると來年の嫁入を早くまとめて大勢の結婚を上げてしまふ。切角**お嫁**にやつて去られてはならないと云ふ猿猿をさらふ譯である。で、羊の歳の結婚率は殆ど二ヶ年分にわたる位いい譯です。漫談家に解釋させれば猿をさると云つちやいけないと思ふ人も立たうが、さう云はないで猿をエン猿と呼んで貰ひたい。「猿はいなもの猿の娘」と云はれる樣にしてやりたいものである。正月になると猿廻しが來ます。一町內も先方から太鼓をたたいて今から現はれるから細かいお金を懇して待つて居ね。一ご投げ錢を與ないなら、なまちつかやらせないで、始めっから斷つてくれと云ふお願いである。これは餘り風彩の立派な紳士は少い。何だか外に仕事がありさうな、內職かてらにいやいややつてゐる樣な失禮で、東京市、本所邊の方から[illegible]んでやつて來る。ここに猿廻さんと云ふ立派な親方がゐて、そこに六十人程の出店下受人がある譯です。此の人達がシーズンには日本全國津々浦々に隔けて廻る譯ですが、何處で見ても田舍の一般家の店先に猿廻しが來ると云ふポーズはいい物です。コンクリートの西洋館の前では餘り思はしくないと云つてゐます。

本當のいい猿は內地產で日光、木曾が本場ですが、とてもお値段が張つて百圓以下ぢやない、とても手が出ませんさうですよ、なけりやならない**道具**ですから外國から取寄せます。シンガポール、南洋、アフリカ、あたりから尾長、赤毛が、十五、六圓で買へます。一年に四千匹から輸入されるさうです。から、猿廻しさんが之を全部買取る譯では無論ないです。その半分は全國のデパートメントの屋根の上で可愛い坊ちやんへのお相手をしたり、氣の毒な失業者諸君に見て貰つたり、慰めたりする重要な仕事をしてゐる譯です。デパートメントのあの金網の中の猿の生活も一寸面白いです。最初十匹、見ず知らずの連中が放り込まれます。之を追込みと云ひます。入つた始めの三日間は彼等は命懸けで勢力爭ひをします。一番優れて腕力のある者が、酋長になり首名の格になる譯です。酋長は勿論ですが、檻の中にゐる女性は悉くこの酋長の意に從ふ譯です。若一匹家庭で飼はれたとしますと、その家庭の**主人**の顏を一番早く覺えます。面白いことには、どんな小僧さん、書生さんが可愛がつても、お前は奉公人ぢやないかつて云ふ顏をして、てんで相手にしませんところが一寸猿らしくていいです。

猿芝居の話。良く山崎街道の與市兵衛の殺しがあります。この役者とても大抵は舶來猿で今は異國の土地で芝居をしてゐる一寸哀れな藝術家ばかりです。お爺さんのしやがれ聲に合して花道から與市兵衛が出て來ます。二、三回欠伸をしながら本舞臺にかかつてから、だ位大きい財布を取出して金の勘定を始めます。與市兵衛は絕えずお客の方ばかり見て氣のない勘定です。例の通り定九郎の前でいただく筈の財布を蹴飛ばして見てゐます。大きなツチと鉦と太鼓と一緒にドンと入りますと定九郎氏は與市兵衛の首に手をかけてゐますよ。その金貸せと云ふ所で、彼れおこると思ひきや定九郎は本盗の前にころがつてゐる**蜜柑**の皮を拾つて食べます。時によつては與市兵衛の方が強くなつて定九郎がひつかかれて逃げるのもあります。之等は可成り大人が見てもおかしい自然の喜劇であります。

演劇に現はれた猿には有名な劇は靱猿、猿廻し等は一寸猿が立派なものの一つ、猿田彥命、岩見重太郎の猿退治、子供の喜ぶ猿飛佐助、木下藤吉郎の猿面冠者、市川猿之助がやつた盲人と云ふ猿舞踊、子供の時代にうたつた唄には一高のデカンショ節で「丹波篠山、山家の猿が、花のお江戶で芝居をなさる、ヨイヨイデカンショ」——之は猿芝居の話でなくて丹波で選ばれた代議士が東京の議會で演說をしたといふ褒め言葉だつたさうです。まあ、この位で猿の漫談はさることにしませう。それを云つちやいけないんだ。猿のエン（猿）談は此の位でエン（緣）切しようと云ふのさ（完）

新しい生活感情
前田夕暮

私のすべてを清掃して、朗かな新しい日の光りを浴びしやう
昨日に別れて、新しい日の光を裸身に浴びる此の氣持を高らかに歌はう
新しく肌に朗かに響應するもの、ぴちぴちとした生活感情を感じさせるもの
自分の身體のなかにわめくもの、新しい欲情を感じさせるもの！
自分の影を新しく描き出してくれる日の光が新年といふ觀念をはつきりさせる

△職業婦人△
ウルトラ物語
身賣りと間違ひ　人事係もギャフン
戀の架橋嬢合々嬢は三二年型
花垣三郎

セールス、マネキン、エア、マリン、ポスト、パラシュート……から、片假名ばかり並べて見ても一向標題のやうな「ウルトラ」と云ふ感じは出ない。昨日のモダンは、今日のすでにクラシックだ。

婦人職業戰線の擴大強化ぶりは、それほど激しくめざましいのだ。然らば既に一九三二年式のウルトラ婦人職業とは？そして彼女等の意氣は、抱負は、生活は？

1　戀の架橋

ラヴ、ブリッヂ——古風に云ふと戀の架け橋だ。何と、シックな職業ぢやないか。

昔の媒入婆でさへ、とかく戀がつき易かつた。況や現代の良家の子女、如何にその家庭教育が嚴格を極めるとも時代の風は防ぎきれるものぢやない。「私この頃戀愛なのよ」なんて囁を聞くと、良家の令嬢方でも「本當にさうだわ」と、あの平民的なメロディの戀方を首肯し給ふのである。そこで——近頃は戀のテムポも特別に速い。

先づここに、ある靑年と美しき令嬢の戀が成立したと思ひ給へ。さて困るのはラヴレターの交換と、ランデヴーの約束をする電話だ。何故なら、一寸怪しげな手紙が來ると、令嬢、姫の如き家令氏によつて無殘や開封されてしまふし、男の聲で電話でもかけやうものなら「お嬢樣を直接お出しすることは出來ませぬ。御用なら承はりませう」と來るにきまつてゐる。

「その點おや僕も苦勞したよ、お[illegible]の聲だつて今ぢや下手な女形ハダシだよ」

と、得意さうに僕のある友人は云つた。ああ哀れなる友よ。せめて二三年遲く君を生れさせたかつた。憚りながら、今ではそんなつまらん苦勞をする必要は毫もないんだ。

たとへば、ラヴレターを送りたいが、男の文字では具合が惡いといふ場合、彼氏は、このラヴ・ブリッヂ嬢の事務所を訪れる。そこには十數人のインテリ婦人が事務机を並べてゐて。口述筆記、原稿複寫、お望み次第だ。水茎の跡は勿論鮮かなもの。更に文案を一任すれば、甘美ナンセンス、效果百パーセントの奴を丁寧に書いてくれる。料金は長短に應じること勿論だが、マア一枚五十錢なら[illegible]

だが、この「代書部」の方は次第に衰微の傾向がある。ラヴレターなんて、そんなもどかしいものは、此の節のスピード・ラヴにはふさはしくないからだらう。そこへ行くと「呼出部」の方はダンゼン、素晴らしい繁昌で前途有望だ。

「あ、モシモシ、高輪の×××番日の丸小路伯爵樣のお邸でございますか。笑子さまいらつしやいますか？はア、私あの、級友の十六夜長子で御座います」

てな調子で、巧みに潔癖の令嬢を呼出すと、ニヤリともせず、彼女は極めて事務的に受話器を渡してくれる。これで一回の呼出料五十錢也は安い。中には困つた奴があつて。

「おい、撮川公爵の令嬢は惡戀で見たがトテシヤンだぜ、彼女の聲をきいて見やうか」

なんてんて、戀人でもないのに怪しからん野察を抱き、ラヴ・ブリッチの「呼出部」を惡用する手合も少くないので、經營者はこれが對策を目下攻究中である。

——と、まア。こんな商賣も今に始まるだらうといふ話なのである。

2　合々ガール

「合々傘」なんてのはどうだらう。これは、省線、私線、目ぼしい驛なら何處にも置く。そして、乘降客へのサービスは無類の如何を問はず何でも承はる。

客流り、學生、サラリーマンが一番惱むのは驟雨だ。借りた傘では濡れてから返すのが面倒だし、タキシーは殺風景で不經濟極まる。で、「合々傘」の出張所へ右手をあげてサインする。オーケーとばかり、彼女は直ちに、特製の大傘とレインコート、和服の客なら、ちやんと足駄も持つて來る。そして、近松式の情緒にコテイの香りを漂はしながら合々傘で自宅へ送つてくれる。代金は遠近によること云ふまでもないが、好んで遠廻りをする客もあるし、雨が降るとわざと傘を持たないで來る常連も出來て、これがなかなか繁昌する。

天氣のいい日でも仕事はある。郊外散步のお相手は勿論、初めての家を訪ふ人には道案內を承る。子供連れなら抱つこもしてやるし、少しばかりの荷物なら「私、お持ち致しますわ」といふ調子。ステツキガールなんて、あんな非實用的なものは、もう前世紀の遺物であらねばならぬ。實用を伴ふ情緒。何と、ウルトラの名に恥ぢぬ婦人の新職業ではあるまいか。

——が、これも一九三二年を迎へた今年あたり、實現するかも知れない、と僕は思ふのだ。

「何だい、君の話は空想ばかりぢやないか」

との抗議では恐れ入る。よろしい、然らば、以下現實に卽した話をしやう。

3　娘を賣る

ショップ・ガールは、昔から云つても最も多數の職業である。そして歷史も古い。しかし古いからウルトラでないと誰か云へやう。

三越の最古參の女店員に新谷はるさん（假名）といふオールド・ミスがゐる。この人の話によると越後屋を三越に改めた當時の大番頭日比翁助氏が、何でも明治三十四年頃、洋行から歸つての話に、「外國の店員には女の店員が居つてるがなかなか愛嬌があつて感じがいい。日本でもやつて見やうぢやないか」といふので、時の共立女子職業學校長鳩山春子女史に相談し、同校の卒業生三人を選拔して採用した。その一人が前記の新谷オールド嬢なのであつて、彼女等こそショップ・ガールの草分であらう。

その頃の三越に「女の小店員」が出來たといふので、たいへん評判、どんな恰好をしてゐるかと、わざわざ見物に出かけて來た醉漢者が

「何だ、女の小僧だといふから、[illegible]さんのやうに髪を刈つて前だれでもかけてゐるかと思つたら、普通の女ぢやねえか」

と、つまらなさうに云つたといふ珍談もある。

三越に次で今の銀座松屋が百貨店となつたときは、幾度も幾度も新聞廣告をして、やつと十人の女店員を集めたといふが、先月、日比谷の美松が開店するときは、たつた一回の廣告で、一萬何千人といふ娘子軍がワンサと押しかけて係員の目玉をでんぐり返らせ、交通巡査は整理に出動する。新聞社は夕刊のトップ記事と寫眞でこの光景を報道する、といふ騒ぎを演出したものだ。まことに變れば變る世の中である。

ところで、松屋が募つた十人の女店員の中で頗る振つたのがあつた。父親が附添ひでやつて來て

「御覽の通りの娘で御座いますが、お金は何程戴けませうか」

「どの位のお望みです」

娘爺手をもんで

「エヘヘヘ」親の口から申すのも何ですが、この娘は近所でも少しは評判がいいとか何とか云はれてゐましたんで……どうでせう。三百圓。」

「エッ！三百？」

人事係氏ギャフンと面喰つたものだが、娘爺の方では頗る眞劍。娘を身賣りに來たつもりだつたのである。

二三年前の事だつたが、××百貨店の何番賣場の何番のマークを付けてゐる女と云へば、すぐその女を呼んで來るといふ待合が諸町あたりにあるとか、いやそれは待合ではなく、素人屋であるとか、また××屋の女店員は隣町の喫茶店で待合せて砂風呂へ出かける。だからその喫茶店の二階の押入を開けて見ると彼女等の著替を包んだ風呂敷包が一ぱい這入つてゐるとか、そんな噂が盛しやかに飛ばされたものである。まさかとは思ふが、或ひは、とも思はれないでもない。何故なら、彼女等の收入は月三十圓內外に過ぎないのに、多數のショップ・ガールの中には隨分派手な身裝をしてゐる者が尠くないではないか。

してみると、娘を賣るつもりで松屋へつれて來た親爺を嗤笑することは出來ないことになる。

4　A子とB子

A子は、百貨店××の貴金屬係嬢に勤めてゐた。朝の掃除に陳列ケースのガラスを無心に拭いてゐた。彼女がガラスに息を吹きかける爲め、スーッと深く呼吸して、口を開いたその瞬間——おお、偶然といふ奴は何といふ惡戲者だ——一階から、陳列臺の指輪を置き替へやうとして姿をかがめたスマートな男店員の顏と、パクタリぶつかつてしまつた。その拍子で、二人は——若いんだもの——いきなり接吻してしまつたのである。すると、惡しいことに、意地の惡い同僚の幾人かの眼がそこにあつた。男女の店員同士は戀すべからず、といふお店の掟もあつた。その日目が暮れないうちに、クビになつたA子は、間もなくカフエの女給になり、それから本牧のホテルの女にと墜ちて行つた……。

B子は、かつて××グラフの美人投票に一等當選した××屋の看板娘だつた。同僚や、噂を聞いてわざわざ見に來る客から、彼女は華やかにもてはやされ、女王の如く威嚴ある微笑をもつて、彼女はそれらの人々に臨んだ。

しかし、勝れて美しいといふことは、その身にとつて果して、幸福だらうか。彼女は今、その全身をもつて、否！と強く答へる。

B子は重役某氏が金と權勢に飽かしての誘惑に叩き落されて、子を生まされてしまつたのである。それだけなら、日陰に咲いても花は花だ。まだよかつたのだが彼女の愚かなる父親がこれを知ると重役氏に迫つて手切金何千圓也かを出させ、その金を持つて飛ばしてしまつたのである。

彼女はいま、銀座裏のカフエー××で、月賦の洋服を抱いては

「抱いて寢かせて頂戴よ……」

と、唄つてゐる。

5　死なせてもいいか

ショップ・ガールの話に身が入り過ぎた。C子、D子、E子……、際限がないから筆を收めやう。

電話交換嬢……局の交換嬢は敢てそれ程でもないが、銀行會社に勤める彼女達は、レシーバーを通して思ひかけぬ春をささやく場合がある。

會話——

「ええ……素敵だわね……こんないいお天氣に散步したら……この次の日曜……ええ、いいわ……九時、妾困るわ、十一時頃にして下さらない——ぢや十一時に××驛の待合室ね。きつとよ——あつ困るわ。妾あなたのお顏まだ知らないんですもの——淡い茶色の洋服に鼠色のオーバーね、——ヒゲはないの、オホ……ロイドの眼鏡？お洒落ね——妾はね、紫紺の銘仙に銀杏の葉の模樣の羽織よ。羽織は金紗よ。——左手に黑と赤の太い縞のハンドバッグを持つてね、右手には……さうさうローズ色のパラソル持つてるわ。——あなた背の高い方？さうを。私はね、少し肥つてる方よ。アラいやだ、そんなデブさんぢやないわよ」

さて、新宿驛の午前十一時。耳と口とで成立したこの戀人同志、初會見の場面こそ見ものであるが、惜しいかな僕は其處まで立會はなかつた。

局の電話はA線（一般加入者）B線（中繼）公衆線、案內係の四種類であるが、何と云つても話の面白いのは公衆線だ。深夜の勤務に當るとつれづれなるままの眠氣ざましに彼女は通話狀況調査のためのキーをこつそり下す。

ある夜S嬢が、何心なくこのキーを下した瞬間、容易ならぬ會話が飛込んで來た。

「大丈夫、藥は手に這入つたよ。カルモチンとベロナール」

「さう、よかつたわ。ねでも妾何だか恐いやうな氣がするわ」

「困るなア、君の方から先に云ひ出しておいて、今更そんな……しかし、この藥ならちつとも苦しかないよ。文士の芥川龍之介が飲つたのと同じ藥だからね」

「まア、さうなの、それならいいわね」

「ぢや待つてるよ、例の處——」

「ええ、すぐ行くわ」

聽いてゐるうちに、彼女はガタガタふるへて來た。

「どうしやう。すぐ監督さんに知らせて、何とかして貰はうかしら……」

しかし、他人の通話を聽くことは斷じてならぬ。萬一これを聽き口外した場合は罰せられる——との鐵則によつて縛られてゐる交換手だ。彼女の小さい胸は迷ひに迷つた。

「どうしやう、あの人達は死んでしまふ。……けれども、私の過失ではないわ。私は交換手としての義務だけを守ればいいんだわ。でも、でも、二人をこのまま死なせて、それでいいのか……」

初雛
高濱虛子

○
初雛の神に仕へて老ひにけり
○
初雛や父物皆の旅絕えたる
○
神前の一もと柑子今盛り
○
讀聲の聞こゆる宿の歌かるた
○
開く度繪馬踊る裏の木戶

コンロ、電氣器具
金物一切、レッド
臺南市錦町二丁目
新衣笠商會
電話九二七番　振替三八四八番
支店　高雄市新濱町一ノ三七

臺南市清水町二丁目一四一番地
河內萬次郎
電話二三番

臺南市清水町
金庫修繕
金物製作
丹後節司
電話八七三番

臺南市末廣町一丁目
化學工業藥品商
パンヤ綿
今中愛世堂
電話一八二番

臺南市錦町三丁目
寫眞材料商
木原愛善堂
電話四五五番

臺南市港町一丁目
天幕各種、貨車雨覆
ズック製寢具類
行李ズック製作販賣
森川シート屋
電話八〇九番

文具商
臺南市白金町二丁目
いろは堂
電話四七四番

施公セル
臺南市本町
綿布商
高順
電話六四三番

臺南市本町二丁目二番地
株式公債
期米賣買
問屋億泰商行
代表者　李定方
電話四九二番
電略オクタイ又ハオク

活版石版、名刺並
各帳簿印刷
臺南市米町一ノ九一
合新盛文堂

海陸產物、燐寸卸商
臺南市港町一丁目六番地
永茂商行
電話長三五七番

臺南市本町二丁目
臺南洋家具商會
株式問屋　**福源株式店**
電話二二六、七八四

臺南總商會
會長　蔡培庭
副會長　邱天賜
同　高順
外役員一同

臺南市白金町二ノ五一
西陶器店
電話六六九番

臺南市本町二丁目
西提灯店

臺南市本町三丁目
西履物店
電話三三三番

臺南市錦町二丁目（本局前）
八木齒科醫院
八木庫一
電話一〇七番

臺南市花園町一丁目（本町通）
口腔、外科齒科一般
江頭齒科醫院
電話八七五番

臺南市本町三丁目
時計、眼鏡
蓄音器レコード
貸金庫
山內時計店
電話三〇六番

臺南市本町三丁目
硝子器
陶器商
加藤兄弟商會
電話九七三番

臺南市錦町三丁目
時計、眼鏡
貴金屬商
今富時計店
（修繕正確迅速）

臺南市本町二丁目
山城宇治銘茶
三文河茶
茶器一式
島田清涼園
電話三三五番
高雄山下町
島田清涼園支店
敎育玩具
臺南市白金町二丁目
電話一二〇五番
島田玩具店

臺南市高砂町一ノ一二三
和洋裁縫用品
洋服型紙販賣元
帽子製造工場臺南東門町四ノ二〇
金義合商店

臺南市本町二丁目
金義興商行
王汝禎
電話二七二番

臺南市港町一ノ一
臺南三郊組合
代表者　謝群我
組合員一同

臺南市本町
和洋雜貨
金同成商店
電話五五八番
金同成出張所

臺南市白金町一ノ六
新合成米店
電話五五六番

臺灣人形物產品、內地みやげ品
竹細工製品、蘇州刺繍品
水牛角細工品、牛皮加工品
サンゴ加工品
臺南市白金町二丁目
建鳳物產商店
店主　張建智

醫療藥品、高級賣藥
臺南州指定衛生器
擴大藥各仁壽本舖
臺南市本町三
高島愛生堂
電話九一五番

林藥局
藥劑師　**林虎三**
臺南市錦町二丁目角
電話七七三番

臺南市大宮町一丁目
印判彫刻
柚木文章堂
電話九四七番

佛壇、佛具、金庫販賣
臺南市白金町三丁目
若山金庫店

臺南市大宮町
田尻履物店
電話四五八番

玉印山吹酢釀造元
臺南市港町一丁目
井上造酢店
店主　井上音次郎
電話長三一四番

臺南州呼賣業人
臺南市北門町三丁目三八
煙草、酒類
飲食物商
永野商店
電話九五一番

臺南州新化街
御旅館
御料理
末廣

臺南市大宮町二丁目
サイダーラムネ
特約牛乳店
雜貨煙草小賣
新建興商店
柯批
電話七三三番

臺南市本町三丁目
御印刷　雜誌　書籍　文房具
株式會社　**崇文堂書店**
電話一三三番
振替臺北三三四八番

公債株式現物賣買問屋
臺南市本町四丁目八四
大源株式店
電話長四七二番
電略〇タ又ハ（タ）

臺南市白金町二丁目
順發號
邱老方

材木商
臺南市西門町二ノ四四
永源發商行
吳敬額
電話五八八・八六五番

太平生命保險代理店
米穀什貨卸小賣商
淺野セメント販賣店
材木其他建築材料一切取扱
永合成行商
精米部　本店臺南市白金町一ノ六　電話五五六番
材木部　支店臺南市西門町二ノ一三　電話八二七番

各博覽會金牌受領
木瓜糕、鳳梨糕
新港飴、李仔糖
臺南珍商店
臺南市錦町二丁目
彰化分行

臺南市錦町三丁目
米穀商
森岡商店
電話六八番

臺南市本町三丁目
和洋雜貨
運動具
陸軍用達
三福商店
電話六九番

臺南市錦町一丁目
理化學器械
學校用品
樂器印刷
運動具類
竹中商店
電話一三七番
振替臺灣二〇八番

臺南市錦町三丁目
銘茶御小賣
燒芋製造販賣
味木小七

食料雜貨
魚釣道具商
芭蕉商店
臺南市錦町二丁目郵便本局前

臺南市東門町
彌陀寺內
臺灣精神社
電話一〇八七番

材木商
臺南市西門町一（大舞臺前）
永森記商行
電話五〇四番

臺南市末廣町二丁目
鴻文活版舍
電話七八五番

卸小賣
電氣器械、電氣器具
龍泉電氣部
許滙樵
臺南市本町四ノ一七六
振替口座三八六八番

臺南市郵便本局前
松金料理部
電話二二番

臺南市本町三丁目
松金旅館
電話一四二番

中國影片常設
戎館
（全南影片公司）
電話一二二番

臺南市新町一丁目九八
臺南氷業共同計算所
電話一九一番

臺南驛
臺灣運輸業組合員一同

賀正
臺南米穀商聯合會會員一同

內地材、各國材
米材、北海材
阿里山材、家具材
臺南市港町二丁目
合口井材木店
電話六二五番

保險の御撰擇には五分配當の
帝國生命を御推獎申上ます
臺南代理店主管　**嘉內菊太郎**
臺南市白金町　電話二一番
●火の用心には東京火災、日本海上保險を御撰擇

第五十區煙草賣捌人
黃欣
電話七三一番

第四十九區
煙草賣捌人
臺南市港町二丁目
陳鴻鳴
電話五八五番

臺南市
養元堂藥房
三輪良
電話四三番

臺南市本町三丁目
澤田洋服店
電話一七九番

臺南市花園町二丁目
醬油、清酒
釀造販賣
合名會社　**丸三商會本店**
朝鮮名產　松の實ミルク發賣
電話三六番

時計
眼鏡
蓄音器商
臺南市白金町二丁目
加藤德治郎
電話八〇二番

電動機、變壓器
配電盤、避雷針
電信、電話器具
材料販賣
電氣工事設計監督請負
市島電氣製作所特約店
合資會社　**トモエ商會**
臺南市白金町二丁目
電話五〇九番
電信略號ト又ハ（トモ）

漆器
家具
荒物商
臺南市本町四丁目（電話三九八番）
五端第二支店
主任　山本謙太郎

和文活版
洋式帳簿
印刷用紙
印刷部
臺南市港町一丁目
五端第三支店
電話長三七八番・振替一七九
臺南市港町一丁目一七九番地

臺南市錦町二丁目
三勇自轉車商會
電話三八三番

印章彫刻
漁具販賣
臺南市錦町二丁目
藤井日本堂
電話四六二番

口腔外科
齒科一般
臺南市大宮町二丁目（電七二七番）
榮安醫院
日本齒科醫學士　鄭連祿

日用雜貨商
臺南市錦町二ノ一〇三
遠藤福太郎商店
電話二四五番

臺南市明治町三
川中鐵工場
電話二六一番

臺灣弘仁株式會社
臺南市白金町四丁目
電話四〇一番
高雄出張所　嘉義出張所　臺北出張所　臺東出張所
六三四番　九〇〇番　九六三番

臺南市
臺灣織布株式會社
電話四三一番・七四〇番

臺南市明治町三ノ三六
臺灣輕鐵株式會社
取締役社長　辛西淮
電話三九一番

臺南魚市喜鱗組合

砂糖
肥料
臺南市大正町二丁目七拾五番地
株式會社　**安部幸商店臺南支店**
高雄市新濱町一丁目廿七番地
高雄出張所
電話五五六番

臺南市本町三丁目九八番地
八幡商店　洋服部　羅紗部
電話三五七番
振替一二五二番
支店明石町二丁目一番地
電話二九一八番

臺南市大宮町
和洋紙類
文房具類
頌安開進堂
電話四三一番
活版石版
材料一式
同　印刷部

式レール臺灣一手販賣店
市島式レール、ペーパル南部特約店
臺南市本町二丁目
三共金物店
電話一〇九

臺南市大宮町三丁目
ペンキ塗裝
看板製作
中谷看板店
電話七二三番

臺南市錦町二丁目八九
紅葉軒
鳥居萬之助

臺南市大宮町一丁目
正直屋履物店
電話三三四番

臺南市白金町
山本蓄音器店
電話八一〇番
振替二一六二番

臺南市錦町三丁目
吳服太物
比佐古屋
電話一五九番

臺南市本町三丁目
福井治雄臺南支店
電話九三六番

臺南市本町三丁目
田中吳服店
電話四五番

臺南市大宮町二丁目
和洋雜貨
印刷卸問屋
阿波屋商行
電話二六三番
同市同町
足袋商　**阿波屋製造部**

臺南市錦町一丁目（本局前）
田中寫眞館
電話九八一番

臺南市錦町
村上初太郎商店
電話一九八番

臺南市錦町二丁目
洗濯
京屋
電話八〇番

各官衙學校會社御用達
和洋御菓子
新杵支店梅園
臺南市白金町三丁目
電話二四三番

臺南市錦町一丁目
臺南製造
指物一式
榊商店

丸割籐、籐袋
山海產、麻線
寒水石、石粉
銀杏草、雜席
臺南市港町一丁目六三
蓼記行
電話六八七番
電略（ガク）又ハ（ガ）

書籍雜誌
文房具類商
敎育掛圖
臺南市本町
浩然堂書店
電話五五二番
振替二三二九番

材木
板類
鹽
セメント
臺南市港町
紀佐々木商店
佐々木高雄支店
佐々木嘉義出張所
[illegible]

銅鐵工具及
自動車販賣
合名會社　**山田商店**
本店　臺南市大宮町二丁目
出張所　高雄市新濱町一丁目

臺灣南部無盡株式會社
專務取締役　**栗山新造**

歐米雜貨
貴金屬類
書籍文具
運動用具
臺南市白金町
小出商行
電話一二三番　二八四番
振替口座一一六七番

臺南驛前
臺南タクシー株式會社
電話三〇〇番　七五一番

初賣
◎四、五、六、七、八　五日間
正札より三割引
臺南市本町四丁目
日吉屋吳服店
電話一九三番

臺南市錦町一丁目
印刷
紙器
水木本店
電話五四五番

臺南市大正町二丁目
御料理
鶯遷閣
電話五二番

謹賀新年
酒類賣捌人組合臺南支部

謹賀新年
煙草賣捌人組合臺南支部

映畫常設
臺南世界館
吾等の一團
（電一四六）

書籍洋紙
諸帳簿類
卸小賣
瀨竹居商店
臺南市本町三丁目

断然―若返つた
臺南市の躍進ぶり
舊都のヴエールをかなぐり捨て
飜然―更生の途へ

臺南といへば安平の眼に餘る衰退にひきつゞいて山砲隊の引揚げやら高商の廢止やら或は三井の高雄引揚等々と舊都のうら寂しい頽廢ぶりに氣を腐らし何とか持ち耐へる術もないものか！と市民に嗟嘆せしめたこともつい此の前、骨董的低徊趣味にのみ舊都の興味なり價値なりを觀てゐたかのやうなまことに臺南のため開かれてゐる道はただ感傷の彼方にのみと嘆ぜられたものが果然活が入れられた、俄然總督府にその人在りと知られた利け者菱村彦十郎氏が市尹に轉補赴任を機としてそのきび〳〵した政策と共に市は更生期に入つた

昨年の四月頃だつたか、地方官の大異動で知事とか部長の動きは兎も角第五代菱村彦十郎市尹を迎へて臺南市の古典趣味の上に特殊なカバーが掛けられ所謂新興機運と云ふ彩り添へが

鮮かな朗らかな色彩をみせながらした領臺以來の紙とでもいへるだらう、年古りたりと雖も所謂商賈時代に入つた臺南市の近代都市への傾向と見るべきその歐内を齎す事業は昭和六年に入つてから屈指すべき指が足らない程の數々を示すやうになつた、さうした事業の内容に就し一つ一つの説明を或は必要とはしやうが寧ろ蛇足である事を思うて唯その項目を羅列する程度に止むる事とした、六年度市にさうした目まぐるしい計畫に對して又今後に屬する事業も殆ど限りがない程に

彩しさを思はせる斯うして觀じ來る時我臺南市の將來も強ち悲觀し去る許りでない事を痛感せしむるに充分だ、唯之れから期待するのは市民諸君の努力の如何のみである

前年中實施事業

▲臺南高等工業學校開校
▲曾文溪治水工事事務所設置
▲一キロ放送局新設
▲南門外大野球場工事着手
▲臺南、新豐郡間道路鋪裝を完了し自動車交通開始
▲臺南運河沿道路新築
▲安平に全島的な史料記念館の新設
▲全市内に亙り鈴蘭型及ボールヘット型街燈台計四百餘柱新設の事に内定
▲嘉南大圳組合を嘉義より移轉

今後の新規計畫

▲市内某所に糖業試驗場新設内定
▲大南門外に綜合大運動場の設立
▲市内三分子某所に專賣局酒工場の新設
▲臺南驛移轉と共に大改築實施
▲安平港口一帶の大規模浚渫
▲安平殖地内に海軍航空機の著水場計畫
▲三分子舊山砲兵舍跡に工兵大隊の新設
▲臺南市より州下海岸部邑を經て臺中州下に至る中南鐵道線工事着手
▲臺南、新營間ガソリンカー運轉實施
▲臺南工業學校前に實科女學校の新設
▲大南門外附近に大規模な住宅組合設立
▲臺南、旗山間山手進經道路開通
▲臺南神社外苑として孔子廟構內の新施設を爲す

尙その他に多々あり斯うした計畫が逐次實施され行くものとすれば將來の發展は萬々疑ひない

（寫眞は臺南更生の名醫菱村市尹）

臺南
右顧左眄

▲制度改正十二年目といふ昭和六年は臺南市に取ると錯綜した出來事の多い年であつた、一キロ放送局、綜合大運動場、曾文溪治水工事事務所設置等の各種事業は別としても▲市内小西門[illegible]統一市内の中心盛り場としての西市場内にマーケット設置して東市に收入關係を補ふものとして東西市場に野菜消費所新設、市内住宅區に備ふる爲め新に臨時使用據例制定、近代都市としての夜間照明を完全せしむべく鈴蘭燈及ボールヘット型街燈四百餘本新設計畫に最近の問題として洋服細民の顧客たるクリーニング新計畫など菱村市尹着任後の臺南市の特殊なる動向を示したものだ▲拘へばいくらでも出て來る臺南市の振興材料は市民各個の間に探索の義務を有する所勿論で迫つては斯うした機運の出現を見やうとする機運にさへある▲末廣町に銀座式市中の繁華店舗街に擬し工費約八萬圓、四階建四百餘坪の臺南市としては唯一である最新式ホテル新築計畫中のものがある、ダンスホール、大宴會場その他一切の社交施設を兼ねたもので今春に入ると共に準備著手の事となつて居るさうな▲臺南市では墓地整理を機會とし本年に入ると共に内地人附近の墓地と現在の火葬場を新指定の墓地附近に移し同所跡一帶の區域を住宅地として必要な施設を爲す計畫がある附近一帶の低濕地は面目を一新すると共に市勢振展の著しい傾向を窺取し得る事となろう▲臺南高等工業では昭和八年四月の學級完成を期し全島的な工業展覽會を同校内に開催の計畫がある、新學期に入ると共にボツ〳〵準備著手に入る豫定だと▲昨年四月以降臺南市内で特殊な人口増加を見て居る數種の例を擧ぐれば臺南高工百四十名（家族共）嘉南大圳組合百二十名（同上）曾文溪治水工事三十名（同上）その他の豫定として一キロ放送局に三十名、糖業試驗場に二百名その他であつて之れから臺南市も殘十年か振りでうだつが上りかけやうとする途となつた▲久しい問題ではあるが市內大南門外綜合運動場附近に瓦斯の噴出地がある、未だ專門家の鑑査を經るには至つて居ないとは將來その鑑査を調査の上新に同附近に新設さるる住宅地のみにでも供給さるる事が可能なれば一般住住者の便宜は少いものではない

舊都かふえ談義
まだ女給模造時代

◇…銀座の柳が懐しからうが、道頓堀入通りのラッシュアワーがゴタ付からうが舊都といふ名前にピッタリとは來まいと思はれた臺南の最近のカフエの躍進振りはどうだ、素より臺北に於ける針頭花火を散らす程の氣の利いた尖端振りは無いものとしてもジャズとエミテーションのネオンサインと謂ひ立てのカクテルと斯んな所で舊都のカフエは地方的特色を維持して居るといふ譯になる

◇…一昨年頃まで女給の居るのは洋食屋といふ變な定義で片付いたものは此の頃となつて女給はお酌し、洋食や酒はわさびといつた様な轉換振りを示し臺南も斯うして時代的な近代都市たらんとする過渡期を如實に示すやうになつた、毎月二十一日の月給日に州といはず市といはずその他の各官衙では女將に引率された一隊の女給連は借金取りとして各課を泳ぎ廻つて美はしい媚態をチラホラさせる、迚も憎まじき光景ではあるが斯うした事は臺南市の女給といふ朗らかにめでて嫉らしい事だとは少しも思はれぬ

◇…小學校時代を仲に持つて女學校三年時分何とかを遊散し過ぎた爲め退學となつた小夜子といふ女給があるフヨウから掬水に移つて借金六百圓を揃めて簡單に稼へて了つた、自らソプラノ歌手と稱し映畫や奏術を一通り嚙ぢつたやうな口をきいて女給群のインテリ氣取りをやつては可成りにエロ發散をやつたものである、ある日女將に向つて『私を通ひにして下さい』と談判に及んだものだ、その理由とするのは追り込みが費ひが少い爲めだといふのださうで躍進期に入つた臺南のカフエにも斯うした世紀末的な女給が先頭を切つて居る

◇…大阪新町の某カフエに四年間も出稼ぎをして來たといふ臺北、金本といふ本島人姉妹藝者がある内地カフエ界の狀勢を說く事が仲々に手に入つたもので客の勸めに依れば蛇皮線を取つて道頓堀節でも銀座チヤラ〳〵でも御好みの金屬的なソプラノで聽者をスツカリ惱ませて居た、南都劇と西香芳とで別れ別れに働いて居たものの兩家とも此の程沒落してしまつたので今は何處に吹飛ばされたものやら

◇…高砂ビヤホールに臺北の某々カフエを稼いで來たといふ百合子といふ女給がある、姉妹二人のみのつつましい商賣を續けて來たとは謂ふものの臺南市の女給を代表するシヤンだとの噂が最近專らしい商賣の潮流に押し出され押すな押すなの大繁昌振りに可成りに深刻な材料を作り出すやうになつたといふ、何れとしても臺南などの女給の營業的職業が不足な所では顏とイツトに依つて尙々開拓の餘地はふんだんにあるものらしい

◇…臺南市に於ける女給を置いて居る所謂カフエなるものは九軒、女給總數は凡そ四十七名、此等の稼出額は現金の關係から之れより遙に越して居る、昨年暮頃臺南驛前に完成した一軒の大カフエを新設する眞面目な計畫がある一部に起つたけれど流産に了つた、臺南市としては現狀維持は悲觀の所らしい！といふのださうな

……臺南へいらつしやい……
舊都某所のげいとあんたち

臺南市が建設の
スポーツの大殿堂
大選手養成の内密計畫もある

▲昭和三年中片山知事時代の計畫であつた南門外陸軍地の大運動場計畫は思想運動華やかなりし頃の民衆黨と各姓宗親會の聯合軍に依り根こそぎにされてしまつたものだ、爾來鬼門扱ひにさるる事三年、昨夏菱村スポーツ市尹赴任に當つての當初の計畫である同運動場の再燃には一名の異論もなく四方八方滿場一致ででつち上げらる事となつた人心の推移にスポーツをカバーしたスピード時代を思はせるのに充分なものがある

▲取敢ず野球場のみは六年度の追加豫算、その他のトラツク、フィールド、競馬場、プール、大弓場、ベビーゴルフ場等は七年度事業として州費の全額補助の内認を得る所に計畫中とあつて臺南市には之以上な期待の必要がない完備した綜合運動場の出現は目前の間にある、全島一の稱がある竹園町テニスコートと又必要があれば可及的に擴張の餘地がある右大運動場を擁し臺南市は一朝にして一躍にして全島のスポーツ引受所たるの感を起えさせるやうになつた

▲斯うした絶好の條件の下に置かれた將來のスポーツ成績は相當期待さるべきもののあるのに相違はないが最近の特殊なものを擧ぐれば本島女子中等學校代表として神宮競技に參加した第一高女の青木、蔡兩庭球選手、同上東岡三段跳、走高跳選手、水泳の柳樂兄弟、松村など更に又最近嘉商の華やかなりし頃の殘影を以て組織するオール高雄野球隊をペチャンコに擊破したオール臺南隊の復興など今や施設や環境に惠まれて漸く臺南市のスポーツは昔つてその華やかなりし思ひ出の日を呼び戻さうとする躍進振りを見せて居るのは頼もしい、尙臺南州や市では更に何等かの方法を以つて大選手養成に努むる內密の計畫が立つて居るといふ

川柳　猿廻し
長林獨尊

古來「猿」又は干支に因んだ「申」を詠み込んだ川柳は極めて少なく殆ど絶無と云つてもよい位である何故に此種の文獻が尠いかと云ふに詐謔「サル」が所謂字義「去る」と相通ずるものあるが爲めに縁起を祝ふ場合には「サル」を忌むと云ふところから猿猴に關するものがないと察せられる。筆者は極力古書其他に亙り巨細に調べて見たが結局徒勞に歸したので、正月に付きものの「猿廻し」と威勢のいい「松の内」に目出度い萬歲を配して拾ひ出して見た。

◎猿廻し

△背中からひよい飛ばせる猿廻し
△門口で背負ひ投げする猿廻し
△肩からひつ下げて來る猿廻し
△どうぞ帥をお次へと猿廻し
（喧嘩するから次の家への意）
△猿廻しつかんで來ると肩を出し
△どつどつと笑つた後へ猿が來る
（頭が濟むとサッサと歸る）
△猿廻し投げると杖で搔き寄せる
△ぶち棒で隣へ運ぶ猿廻し
△猿廻しあぶあぶ抱かせ舞り
（猿板にヒヤヒヤしながら抱かせる）
△足らぬ毛に三絃を添ゆる猿廻し
（三味の意で、猿は人より毛が三本少ないといふ俚諺を聯はす）
△あすの日のない樣に彈く猿廻し
（番茶苦茶に三味を彈く）
△猿廻し陳皮を集め暇乞
（陳皮とは蜜柑のこと）
△猿廻し一膝あてて禮をさせ
△石突へあやまつてゐる猿廻し
（植木鉢をひつくり返したので詫んでお辭儀をする）
△猿曳の失せた一分に頰を押し
（若や口内の袋に一錢を入れて居はせぬかと疑ふ）

◎松の内

△若水を地主の後で大家汲み
▲つまむほど躍たと若水汲んで來る
△元日の鹽はつまんで捨てられる
（元日は掃除をせぬ慣行を云ふ）
△締持つ下女は叱られ初め也
（右に同じ）
△正月はお隣からもしやちこばり
（あらたまつて年始を述べる光景）
△松竹の間から衣裝を述べ始め
△隣の子の羽子に松葉ひんむしり
△もう藏つあるかと雜煮開合せ
△年禮の廻り道するいい[illegible]
△松の木へ禮をして行くのどかさや
△三ケ日呼ばれたやうな箸で食ひ
△年禮は首だけ入れて御屋也
△父一つ年の祝とる雜煮膳
△本性で先づ二三軒年禮中入れ
（二三軒は素面で禮廻りする）
△袴でおぶさつて來て笑はれる
△袴を着せた男を杖につき
△袴で隣をあけるよい婿殿
△門禮に追ひ手のかかる俤のよさ
（年始の客へ上らぬとは怪しからぬと追ひかけて來る圖）
△正月のふざけ初めは三河なり
△御禁用の鷺萬歲は捨づつみ
△嫁の來た春萬歲にきづい入り
（花嫁を見るのが目當て）
△萬歲は小使錢の初手につけ
（たから船）
△女房と相乘りにする寶船
△一年の夢の始めを枕にし
△春風の座に長者の夢の跡
（節のひげの弓の鳴り）
△ぎまつ子は風に取つた凧を揚げ

嘉義市　春田重之

嘉義市　伊藤正勝

嘉義市　菓子商 ㊐ 日向屋　電話四〇六番

嘉義市榮町六丁目　醫學博士 加藤豐彦　加藤病院　電　二二二番

嘉義　德豐材木商行　電話三五九番

嘉義　魚喜　電話三一〇番

嘉義酒類煙草小賣人組合

嘉義　モリカワ自動車　電話五〇六番

有價證券賣買　明治屋商店　電話八〇八番

嘉義市北門外三一四　榮發材木商行　電話七一四番　振替六六六

嘉義市大通　加土紙店　電話二番

嘉義市　中林鐵工所　中林倉一

嘉義　濱田印刷所　電話六三四番　振替臺灣三〇五番

嘉義市　吉本米次郎

嘉義市　白井藥局　電話一一番

嘉義市　劉能才

嘉義　醫學士　酒井寅次郎

嘉義市北門町四丁目　㊂丸三商會　電話三一四番

嘉義　橋本吳服店　電話一四九番

嘉義市　小西國平

嘉義宿屋組合員一同

臺灣酒類賣捌人組合嘉義支部員一同

嘉義貸座敷組合

臺灣煙草賣捌人組合嘉義支部組合員一同

嘉義煙草賣捌人　眞木勝太

嘉義公會堂前　津本寫眞館　電話二三一番

嘉義木材商組合

嘉義同生病院　醫學博士 前田又四郎　醫學士 中島巳之助

嘉義市　坂本吳服店　電話一三五番

臺南州青果同業組合

嘉義齒科醫師會一同

嘉義理髮營業組合

虎尾　庵地佑吉

虎尾　永井清次

嘉義商工會　電話四三八番

嘉義市　㊂丸三藥房　電話四〇五番

嘉義市　杉村隆富

嘉義市　庄野橋太郎

嘉義市　森秋生

嘉義土木建築請負業組合同臺南支部

嘉義市　藤田電氣工業所　電話七四〇番

嘉義驛　臺灣運輸業組合　嘉義作業所

嘉義市大通　[illegible]トランク　伊ケ崎商店　電話九番

嘉義市　徐杰夫

嘉義電燈株式會社

嘉義市　木藤才二

諸官衙御用達　各會社御用達　人夫供給請負　土木建築請負業　陳成組　代表者 陳火仔　嘉義市堀川町四番地

嘉義市　永登令治

嘉義市西門外七六二　文明樓　電話七〇〇番

江郁弘美

嘉義市　嘉義座

嘉義市　陳際唐

嘉義水上間乘合自動車　嘉義竹崎間乘合自動車　大同自動車合資會社　嘉義市

嘉義市　臺生堂藥房　電話四九番

嘉義郡中埔庄役場　陳茂如

嘉義市元町五丁目　自轉車ノ御用ハ三五商會へ　電話二五八番

嘉義郡溪口庄役場　張進國

嘉義市　加土峰吉

嘉義郡新港庄役場　林蘭芽

嘉義郡竹崎庄役場　王景游

嘉義市　いさみ　堀池義事

臺南州嘉義市下路頭三五八　平井力松　電話七三七番

臺南土木建築請負業組合　嘉義支部　電話二三五番

嘉義家畜問屋　代表者 永原喜太郎　電話四三九番

嘉義市　高野元秀

嘉義市　有限責任嘉義購買利用組合製氷事務所　電話六五五番

嘉義郡役所　佐藤房吉

大林　江文蔚

帽子和洋雜貨
東京式履物商
臺北市京町二丁目二三ノ
大倉本店
電話六五九、六二九、六九〇番

謹賀新年
山葉ピアノ・オルガン發賣元
日本樂器會社出張所
臺北市新起町

お蔭様にて
日増に皆様の財産が確實になるご共に
益々皆様より信用を得つゝ有る
弊所の白蟻驅除
白蟻驅除研究所臺灣支部
臺北本町 **大脇為德**
電話三五四九番

臺灣臺北市北門町八番地
大倉商事株式會社
臺北出張所
電話長一〇五三番

臺北市壽町五ノ五
臺北中央市場株式會社
電話長七八三番 三一七三番

本店 基隆市
支店 高雄市
臺灣倉庫株式會社
出張所 臺北市 臺中市 臺南市

臺北市本町四丁目二十四番地
麥酒販賣株式會社
電話二三四五番 二四五〇番

臺南市本町二丁目六十九番地
麥酒販賣株式會社臺南出張所
電話六三〇番

謹賀新年
辜顯榮

喪中に付年末年始の禮を缺き申候
臺北市京町 **杉山勇**
臺中地方法院 **川名春治**

臺北市新起町二ノ一五
茶商 **富貴園**
電話六七六番

羅紗 綿製品商 **本田猶商店**
電話二一七七番

臺北市北町委員一同

臺北市北方面委員一同

丸八食糧品店 京町一ノ五二 電話三三六九番
松尾本店
京町三松尾支店電話三六五六
電話一四一六西門市場内松尾支店
御成町市場松尾支店 場内一四

漆器 荒物
姫野商店
榮町 電話三〇番

新起町一丁目
山本洋家具店
電話三六九七番

伊勢芳ベツ甲店
臺北市西門町市場

梅本德太郎商店

臺北市太平町
綿布商 **菊元商行**

臺北市永樂町二丁目二十二番地
臺灣正米市場組合
電話代表番一七四〇番

臺灣米穀代行株式會社
電話代表番一七四〇番

臺北市榮町二丁目
和洋雜貨 婦人小間物 半衿 化粧品
商 **小島屋**
店主 小島伊三男
電話三四六七番

臺北市本町一丁目十一、十二番地
株式會社 **資生堂藥舖**
電話長一七五番、一七五番、二七二番
振替臺灣三〇五番
電信略號(シ)

追白
昨年中は不行屆勝ちで申譯けありませんでした平に御海容願ひ上げます改暦と共に經理部門一同努力して御用命を益しくしない決心で御座ひますから倍する御引立を願ひ上げます

有限責任 **龍江信用組合**
電話一三六二、五一二

臺北市八甲町
相澤製綿所
電話三七九七番

臺北州自動車營業組合
明石町 電話一四〇五番

矢野果物店
電話三二一三

臺北市末廣町三丁目四番地
臺灣合同電氣株式會社臺北出張所
電話八七五番

臺北市上奎府町三丁目三番地
大日本製氷株式會社臺灣出張所
電話八八四番 八五番
振替二一一八番
本社 東京市本所區業平橋二丁目二番地ノ一

管内營業所及工場

臺北營業所
萬華營業所
基隆營業所
臺中營業所
彰化營業所
嘉義營業所
臺南營業所
高雄營業所
屏東營業所

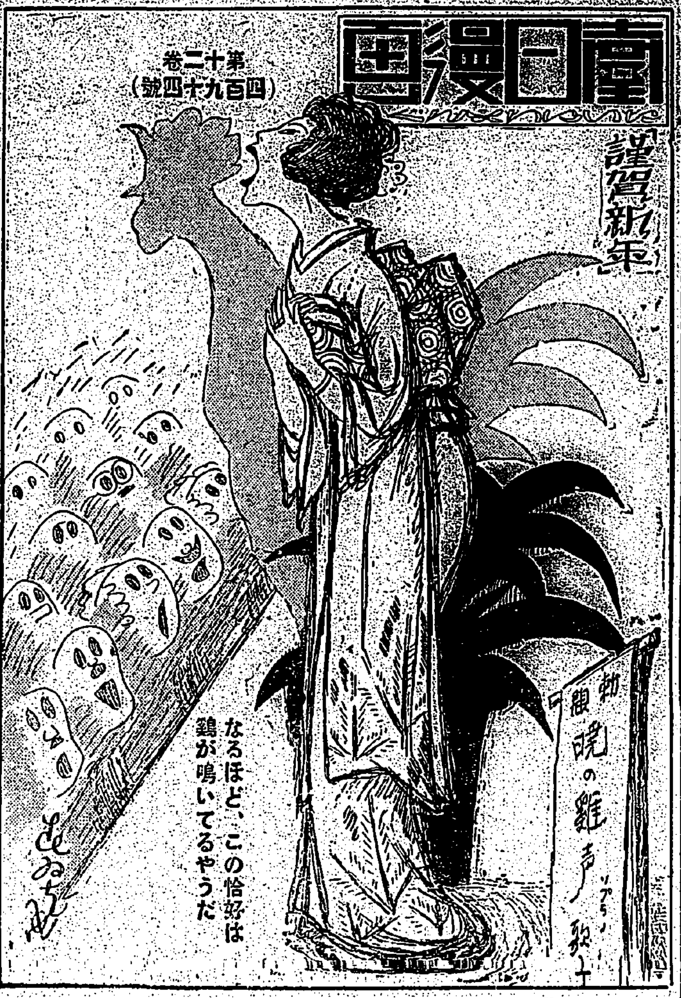
臺北工場(電話八五四番)
萬華工場(電話一九七番)
田寮港工場(電話七四四番)
八尺門工場(電話九四一番)
臺中工場(電話二四三番)
彰化工場(電話一六七番)
嘉義工場(電話三三三番)
運河工場(電話七七八番)
鹽埕工場(電話二四番)
高雄工場(電話三〇二番)
屏東工場(電話四〇番)

臺灣電力株式會社
臺北 電話一四五番 六一二番 電報略號(タテ)

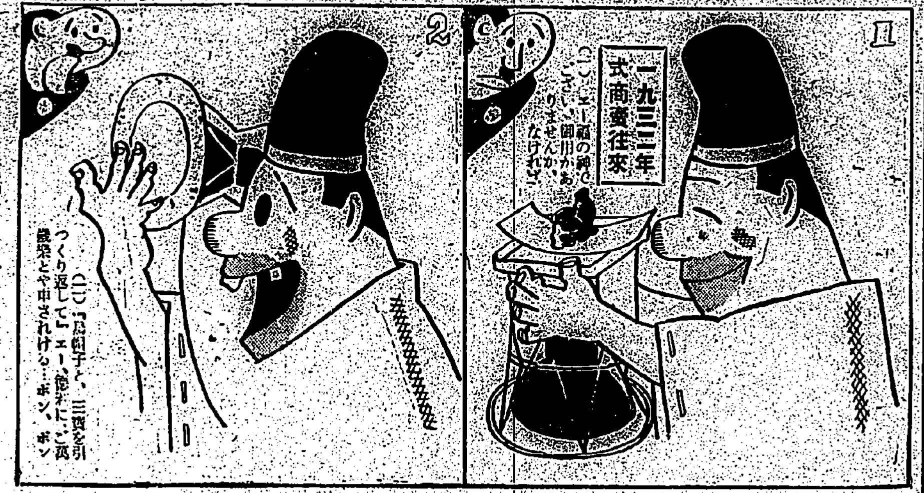
東京支社	東京	電話銀座七三二番 四七一六番 電報略號(テト)
基隆營業所	基隆	電話三〇七番 四八四番
宜蘭營業所	宜蘭	電話四三番
臺中營業所	臺中	電話三二三番 三三三番
臺南營業所	臺南	電話三〇七番 三〇八番
高雄營業所	高雄	電話一一七番
臺北營業所	臺北	電話一四六番 六一四七二番
瓦斯營業所	臺北	電話三九九番
彰化營業支所	彰化	電話二七番
屏東營業支所	屏東	電話一〇五番

臺日漫畫

第十二卷（四百九十四號）


謹賀新年
御題 曉の雞声
ソプラノ 歌十

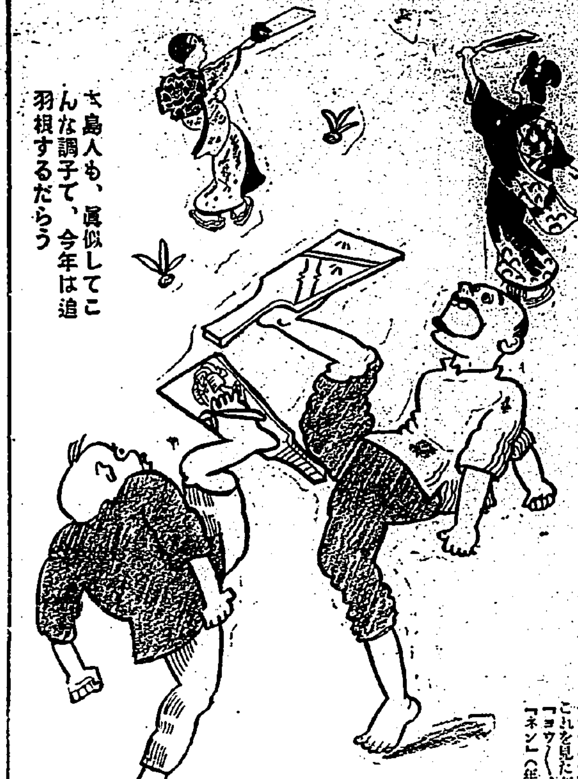
なるほど、この恰好は鶏が鳴いてるやうだ



一九三二年 式商賣往來

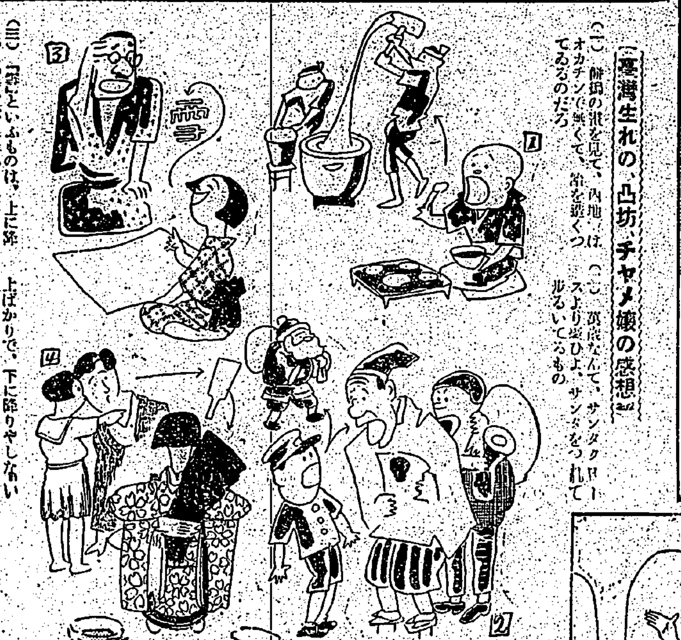
（一）エー福の神でございー御用がありませんか、なければ…

（二）『福面子と、三寶を引つくり返して』エー、徳利に、ご商賣繁栄とや申されける…ポン、ポン



本島人も、眞似してこんな調子で、今年は追羽根するだらう

〔臺灣生れの、凸坊、チヤメ嬢の感想〕



（一）餅搗の状を見て、内地はオカチンに無くて、餅を搗くつてゐるのだろ

（二）寶船なんて、サンタクロースより愛ひよ、サンタをつれて来るいてゐるもの

（三）『羽子』といふものは、上に昇るもので、下に降るもんぢやないと、いふたら馬鹿ツて、パパがいふた。でも、臺灣ぢや山の上ばかりで、下に降りやしないぢやないの

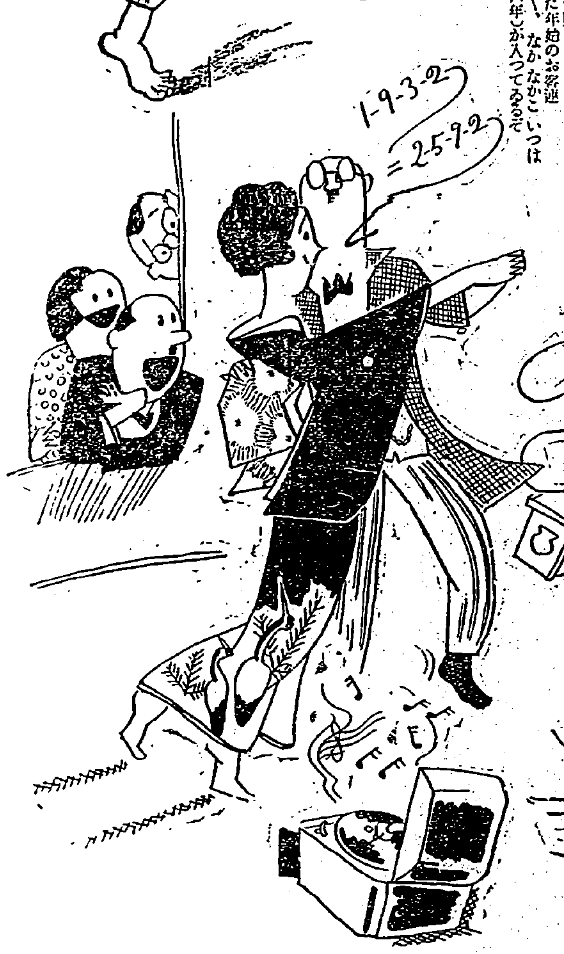
（四）母チヤン、わたいにも、羽子板の帶締めて頂戴

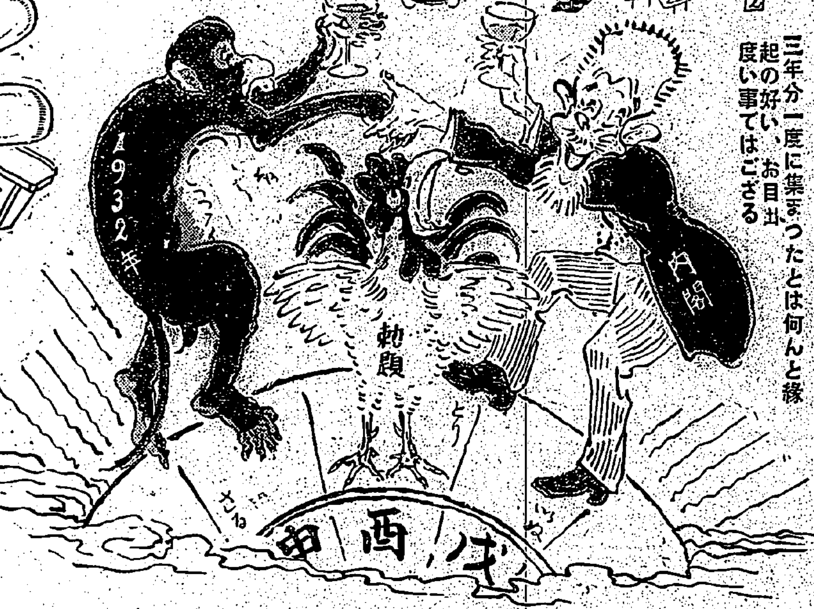
夫『時代は進化だ、元日くらゐダンスもしなきア世間體が悪るい

妻『オホ、だつて、妾、踊れないですもの

夫『なーに、構やアせんよ、唯こういふ蹴をして、レコードに合してさ1932年式てなことに歩いて見て、それでも足らなかつたら、日本紀元の、2592でやつつけて見るさ

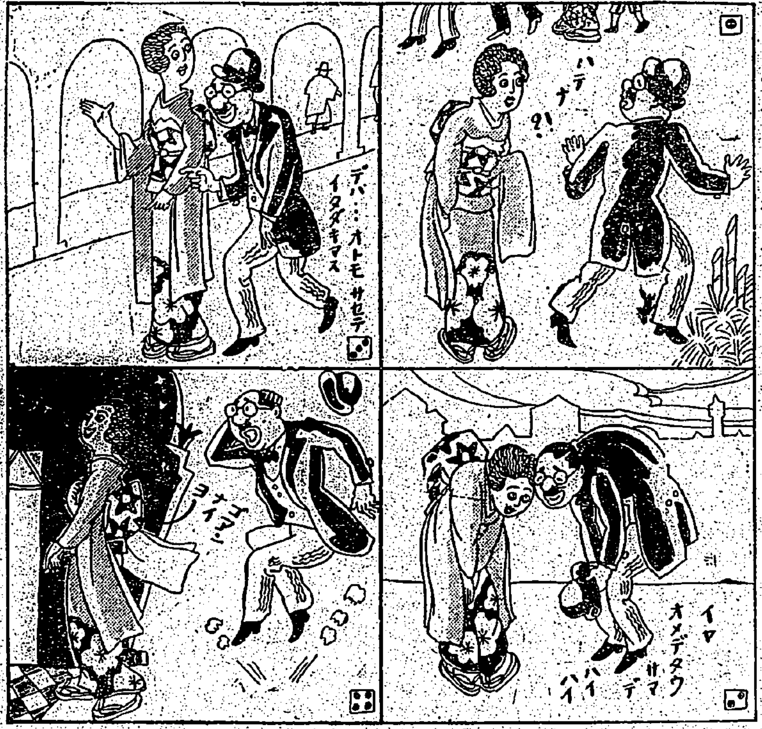
これを見た年始のお客逆『ヨウ〜、なかなかこいつは「ネン」（年）が入つてゐるぞ





三年分一度に集まつたとは何んと縁起の好い、お目出度い事ではござる

◇正月と彼氏



臺北市榮町
文明堂書店
電話八三〇番

土地建物管理 並ニ一般仲介
臺北市新起町一丁目六番地
常磐信託商會
主 池上喜兵衛
電話七一九番

ガラ 木炭商
三崎商店
臺北市元園町二二九

諸紙文房具 活版石版印刷
臺北市京町二丁目
江里口徳市商店
電話一三四七番

制帽専門 不用品御引立を願ひます
カメダ帽子店
臺北市本町一丁目三十五番地
電話一八五三番 振替口座五八九番

徳丸貞二

臺北市表町一丁目
臺灣コークス株式會社
電話一一三番

臺北産婆會有志（いろは順）

今村ツギ 八甲町一ノ七 電二二二呼出
伊集院サヱ 若竹町二ノ一九 電話三九七二番
橋本松子 同 君子 大和町二ノ五 電話一八五八番 姙婦お預り致します
橋谷竹代 若竹町二ノ三 電話一八五二番
橋本トヨ子 若竹町二ノ一 電話四一二三番
西川きくひ 樺山町二〇 電話三五九二番
本間ムメ 京町二ノ一 電話一五四番
登野城節子 樺山町四九 電話四一〇八番
大橋ギン 本町城山菓子店内 電話二〇九〇番
緒方もと 臺北州派遣有給醫 御成町二ノ一六 電話六三五番
川田茂井 本町二ノ八 電話六五八番
平よし 文化村六條 一度お尋ね下さい
田村マセ 東門町五 電話六八四番
高橋祝 [illegible] 電二二二〇呼出
直江タケ 北門町一六 電話三三五二番
野崎こう 老松町二ノ一 電話三〇九五番
乘金敏惠 新起町一ノ一 電話二八二五番
久保トキ 大和町三ノ二 電話四一三番
山本美江 老松町一ノ二 電三三三呼出
福岡タカ 若竹町二ノ一九 金光教東隣 電話九三七番
小佐井貞 老松町一ノ三 友田病院隣 電一九九二
古賀チヨ 臺北市三橋町四番地
安藤若枝 八甲町二ノ一 電話二一一八番
荒木シゲ 新富町五ノ三一 電話二四八一番
佐々木よし 福住町一九 電話四一一八番
佐藤よし 古亭町二二 電話四一六八番
清水いち 兒玉町二ノ五〇 電三〇六五呼出
永久靜子 白木春子 千歳町一ノ一 電話二六二五番

株式會社 **守谷商會臺灣出張所**
臺北市本町一丁目四十番地
電話五一八二番 一一五九番

謹賀新年
臺北市若竹町二ノ一
平田藤太郎
電話一〇〇〇番

新舘謹次郎

臺北市新起町二ノ二三
大歳徳太郎
電話六〇三番

齋藤俊三郎
臺北市若竹町

臺北市榮町二ノ一
山崎醫院
電話一〇七番

喪中に付年賀缺禮
湯徳洋服店
臺北市榮町三丁目

臺北市表町二丁目
山岡發動機臺灣支店
電話三〇六〇番

米、雜穀 内地綿卸商
臺北市老松町二丁目
藤村精米所
電話七二二番

疊 疊表及疊材料一切販賣
臺北市本町二ノ一九
永戸峰藏
電話五八五番 振替口座二四五番

台北名物
台北餅
新公園前 電一〇七〇番

臺北市北門町八番地
金原川運送店
電話長一八〇三番

臺北北人力車營業組合
電二〇九一番

土地家屋管理
臺北市京町一丁目二番地
小林信託商會
電話二八二八番

臺北下宿組合一同

臺北市新起町二丁目
串本金次郎商店
電話一三四四番

一般輸移出入業
南亞貿易商行
臺北市本町四丁目一番地

明治生命保險株式會社臺北出張所
臺北市本町一ノ三三
電話一四八三番 振替臺北一八四六番

臺北市大和町一ノ二二
博善株式會社
電話四一一番

臺北市公設
千歳町食料品小賣市場
公商會員一同

臺北市榮地町
吉田内科醫院
電話二八五三番

御蔭様で舊年中は非常な好成績でありました尚年末年始の混雑中は兎角不行居の向もありましたが店主店員一同一層努力致しますから何卒本年も不相變御愛顧の程をお願ひします
臺北市老松町一丁目
白米本舗 **藤田食料品店**
電話一〇五〇二番

臺北市建成町二ノ四
秋山啓藏
電話一三一〇番

末代破れぬ堅牢特許 ミカド襖臺灣全島特約店
建具表具商 **葛西貞三商店**
臺北市新起町二ノ一
電話一八一番 電略（カ）又（カサ）

米穀商 臺灣正米市場組合員
田村良太郎商店
臺北市本町四丁目十七番地 電話三三五番
臺中支店 臺中市橘町三ノ三 電話三四四番

天龍木材株式會社臺北支店
臺北市萬華驛前 電話一二七七番 長六六三番
出張所 嘉義街北門外 電話六二〇番
工場 羅東街十八埒 電話三三番

臺北市北門町七番地
月足時計店
臺北市表町一丁目 電三〇三番

植松材木店
電話八二〇二番

賀正

臺北市本町二ノ四三
靴専門 **江田靴店**
電一八六番 振替一五五二番

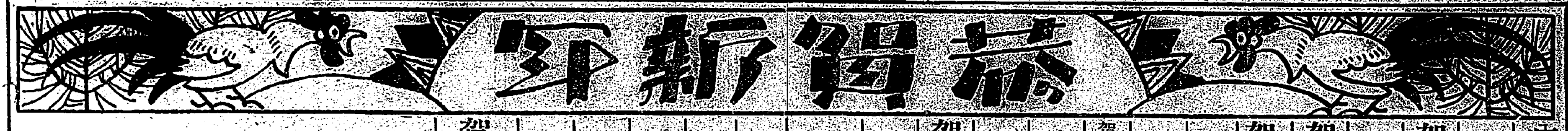
臺北市榮町四丁目
武具専門 **米澤商店**
電話六九番

臺北市表町一ノ三
水木紙函臺北支店
電話一六二一番

臺北市太平町四ノ一八
有限責任 **稻江信用組合**
電話二四八九 二三番
[illegible]

發記茶行
臺北市太平町三丁目
電話一三五番

第二區煙草賣捌所
蔡彬淮



內地みやげ　東陽物產商會
基隆驛前　電話三六〇番

石井鐵工場
電話（本工場一〇七二五番　分工場一〇五六番　金物商六七六番）
場主　[illegible]　主任　張[illegible]

賀正
基隆市義重町四ノ八
山口履物店　電話一〇三〇番

教育玩具　小間物　化粧品　釣具　魚網一式
賀正
基隆市義重町二ノ一七
小倉屋商店　電話一八五番　振替臺北九八九番

賀正
基隆市日新町
高等下宿　大和館　電話六四四番

賀正
基隆郡金山
小林寅松

賀正
質屋　古著商
基隆市義重町　電話一一三番
㊎加藤豐吉

基隆市義重町二ノ二七
平和湯　電話四八九番

賀正
基隆市明治町四ノ一
山口辰喜　電話四三八番

基隆市日新町三ノ五　電話八三二番
基隆住宅利用組合
組合長　久垣忠治

基隆市田寮町
カフエーヒロシマ　電話四一二番

賀正
基隆市明治町四丁目七番地
石堂壽一　電話六四六番

賀正
教育玩具一式　小間物　化粧品　釣具　魚網　絲類
基隆市義重町二ノ四
黑澤商店　電話一九五番

村里建築事務所
本店　基隆市日新町一二ノ六
出張所　臺南市花園町一ノ三二

基隆市日新町四丁目
基隆人力車營業組合

基隆市日新町海岸
基隆水先案內事務所

基隆市濱町三二
㊍荒本造船鐵工所　電話七三〇番

基隆市義重町二丁目十五番地
司法代書人　宮下利三郎事務所　電話八四七番

基隆市濱町一ノ一
ツカハラ寫眞館　電話六六六番

賀正
基隆市日新町三ノ一
吳服太物商　田邊吳服店　電話八〇〇番

賀正
基隆市協議會員
(いろは順)
今林原范小王大顏吉吉辰野山古吳河黃明劉謝須
岡　田　川　倉　岡　原巳　口　內山　野　比　藤
斧　寶　塗　欽　多　宗　小　百　樹　阿　國
德準　太　直　一　鶴　三太　有藤　昌　俊　實
藏二郎勳馬盛良賢吉郎國二雄川雄水平禎器潔

謹みて新春の御挨拶申上ます本年も相變らず御引立を願ひます
基隆市義重町　電話二九番
足利はつ
基隆市日新町　電四一九番
木村みね

賀正
基隆驛前
國際通運株式會社
基隆支店

基隆市元町一丁目二番地
基隆輕鐵株式會社
瑞芳輕鐵株式會社

賀正
基隆市玉田町二ノ一九
合名會社　義和商行
株式會社　禮和商行
株式會社　雲泉商會
臺陽鑛業株式會社
海山炭礦株式會社

賀正
基隆港
合運送株式會社
取締役社長　柏原米太郎
取締役支配人　本地才一郎

基隆市日新町四ノ二
鑛力鑛工請負業
橫山芳之助　電話一〇三六番

賀正
基隆市旭町三ノ五
合資會社　三河商行　電話八八八、七七六番

基隆市義重町　電五七四
文房具
基隆堂書店

賀正
基隆市日新町海岸通
船具　金物商
㊎角谷定吉商店　電話一一五番

基隆驛前
旅館　船越本店　電二〇一
基隆新岸壁
食堂　船越支店　電一〇九七

蓬萊水產株式會社
本社　基隆市日新町　電話長八一[illegible]番
支店　高雄市新濱町　電話長五三〇番

基隆市[illegible]
食料品小賣
田寮港市場賣店一同

近江時五郎
基隆市

基隆市元町二丁目四十二番地
㊎櫻井商會
電話三二五五番　振替口座臺北九五番

設計　施工　監督
基隆市義重町五丁目一二
ひぢり屋建築事務所　電話一一三九番

賀正
臺灣酒類賣捌人組合基隆支部
玉理三造
前島知德
許海亮
余德興
田邊キノ

基隆市日新町
基隆印刷所　電話九九〇番

基隆市義重町五ノ一
まつや　電話二〇〇番

基隆市義重町三ノ四
平戶食料品店　電話二九、一四三番

文具一式　各種印刷　官衙御用達
基隆市義重町一ノ二
ツカサヤ文具店　電話五七〇番

和洋御菓子
基隆市義重町三丁目
今朝日堂
吉岡鶴吉　電話四〇三番

賀正
基隆公會堂食堂　電話一四〇番

賀正
(いろは順)

- 耳鼻咽喉專門　鼻整形氣管食道科　基隆市日新町三ノ一〇　日新醫院　電話一〇九二番
- 外科　皮梅科　基隆市日新町五丁目　田中醫院　電話五九三番
- 外科皮梅科　物療科專門　基隆市日新町三丁目　梅野醫院　電話一二五番
- 小兒皮梅科　產婦人科　基隆市日新町三丁目　松垣醫院　電話八四一番
- 內科　小兒科　基隆市旭町一丁目　松村醫院　電話五八八番
- 內科　小兒科　基隆市義重町三丁目　古山醫院　電話二〇三番
- 產婦人科　基隆市日新町二丁目　福永醫院　電話九六番
- 外科產婦人科　花柳病科　基隆市義重町一丁目　小島醫院　電話六四三番
- 內科　小兒科　基隆市日新町三丁目　後藤醫院　電話六七九番
- 眼科耳鼻　咽喉科　基隆市義重町一丁目　廣瀨醫院　電話六八番

基隆市義重町三丁目
各賣藥　各種新藥
同生堂藥局　電話三五一番

萬金物　硝子類　諸油　石鹼各種
基隆市義重町三丁目
㊥小川商店
電話三三四番　三三八番　振替八九三番

新莊街役場
街長　阿久根[illegible]
助役　林學周
會計役　鄭福仁
職員一同

公醫
野林醫院
野林鶴松

後村水利組合長
新莊郡守
河野十郎
外職員一同

有限責任
新莊信用組合　電話七番

有限責任
臺灣鰹節信用販賣購買利用組合
基隆市日新町七丁目一番地水產會館內　電話二七[illegible]番

石炭商
石炭　採掘　販賣　輸出
三菱商事株式會社石炭取扱店
中臺商事株式會社
基隆市日新町[illegible]　電話（[illegible]）

有限責任
山腳信用購買利用組合

有限責任
樹林口信用購買利用組合

酒類賣捌業
陳天順

煙草是人生行路伴
[illegible]
新莊街ヨリ
北條熊人

鶯洲庄三重埔保正
邵大[illegible]

新莊郡二重埔
陳上九

新莊郡鶯洲庄役場
職員一同

新莊郡鶯洲庄
蔡和興

有限責任
鶯洲信用購買販賣利用組合
役員一同

新莊自動車公司
電話五番

有限責任
三峽信用利用購買組合

海山輕鐵株式會社

海山郡三峽庄
陳佛齋

石炭採掘　ガラ製造
成福炭礦
三峽庄　陳炳俊

三峽信用組合專務理事
公醫　劉鉅篆

三峽[illegible]院
李木土

製材業　運送業
林源記商會
主人　林炳輝　電話六番

製材　指物
興業部
主人　鄭石欽

[illegible]
陳源益
什貨部　製材部
電話二二番　振替[illegible]二八五番

臺灣日日新報
三峽取次店
陳材登

臺北州羅東郡羅東街
宜蘭殖產株式會社
電話長一番

羅東信用購買販賣組合

利澤簡信用購買販賣利用組合
五結第一事務所
二結第二事務所

株式會社
日臺組　電話一〇七番

共益自動車株式會社

羅東郡三星庄
竹津醫院
竹津秀之助　電話三二番

羅東郡三星庄
三星庄長
松尾虎次　電話三一番

羅東街
波江野吉太郎

羅東郡
冬山庄長
江兆麟

羅東郡五結庄
五結庄長
林維

羅東街長
陳純精

羅東酒類賣捌所
折尾德慧

羅東街
木村眞次

羅東郡冬山庄
仁安醫院
公醫　張住

海陸運送
大阪商船株式會社羅東荷扱所
㊥運送店　電話一九番

羅東消防組
組員一同　電話一二一番

御料理
羅東驛前通り
㊇河合九藏　電話三九番

羅東驛前　電話四七番
辰馬汽船荷扱所
㊄東臺宏運公司

協商會員
日用雜貨　日用雜貨　吳服太物　菓子製造小賣　同　藥種商　下駄提灯　菓子製造小賣　藥種商　文具商　吳服太物　小間物、小供服洋品　カフエー[illegible]
思池松福中吉石內中江五高執
川田本田　川岡　橋藤　川副味橋印
時助　淺福　榮
又久次三岩支太次正豐正太猛
作吉郎吉店郎吉郎夫吉吉郎雄

御料理
羅東　電話四一番
朝鮮亭
金南斗

臺北州羅東郡五結庄二結
Ⓢ昭和製糖株式會社
電話宜蘭長四〇番
工場　宜蘭、玉井、下坎
出張所　東京

羅東驛前通り
高級貸切　貨物運搬
高山自動車商會
蘇澳出張所　電話四〇、六番

羅東街
羅東合同自動車[illegible]
直鍋商會

羅東街
蘭陽自動車株式會社
電話六六番

羅東街竹林
陳東山

[illegible]
羅東街東和商行
㊉店主　劉祿[illegible]

羅東街
日本大學醫學部醫學士
陳成岳

羅東街　電話六四番
御料理
君乃家

貨物タクシー
驛前自動車部　電話五〇番

羅東街
御料理
羅東亭　電話二三番

羅東街　電話五二番
大同醫院
林捷龍

羅東街
羅東土木協會
電話一二九番

羅東街　電話一七番
私立
壽康醫院
濱野滿五郎

羅東街
御旅館
澤村旅館
澤村[illegible]　電話五二番

羅東街
代表者
陳振光
福蘭社
外社員一同

臺灣日日新報取次所
千代田火災保險代理店
運動用品　文房具　學生帽子　其ノ他
江副豐吉商店　電話二九番

羅東街
臺灣御料理
太平閣　電話五番

羅東街役場通り
高等洋服店
新宅惣一

羅東驛前通り
御旅館
聚英旅館

羅東驛構內作業所
擔當員
伊藤吉次郎

羅東街
御旅館
伊藤旅館　電話八番

臺灣の表玄關

きーるん港のいだく大抱負

今春の港灣博覽會を機會とし

先づせんでん・宣傳から

我基隆市は本島の玄關で居ながら諸種の利益を受け他動的に向上發展する素質をもつてゐる、交通運輸の尖端で他市に無いもので港灣關係十二ケ所、重砲兵大隊、船舶司、倉庫業、船渠造船業がある、それに地を掘れば金、銀、銅、石炭がある、海からは鰹、鯖、鯛魚珊瑚がとれる

大港市

として何から何まで社會のあらゆるものを網羅し複雜多彩で市民の努力いかんによつては人口二十萬の國際市位の港市にはなり得るのは必ずしも遠き將來でない、それには市民が自助精神を發揮することが根本をなすけれど天下の耳目を基隆市に集注させる港灣博覽會が必要である云々とあり、今春は市區改正の竣成を機會に港灣博覽會をやつて人氣を引き立てたい、海水浴場を設備して臺北市はもちろん全島から十數萬の浴客を誘致したい、そのうち基隆神社の神殿、拜殿も出來上つて社格も昇格し縣守社の神々しさが加はるので六月の大祭は大に賑はふことだらう、設備の完成で我國で有數を誇らうとする八尺門漁港の州營設備は新年度早々工事に着手する、天下は金輸出再禁止で景氣が立ち直り何つ先に恩神が訪れるのが玄關港部なることは疑ふべくもない、各種貨物が殖える、船舶の入港が多くなる、即ち石炭が賣れる魚が高くなる荷役運送が忙しくなる、從つて港勢は自然と振ふことになる、で想ひ出さるのは基隆

宣傳歌

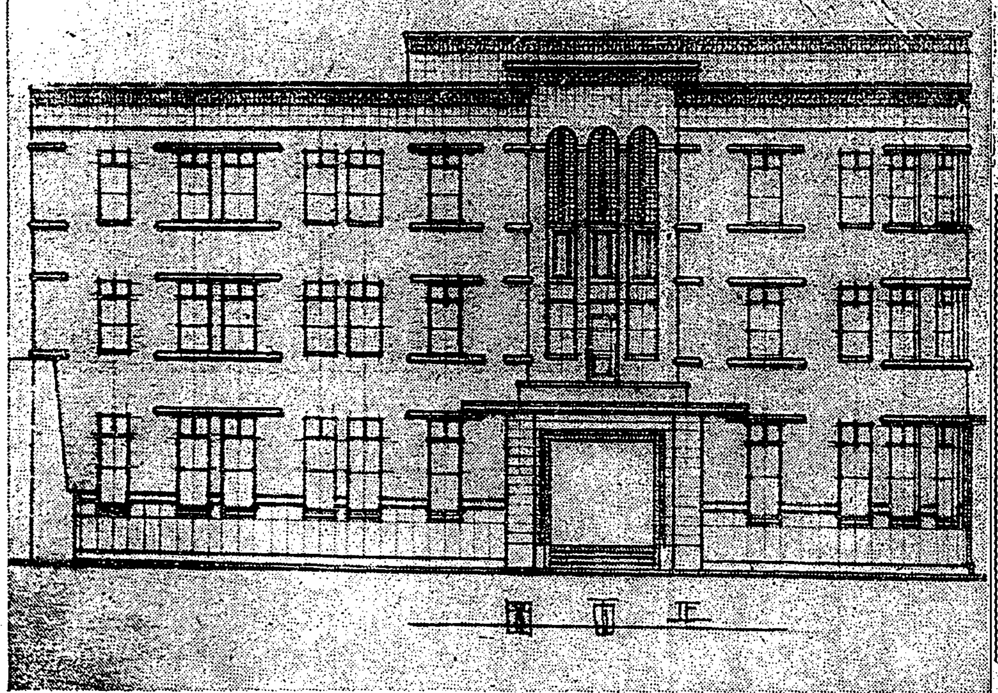
の選定で廣く全島から募集したことがあつたが入選歌の語調や音譜が悪くて流行に至らず鴨綠江節みたいな短な俗謠にして花柳界方面から世間に廣めるのも一方法で夏分海水浴宣傳をかね再々『基隆の夕』を催しラヂオで放送すれば相當效果があらう、蓄音器のレコードに吹き込んで定期船の航海中の餘興用にすれば案外早く人々に膾炙するかもしれぬ、基隆サンゴが世界的に知られたやうキールン節、基隆磯辛が面白い、そこで筆者は今年は大港市心主義と基隆名物の宣傳で終始したい

自慢にならぬ『雨港』のあだな

市勢の發展でうんと熱鬧すれば

雨は減つてゆくとの說

雨のお正月はキールンが持つ名物の一つであるが雨が港市の勞働力を減殺し市民を陰鬱にする氣分が無いではない何とか防止の策は無いものか、冬の雨は季節風が齎す冷たい濕氣が背面の山岳に當つて凝縮し霧となり雨となるのだから市の人口が殖え諸工業でも盛んに起ると季節風が上昇し附近の山頂を越えて行き雨となる數が少くなる、從つて市勢が膨脹すればそれ丈け雨量がすくなくなるわけだ古老の話でも昔と今とは降り方が少くなつたとは事實そのやうにも考へられる、少くとも人口が現在の三倍になつたら雨量は半減するかもしれぬ、冬の日に淡水合二十浬程から基隆港を望むと洋上はカンカン照つてゐるのに基隆市は白雲で蔽はれ近づいて見ると傾つて雨が降つてゐる、雨は三百メートル程の上空は晴天で下界許りに白雨を降らしてゐるので季節風と山岳とが作用して雨を艱避してゐることがハッキリ判る、だから人間の陽氣を旺にして空氣を温めて濕氣を上昇させて山越しの彼方に追つ拂へばよいので內地の發電地方では雨が國兒を躁らし、煙突を閉めるので避雨法として山上で盛んに焚き火する、或學者は季節風には雨脈があつてそこに焚き火と云ふ炎をすゑるとその地方の降雨をとめることができると云つてゐるがそれならせめてお正月でも基隆で一番雨の降る鷄籠嶺邊りで安い石炭を焚いて上空を暖めて季節風を上昇させ背面の山頂を吹き越させせめてお正月松の內だけでも雨を避けたい……といふのは素人の空想だがあながち空想とのみ排斥は出來ぬと思ふ、この科學時代或は將來こんな降雨制限策が實現するかも知れない



臺灣一のモダン市廳舍 鐵筋コンクリート造り三階建て本島第一の壯麗な市役所目下盛んに工事中てある（寫眞はその設計圖）

日く、日く

基隆を擔ふ人々

階級政策の行詰りでどん底の不景氣から多少でも景氣らしい曙光のささうと云ふ一九三二年、基隆の諸名士方は一體どんな考へを持つてをるか！訪問して得たものがこの通り

國際通運支店長　**大月市三**

自分は頭の上から尻尾の先まで通運そのもので固まつてゐるのだから通運屋さんとして以外の大月の人格はない、家にかへれば寢ころんで新聞讀むのが關の山、まんぢゆうも喰へば酒も飲む

しやしん　雨港カフエー界の双璧とうたはるる姉妹女給（右が重子さん、左が澄子さん）

基隆市助役　**小島猛**

屋外スポーツに親しみたいと思つてゐる、正月が來ても獨身者の悲哀！一緒に遊ぶ相手もゐない、淋しい事は淋しいね、何？奧さんを貰へつて、今の所嫁なんぞ貰ふのは五月蠅いだけだよ然し來てくれる人があるなら貰つてもいいがね

倉庫會社支配人　**中山勇次郎**

國難來！この國難來に際して私は大本敎の主旨を宣傳してこれが打開の大運動を始めたいと思ひます、即ち世界に向つてまたと得難い救濟主の現れた事を廣々と知らしめてやりたいのです、これが私の趣味であり念願であり新年劈頭の抱負であります

市協議會員　**古山昌雄**

私は日に日に衰えするクリストの敎へをもつて漸次惡化して行く社會を指導し敎化し矯正して行きたいと思ひ覺悟を定めました、それから酒を飲まぬ事、今迄私はクリスチヤンでありながら少しばかりづつたしなんで來ましたので向後は一切アルコール分をたつつもりです

基隆憲兵分隊長　**膳英雄**

僕は何も考へてゐない、平々凡々と云ふ譯ぢやないが期する譯の事はない

稅關事務官　**尾佐竹堅**

關稅政策について研究したいと思つてゐる、それから中年者の遊戲として玉突をやりたい

基隆醫院長　**河田直吉**

ないね、なんにもないね、別に考へてもをらんね、趣味もないね

重砲兵大隊長　**古野縫之助**

僕みたやうな未熟者が何んだかんだと偉らさうに述べ立てる事はない、酒もやらず、將棋もやらず、魚釣りもやらず、全くの沒趣味だ、趣味だけは一人前さ

郵便局長　**稲村光直**

色々考へはあるが特に聽いて貰ふ程の事はありません、仕事だけを御生大事とやつて行くだけですよ

基隆肥料專務　**今岡德藏**

會社の事業成績を擧げるだけ、さう云ふ事業第一主義で自分個人としては何もやつて見たい事はない、

信用組合理事長　**和泉種次郎**

不景氣を脫して事業にも生活にも新しく生きたい

督府評議會員　**近江時五郎**

市業では色々考へはあるが公人としては昨年發表した市の改造（都市計畫近江私案）を本年中に是が非でも實現させたい

△△△△　きーるん・えろ斷片　△△△△

昨年は基隆の藝妓が半減して四十數名となり所謂御座敷エロのさびれ方と云つたらなかつた、それに引き換へカフエーは益々隆盛で現在女給は九十名を突破してゐやう臺北程に洗練はされてゐないが港町のサービス振りにはまた特異なものがあつてモボ、モガの夜間遊樂は物凄い、そしてその中ダブルスの女給の少いのも何んとカフエー黨にとつて有難いものではなからうか、田與港遊廓は漁業不振のあふりを喰つてやや物足りぬがそれでもサルベージボートの入港する際は樓の中から全部大戸を下す景氣さもたまには見られる、そして町には素晴らしく美人のふえた事よ！

港務官、鄕軍分會長　**梅田三良**

今迄ずーつとやつて來たが本年も引き續き習字をやりたい然し臨に際つて倫學の書を寫すのはいい精神修養になる、暇があつたら馬もやりたい

築港所長　**松本虎太**

屋外スポーツの外にもつと體育に身を入れ新しいものを作つてみたい外には何もない

市協議會員　**吉原彦三郎**

市には運動場の設置を、バス市營實現を、もつと大きく基隆自治から脫れたい、個人としては平凡に若い人とスポーツをやる

警察署長　**淀川喜代治**

あるぜ、あるぜ、唯一つ、〇〇本が讀みたいと云ふ事だぜ

基隆炭礦支配人　**河野俊雄**

金輸出再禁止で景氣が出た、然しこれはアルコール景氣だ、現內閣には閣相が三人もあるからきつと名國手ぶりを發揮するだらう、我々は引締めて公私經濟の緊縮と民力の涵養につとめるだけだね

基隆自動車專務　**山內小藤二**

僕は僕の思つてゐる事で正しいと信じた事は何んでもぽん／＼云つてしまふのだ、だから本年もうんと馬力をかけて惡口を云ふ積り

市を愛せよ……

基隆發達のために

吉富保之

我が基隆市は山の幸と海の幸と兩つながら兼ね具へてゐる、豐富なる炭田、廣大なる漁場、これに人工の極致と科學の粹を集めた港灣施設は毎ち天れである。基隆市の恵まれたる好條件を如何に利用するかに存する、山海の幸を享受する事は許されない、近代都市的施設方面より見たる基隆市は大分取殘されてゐる樣に見える、人口都市集中に對する各般の設備、時代の進運に適應すべき企畫經營は益々緊要の度を加へ切實なる要求となつてゐる、今や時局甚だ重大で國運の伸張、社會人の行詰り、國民は將に冷靜なる認識と確然たる決意とを要するの秋である、市民も茲に愛鄕一番、精神的文化の振興と經濟力の充實との努力を際にする必要を痛感する、區々たる感情に捉はれたり個々の利害に立脚して嚴正なる事物の檢討を忘れてはならない、我市の根本問題に着眼して市政の常識を涵むべきだと思ふ、曾て駐米英國大使ゼームス・ブライス氏が米國市政の振はぬ原因を指摘して一、人民が市政に不熱心なること二、利慾の念の盛んなること三、愛鄕心の缺乏なる事を擧げてゐるが以て他山の石とすべきだと思ふ

迎年雜詠

基隆　山內智溫

一

大御稜威四方に輝く日本の年の初日の影のさやけさ

二

天の下雲のふる跡たたならす尺に屆まさる今年なる哉

三

いそしめの大御言葉を心にそとりか音また此曉もなし

曉の鷄聲

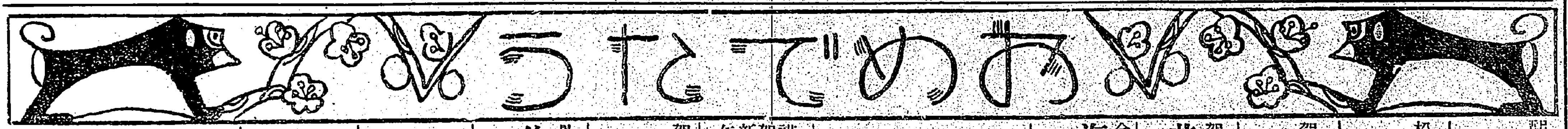
基隆要塞司令官　林業

△阿里山にて

もたいなや阿里山上の御來光

△新高山に登れる際曉の中に國の聲をききて

新高の峰照りそめて國の聲



用達　基隆市旭町三丁目　木村商店　電話三二一番

松本藥局　藥劑師　松本周訪　基隆市義重町四ノ六　電話六一七番

賀正　有限責任　基隆信用組合

賀正　基隆倶樂部

合資會社　海陸赤帽組　基隆　電話七六二番

基隆市日新町三丁目　新高新報社　印刷部　（電話五五七番）

謹賀新年　西洋御料理　自由亭　基隆市義重町一ノ三　電話三五九番

賀正　基隆停車場前　まさご　電話八五七番

疊商　佐藤豐五郎　基隆市義重町

基隆市天神町六八　印山剛順　電話一〇四五番

臺灣倉庫株式會社　中山勇次郎

基隆市義重町二丁目　（洋品商）　大倉商行　大倉一良　電話六〇七番

賀正　基隆宿屋同業組合

基隆市入船町二ノ二三　松永商店　電話二三七

內地産材　米材　松材　檜材　販賣　有田材木店　基隆市日新町二ノ一四　電話二九五番

大阪商船株式會社用達　鹿兒島菓子文旦飴本舗　丸善商會　田邊善吉　基隆市旭町三ノ六　電話七二四

基隆　笹村古竹堂　電話八三五番

長澤染物店　基隆市新町四ノ五　電話五〇八番

東京服物　ゴム靴各種　雨傘日傘　丁子屋商店　基隆市義重町二ノ一五　電話三七八番

井手商店　基隆市哨船頭町二ノ七　電話二一八番

最新流行洋品雜貨　臺丸洋品店　基隆市義重町一ノ一　店主　佐竹丹次　電話八〇五番

合資會社　田邊商店　基隆市日新町三ノ二　電話四四四番

基隆吳服組合
岸田吳服店
松井吳服店
か祢ちゑ吳服店
かね山吳服店
稲田吳服店
近江屋吳服店

賀正　ウルトカウ商會　基隆市義重町四ノ八　電話三〇〇番

紙文房具　敎育玩具商　山田商店　基隆市双葉町二　電話七九三番

本店　合資會社　山菱商會　基隆市幸町三ノ一五　電話九四二番

基隆名物　松元蒲鉾店　基隆市哨船頭町二丁目十五番地　電話四一四番

基隆名物　平戸蒲鉾店　基隆市新町三ノ六　電話三〇九番

賀正　味噌醬油　北川商店　基隆市天神町二五　電話八〇六番

賀正　岸田喫茶部　基隆市義重町二ノ一八　電話一二七番

賀正　下地寫眞館　基隆市田寮町天神橋脇　電話九六二番

基隆土木協會　基隆市日新町六ノ一　事務所　電話七四九番

小間物　化粧品　雜貨　理髮道具　商　松原商店　基隆市義重町三丁目　電話三二七番

明比實平商店　基隆市義重町六丁目一番地

內臺通運合資會社

御旅館　神戸館　基隆市寶町四丁目十六番地　館主　井町

基隆劇場株式會社　基隆港　電話二三三番

賀正　臺灣水産株式會社　基隆港　電話三一五〇番

基隆料理屋組合

基隆貸座敷組合

基隆飲食店組合

大日本製氷　基隆仲買人組合

基隆市撞球營業組合

賀正　基隆市哨船頭　富貴市場賣店一同

基隆自動車株式會社　基隆市元町一丁目　臺北出張所　臺北發著所

臺灣肥料株式會社　基隆市田寮町　基隆工場

石炭採掘販賣　三峽炭礦事務所　臺北州海山郡　礦主　林開郡

賀正　横井勝治郎商店　基隆市玉田町一丁目十番地

臺灣鰹節同業組合

基隆煙草賣捌所　基隆市日新町一丁目三番地

賀正　基隆館運送本店　基隆港　臺北支店　店主　田尻信次　臺北市北門町　電話一八八、一七九番

謹賀新年　株式會社　林兼商店基隆支店　新高漁業株式會社　基隆市日新町五丁目

基隆酒類煙草小賣人組合聯合會　基隆市日新町三丁目六番地

基隆市酒小賣人組合

基隆市煙草小賣人組合

恭賀新年

新竹郡

舊港庄役場
庄長 許三全
會計役 鄭根塗
外職員一同

紅毛庄役場
庄長 徐慶旺
助役 傅炬
會計役 張照蘭
外職員一同

湖口庄役場
庄長 傅任
助役 羅仁權
會計役 黃祖夏
外職員一同

新埔庄役場
庄長 葉心榮
助役 潘欽龍
會計役 楊鑾勝
外職員一同

關西庄役場
庄長 陳俊玖
助役 徐嶽生
會計役 羅慶增
外職員一同

六家庄役場
庄長 何金城
助役兼會計役 周標
外職員一同

香山庄役場
庄長 陳雲如
助役 蔡順來
會計役 蔣玉珪
外職員一同

竹南郡

竹南庄役場
庄長 陳羹梅
助役 陳池
會計役 方松
外職員一同

頭分庄役場
庄長 松隈梓
助役 徐欽喜
會計役 劉清珍
外職員一同

三灣庄役場
庄長 廖月華
助役 廖丕生
會計役 鍾月裕
外職員一同

南庄役場
庄長 張春華
會計役 林芹山
外職員一同

造橋庄役場
庄長 徐阿亮
助役 謝阿接
會計役 許坡仔
外職員一同

後龍庄役場
庄長 氏家壽右衛門
助役 蔡兩煥
會計役 陳愷悌
外職員一同

竹東庄
長春醫院
公醫 宋燕貽
醫學士 宋燕翔
産婆 宋陳氏次妹

新竹州社會課
陳振聲
電話一〇四番

竹東郡

竹東庄役場
庄長 彭錦球
助役 彭達琛
會計役 蕭有賜
外職員一同

芎林庄役場
庄長 劉家水
助役 林阿際
會計役 劉德炎
外職員一同

橫山庄役場
庄長 溫安禎
會計役 劉禮堂

北埔庄役場
庄長 姜瑞昌
助役 田中利七
會計役 郭松興
外職員一同

峨眉庄役場
庄長 黃煥彩
會計役 郭宗和
外職員一同

寶山庄役場
庄長 古稽堯
助役 江立筍
會計役 廬阿桶
外職員一同

苗栗郡

苗栗街役場
街長 宇佐美信吉
助役 黃運元
會計役 劉阿城
外職員一同

頭屋庄役場
庄長 鍾建英
助役兼會計役 徐海碧
外職員一同

公館庄役場
庄長 黃國盛
助役 湯甘稽
會計役 劉春
外職員一同

銅鑼庄役場
庄長 邱雲興
會計役 李金臺
外職員一同

三叉庄役場
庄長 陳永射
助役兼會計役 彭阿和
外職員一同

苑裡庄役場
庄長 陳英貫
助役 岩崎作
會計役 郭萬最
外職員一同

通霄庄役場
庄長 陳錫琛
助役兼會計役 仲吉朝莊
外職員一同

四湖庄役場
庄長 劉阿智
會計役 劉阿忠
外職員一同

新竹州協議會員 （順序不同）

清水源次郎
鄭肇基
楊碧機
松橋達生
川田武彥
篠原太一
山本新太郎
鈴木伊勢教
桑原佐一郎
鈴木壽作
羅享錦
潘成鑑
本山直枝
劉德欽
姜振驤
嚴添籌

新竹市
新竹電燈株式會社

新竹市東門外三
新竹拓殖軌道株式會社

新竹市東門外
臺灣製帽株式會社

新竹市東門外
新竹移出柑橘出荷組合

新竹驛前
合資會社 **新竹自動車商會**
電話二四五番

新竹驛前
塚廼家旅館
電話一七番

新竹市協議會員 （順序不同）

永犬鄭澤田李周許張佐蔡鄭古中連鹿
石塚　田　中　藤　內　田
安才國佐濟濱良家延今邦雲獻煥憲
三太　吉　次　朝
郎郎川郎臣郎弼修壽傑松煌泗梯治明士

新竹州米穀搬出商同業組合
新竹州米庫利用購買販賣組合

新竹州知事
猪股松之助

新竹市尹
山本正一

新竹東門外
大木俊九郎

新竹市旭町
塚本清吉

新竹市東門二〇
矢田貝寛

竹東郡守
原清治

竹南郡守
矢野謙三

新竹市
新原龍太郎

新竹市南門二二三
佐藤早馬

新竹郵便局長
小瀧建人

新竹市西門
周維金

新竹北門 電話四四番
鄭神寶

新竹市
大磯內兒科醫院 東門外（小學校前）
村田齒科醫院 南門外（驛前通り）

吳醫院 醫學士
吳遠裕
新竹市東門八一

新竹市西門
新新齒科醫院

田中旅館
旅館部 新竹市驛前 電一八番

新竹市
有限責任 **新竹信用組合**
電話二五四番

新竹驛前
運送業組合員
日東商船組
大同運輸會社
國際通運株式會社新竹支店
泰益運輸部
聯絡運輸組

新竹市東門消費市場
親興會員一同

新竹市東門 電話三五七番
玉川寫眞館

新竹
臺灣煙草賣捌人組合支部

新竹
臺灣酒賣捌人組合支部

新竹市
新竹土木建築請負業組合員一同
電話六三番

臺灣日日新報及廣告取次店
新竹
沼野作彌
電話五一八番

新竹市永田
有限責任
樹林頭信用組合
電話一三二番

新竹市西門
山中□〇印刷所
電話二〇六番

新竹驛前
昭和ホテル
電話三二六番

新竹驛前通り
新竹ホテル

和[illegible]商會

電氣機具類販賣
新竹市東門二三六
朱總成商店

米 薪炭 コークス
新竹市東門一三〇
福春米店
電話一〇二番

新竹市東門三八
明世鐵工所
劉炎燦
電話四六三番

新竹市南門
明石屋菓子店
電話一五八番

新竹市東門二九六
谷口貞次郎

新竹市東門市場內
清潭食料品店
魏清潭
電話三六三番

新竹市西門
貨物運送 タクシー
茶茂自動車部
電話三四七番

苗栗郡苗栗街
川瀨正文社
川瀨政吉

竹東十八兒間軌道
竹東軌道株式組合
代表者 彭[illegible]球

新竹市東門外
カフェーミドリ
電話五二三番

龍潭庄長 **鍾會宏**
助役 **黃貴源**
會計役 **黃道中**

桃園街協議會員
荒卷慶三
宅間源五郎
松本豐
松井省作

新竹州苗栗街維祥字內麻
新竹製糖株式會社

新竹州苗栗街
臺灣軌道株式會社

新竹州食堂會員一同

新竹料理屋組合

鮮月亭
朝鮮亭
藤園
カフェーホーライ
銀猫
萱園莊
滿樂
三好野
八千代
ひさご
湖畔
榮久

火土商店
自轉車 電話五三七番

新竹州新竹市北門三八番地
新竹印刷合名會社
電話四五四番

新竹座
有本兼治
電話一四三番

新竹驛前
新福春雜貨部
電話二四一〇番

新竹市東門
小出吳服店
電話一〇五番

桃園
樋口憲

桃園
遠藤彥太

喪中缺禮
宮川法船
桃園

桃園
衞藤壽吉

中壢醫院 電話五六番
內科專門 小兒科院長 **吳鴻森**
眼科專門 外科副院長 **吳鴻麟**

煥生醫院
院長 傅煥生

中壢街
別役齒科醫院
院長 別役義文

楊梅驛前
慈惠醫院
范姜新熙

楊梅街
仁安醫院
院長 張福隆

中壢街長 **宋榮華**
助役 黃阿何
會計役 黃鏡堂
外職員一同

新屋庄長 **范姜羅**
助役 張杏
會計役 徐珍相
外職員一同

平鎮庄長 **湯鼎佑**
助役 鄧盛求
會計役 葉步番
外職員一同

楊梅庄長 **高橋周平**
助役 劉金標
會計役 黃阿枝
外職員一同

觀音庄長 **鄉田彥次郎**
助役兼會計役 周鏡鏞
外職員一同

食鹽元賣捌人
從七位 **竹內龜七**
楊梅庄

平鎮驛前
合源自動車株式
專務 王溪圳

中壢街
東榮自動車商會
代表者 劉少福

中壢
渡邊與一

伯公岡驛前
謝春禧

平鎮驛前
黃劉欽淸

御料理
中壢街
珍香樓
電話三八番

日用雜貨
中壢街
濟春商店
電話二四番

米穀肥料
中壢街
曾安祥
電話五番

北勢陂商行出張員
正米取引米穀仲介
洪春寶
中壢街電話三〇番

謹賀新年
大溪街協議會員
加藤仁作
吳煥文
傅祖鑑
呂傳珍
簡清石
曾文溪
李傳庚
黃宗寬
蔡昂嬰
林源通
周江海
官木
林石嚴
趙德霖
黃進發
黃金來
本田達

謹賀新年
壬申元旦
大溪街
街長 **江健臣**
助役 **本田達**
會計役 **徐阿南**
大溪街役場職員一同

謹賀新年
壬申元旦
大溪街
中田正明

謹賀新年
合資會社 **振昌商行**
代表社員 **呂傳棋**

謹賀新年
壬申元旦
酒類賣捌人
簡水慶

大溪街
秋葉源之助

大溪街
前田千里

中壢
瀨戶山兼斌

中壢郡
庶務課
警察課
有志

中壢街協議會員

（イロハ順）

陳林李奥岡戴高前吳邱
村本　添田
學貴添媽俊　鴻石
賢文大
清邦貴進一靜一誦曆作森養

皮骨買賣營業
邱石養

新竹州米穀利用購買組合專務理事
范姜萍

桃園街役場
職員一同

大園庄役場
職員一同

八塊庄役場
職員一同

蘆竹庄役場
職員一同

龜山庄役場
職員一同

大坡信用購買販賣**組合**

大崙信用組合

有限責任
中壢信用組合
電話四九番

楊梅信用組合

安平鎮信用組合

石觀音信用組合

新屋自動車公司

中壢郡下
煙草小賣組合
組合長 江阿松

中壢郡下
酒類小賣組合
組合長 [illegible]

新竹州中壢街
日本拓殖株式會社
電話二番

有限責任
桃園信用組合

同
大園信用購買販賣利用**組合**

同
南崁信用組合

同
竹圍信用組合

同
龜山信用組合

短歌

安成二郎選

一等　臺北　妙子

相思樹の際より見ゆる山々に茜さしそめ初日はのぼる

二等　新竹　郵嶺秋

滿洲のはらからを思へばつつましく年祝ぐ酒は汲むべかりけり

三等　臺北　八木たか子

いとけなき吾がはらからの打集ひ雜煮祝ひしむかしおもほゆ

同　臺北　蘇　磐

カニランの花赤々と元日の我が小庭へに咲きてたのしも

佳作

やうやくに風靜まりて鷄の啼きかはしつつ年明けにけり

十七の年を迎へし淋しさのかげにほのか淋しさのあり

くもりなきガラス戶越に初日影うららにさして水仙の咲く

元日の山の小驛の汽車にきく爆竹の音の祝しさ

旅館に病みて久しき故鄕に歸るすべなく年立ちにけり

埋木の梢に今朝も靜かなる初日影さす

明山の椎松林さみどりに初春の陽に光りかがよふ

初鷄のこゑきこえつつ明けそめし新春のしつけ取りにけるかも

元朝の初日おろがむ海に來て陽子の木かげにたたずみて居り

俳句

村上鬼城選

天　樹林　坂本耕村

初東風に戎克船の高帆かな

地　臺北　宮尾番岳

初鷄や新高山の麓むら

人　高雄　小林ふみ女

山宿の五右衛門風呂の初湯かな

佳作

大阪　菊澤草笛
初雛の一聲長く引きにけり

大阪　北牧つぎ野
初雛の高張る聲や天淸朗

花蓮港　松尾靜花
初風呂やみな頼もしき男の子

大阪　蒲地未次
大廟の杉の木の間や初明り

臺東　上村吐月
ちぎれ巖一つ一つに初日哉

虎尾　笠岡荒盧
初明りつぎ〳〵に鳴く二羽の鷄

臺南　村田一犁
掃初めをすまして[illegible]を驅しけり

高雄　頴川秀民
甘蔗の花のあけぼの寒し初明り

臺南　靜一水
甘蔗咲いてはてもなき野や初霞

臺北　宮尾番岳
靜けさやかけ鳴き渡る初あした

選外佳作

初鷄や舘の中なる蕃社部落　高雄　野田八[illegible]

港口の荷積盛や羽子日和　大阪　三宅源治

初風や遊の港を船出づる　大阪　岩井敏雄

つくらひもせずに想居や里の春

六甲の初東雲や鷄の聲　鳳山郡　大森雨二

初鷄遠ほの〳〵と明けかかり　北斗　佐藤一帆

初夜權縁の高枝に二三花　鳳山　大森吾子

初鷄の聲遠近に空明け　[illegible]林　坂本修一

校門の夜警や初日影

新市の大王廟子や初日の出

初鷄や新竹の中の一軒家　臺南　[illegible]

湖の上に松の影浮く初日哉　臺北　宮尾番岳

曉や初鷄の聲次ぎ〳〵に　大阪　山田[illegible]

初鷄や粉雪ちらつくわら莊　花蓮港　追巴村

そこここに鳴くくだかけや初昔　彰化　原口蝶水

初鷄や高瀨の中の一つ家　新竹　四本[illegible]

初鷄やほのぼの明くる稻野村

初鷄やほのくらかりの御手洗　臺北　李玉[illegible]

初鷄や遠音微かに聞えけり

獨り居て初鷄の聲何やら寂し　高雄　村田一犁

安平や運河を下る初荷船

初鷄の鳴き渡る空や木島合　大阪　里見年人

初鷄や鳥居の下の大觀家　大阪　木村京鳳

初鷄や鋭の神前に二〳〵と　大阪　高田夏竹

初空や鳥高らかに鳴き次ぎて　鳳山　大谷雨二

初風やマストにかかる出帆旗　花蓮港　追巴村

山裾にかたまる家や初日　高雄　夏館

初鷄や國旗の松の小　彰化　原口蝶水

初詣木の間に光る一つ星　新竹　木村雨香

羽子やふみちらしたる門の雪　大阪　坂井二見

市中や朝日に映る初茜　鳳山　大森雨二

神木の空ほのほの初明り　新竹　木村雨香

初鷄に友と約して歸りけり　大阪　竹谷菊籬

初風呂の窓邊に梅の綻びて　大阪　今西蒼村

元日や打ち鳴りたる風一つ　臺北　露帶

とまり木に高啼く鷄や初日影

初空へひろがり上り船烟　[illegible]

降りたる牛見え出る初荷哉　虎尾　笠岡荒盧

爆竹の音さます台灣の賀の枯れ

門松や爆竹からお濡竹林　竹山　[illegible]水

初鷄や鳴風すて溫小舟　臺南　[illegible]水

屏風の繪扇子の影に祝しけり　臺北　宮尾番岳

拜殿の門あかるさや鷄の聲　臺北　坪井翠葉

おのがのかたまりて行く年賀かな　臺北　[illegible]

元日や手をつかへて人師道　臺中　川崎光男

新高の雪の白さや初光り　香川　山下松[illegible]

初鷄や山の麓の草家より　臺北　須藤浩

七種や片側町の夕霞し

吹くみかる前の子風の嵐かな　臺北　加藤小錠

初日や金屏輝く光るあり　臺中　[illegible]

湖に映る椰子の林や初日の出　臺北　村上猪太郎

初東風にひらめく門の國旗哉　大阪　里見天時

初鷄や靜かに明くる初御空　臺北　山本山泉

檣に松をたてたる海の春　臺北　仮[illegible]

初風や水牛浮ぶ水の空　臺南　[illegible]

頂上を群れ越す鷄や初明り　臺北　鈴木鵜風

眞白な嵐のあかれる宮方かな　高雄　新田一[illegible]

大屯はからりと晴れて風日和

肝煎の遊べる陸や初日の出

初鷄や山ふところの宿山館

神々の翠ひ出で給ふ初日かな

御手洗に溢るる水や初日の出

肥鳥の石に尾をふる初日かな　高雄　村田一犁

初風や彩湖から來し鷄便り

小さなる根ひきの松や門飾　臺北　黄[illegible]

松立てて住める小家や月明り　斗六　渋谷[illegible]

初東風や山下にある漁師小屋　基隆　田邊敬次

元日や碇泊船の霧笛　大阪　山元鼓水

淡水の潮のしぶきや初日の出　大阪　新井永吾

初鷄や社頭の松の霧あかり　大阪　下田月城

元旦の松に來てゐる小鳥かな　大阪　元藤していき

宇治橋を初鷄きいて渡りけり　臺北　坂本耕村

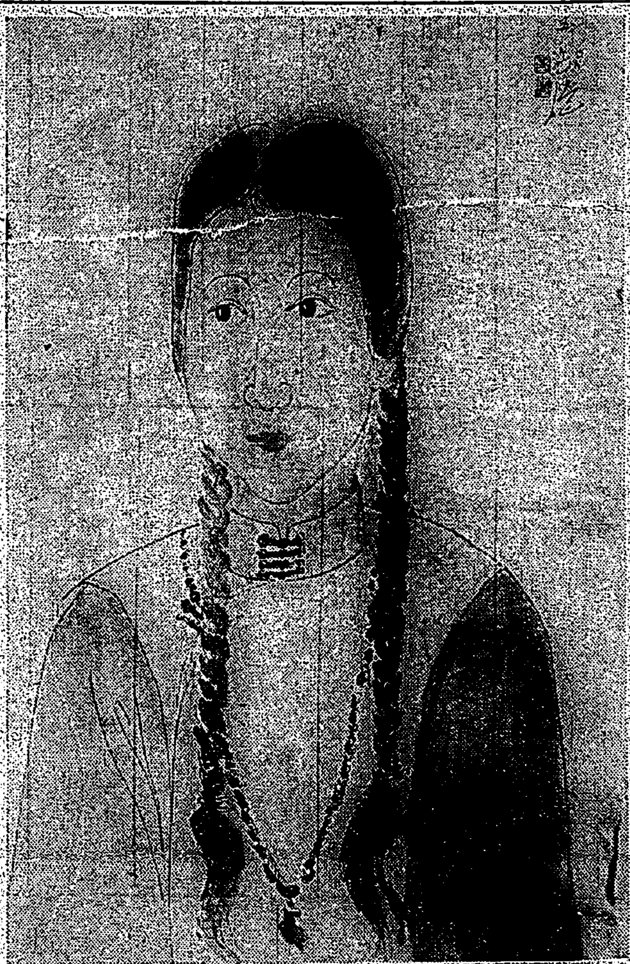
潮かぶる沖の用材や初日影　高雄　小林ふみ女

門前の田明りに鳴し初鷄

くらがりに初風呂の火の走りけり　臺北　大江白洋

曉天にまたたく星やはつ詣

初鷄やほの〳〵白き浪明り


春の乙女　臺北　郭雪湖氏筆

俚謡

額田如狂選

題「曉鷄聲」「雜感」

天位　嘉義市　工藤突面坊

初日染えして一と際目立つ、廣い滿洲に日の御旗

地位　布袋　中島紅村

勝つた便りを隣に分けて、國の榮を祝ふ春

人位　臺北市　安良城あの字

昇る光は外國までも、照す日本の初日の出

五客

國に捧げた悴の無事か、窓に舞ひ込む初便り　[illegible]　竹葉

去年の初日は筑波で見たが、今年や滿洲の野で拜む　臺北　山崎可升

雪の滿洲も初日の丸の、色に染つて明けた春　臺北　吉田貞琴

土藏自慢な地主の面へ、塗つてやりたい筆始め　臺中　堀部松風

貧棒すれども子を持つ果報、圍爐裏かこんで初笑ひ　[illegible]　菅原拓山

十客

眠る平和の夢呼び起す、鷄の初聲

四百餘州の迷ひの夢を、さまさせ一聲

明ける世界に一番鷄の、聲は東の日本から

春を封切る一番鷄に、睡眠め［illegible］

鷄も御國の聲朗かに

鷄の聲より一足先に、春を汲み出す

川柳

大屯坊選

一等　[illegible]里　竹葉

聯盟に「認識不足」少し利き

二等　臺北　下出敏坊

退官と決めて角帶しめてみる

同　臺北　宮尾番岳

列國を乘せたつもりで支那が乘り

三等　臺北　金之助

不景氣かさるの年だと緣喜言ひ

佳作

鷄鳴て神東の空は明け初める　布袋　中島紅村

退職と決り貸金にまばらなり　臺北　西口尖頭

國際に對へて不拂氣サルの年

ルンペンが指をくはへる賄賂品　同　[illegible]

支那手品ちよと聯盟の眼を掠め　同　宮尾番岳

先生が昨夜來たよとカフエーの子　同　我柴多

今日の映畫 明日の映畫

時代劇、現代劇を合して　新映畫を作り出せ

三二年は日本トーキー進出

森　岩雄

（一）

映畫形態がサイレント形式を是とするか、トーキイ形式を是とするか、その論議は少くとも既に解決されて了つた、今になつて猶それを口にする人はリツプ、ヴアン、ウインクルか、又は過去を憧がれる映畫趣味者かどちらかである。映畫といへば、常識の上からもトーキー形式を意味する時代に成りつつある。例へばアメリカの映畫製作界を見るのに一九三一年より三二年度に亙る製作豫定を調べると、全部の作品が悉くトーキーとして製作されることを知る。一九三〇年より三一年に至る豫定には、それでもまだ、トーキーとして作つたものからサイレント版を作る方法が採用されてゐたが、その制度すら廢されて了つたのである。又、アメリカの映畫常設館數二萬二千の内トーキーの設備を有せざる館は僅かに千五百しかない狀態である。從つてアメリカ映畫が全部トーキー化されるのも決して不自然な企てではない、極めて合理的なことである。一九二六年八月、ヴイタフオン式トーキーの實用化以來、アメリカは五ケ年を以て既にサイレントよりトーキーの切替へを完全に行ひ得た譯なのである。

勿論かかる遙かなる歴程を行ひ得たのはアメリカ映畫企業が他國のそれに比して、充分に實力を持つてゐたからであるが、他國のトーキー界も年々月々目ざましい進歩を見せてゐる。歐洲ではアメリカのトーキー機械の二大勢力たるウエスタン、エレクトリック及R、C、Aフオトフオンに對抗すべくクラングフイルム、トビスが三社協定を行ひ特許權その他の點につき妥協を行つて以來、既に盛大に赴いた。殊にドイツ映畫界は最も

活躍の程度

に目ざましいものがある、ウーフア會社の如きは一九三一年度作品は悉くトーキー化を行ふことを發表し、その他の會社もほぼこの歩調を歩んでゐるものと見て差し支へない、英吉利、佛蘭西も歩調に於いて自國トーキーの製作は年を追うて盛んとなり、大部分の作品はトーキー化されてゐる。ソヴエートロシアに於ては、米國R、C、A式及び獨トビス式に相似した方法による二種類の國產トーキー裝置が完成され、將來は全部トーキー化することを前提として、既に試作品數種が發表され一九三二年度には相當の數のトーキー作品が發表されることに豫定されてゐる。

この點から考へると、誠に殘念ながら日本映畫のトーキー化は甚だ幼稚であり、又消極的であると云ふより他はない、サイレント映畫がいくらその表現方法を進めてみても結局視覺に訴へるより外に手段はない。それに聽覺を通して效果を與へることが出來るやうになつたのであるから、トーキーが映畫形態の進歩として當然であることは斷るまでもない。結局、その國の映畫がいつトーキー化されるに至るかが問題となるのだが、それは一つにその國の映畫企業の實力によるのだといふことになる。その點日本は劣等に近いのだから情ない。

既にソヴエートロシアの映畫人は音と畫の對位法によるトーキー製作の根本理論を發表してゐるし、アメリカの優秀なるトーキー作家は從來の、音と畫とが別々に融合し、ある時は互にその效果を相殺してゐた。缺點を淸算し音と畫よりも綜合的な綜合效果を音だけでも得られず、畫だけでも得られないトーキー獨特の美を表現することに成功してゐる位である。それに比較して考へてみると日本映畫の前途は甚だ寂しい限りである。

（二）

映畫の形態の上から、今日の映畫と明日の映畫との間にトーキーといふものを中心に大きな變化が生じて來たことは右の如くである。次に取り上げる變化の問題は、映畫の題材の變化に就いてである。映畫は生き物である。善かれ、惡しかれ、現代のジャーナリズムに君臨する大勢力である。從つて映畫は常に世相を反映する。既に世相を反映するばかりでなく、時には鋭く批判し又時には惡く追從する。ここに映畫の恐るべき魔力が祕められてゐる。映畫が使ひやうによつて恐ろしく切れる所以があるのだ。

例へば世界を席捲してゐる「失業問題」がある。これをアメリカ風の映畫は主人公が失業する生活に困る。だがすばらしい發明をやるか、或は百萬長者の

令嬢と戀に

落ちることによつて失業問題が直に解決され、失業前よりブチブル的な所を見せる。英吉利では劍客を出で各所を仕事を求めて歩くが仕事を得ず、止むなく夕、家に戻るまでを描いた映畫を公開禁止の厄に遭はせてゐる。明日の映畫は失業問題に對して、かやうな態度を採るべきではないと思ふ。

「家庭問題」の變化に對する問題もさうである。妥協すべきでない。寧ろ一層徹底した所を取扱ひ、これに反對した所を取扱ひ、勞働者側に好意ある解決を見せた映畫は、いかなる場合に於ても上映することを許されぬものと見てよい。それだけに權力を行使する上に映畫の強烈な表現能力は日一日と識者の間に重大視されてゐる。明日の映畫は殊にその色彩を強めて行くであらう。

「男女問題」及び「性問題」に就いても映畫は愈々複雜になることと思ふ。イプセンの「人形の家」が一つの使命を婦人問題に果して以來、相當の年月が經過してゐるが、映畫の大衆性によつて女性の男性から奴隷扱ひにされることを抗議する作品が現はれることはまだ少くはない現狀にある。性道德に關しては、貞操觀念の變化、不義に對する新解釋、私生兒制度の問題等現代社會に主なるトピックを提出してゐるものが澤山にある。今日の映畫がこれらの問題を扱つてゐる如く、技術的に止らず明日の映畫は充分に徹底した批判をこれらに與へるものになつて欲しいと思ふ。殺人の子の母となり、家政に追はれて疲れた婦人が、夫に不滿を見出して他の女に走つた夫、その問題を公開劇場を以て解決しやうとした問題小說を映畫化した「[illegible]」が、[illegible]なる家庭人情悲劇に終る如きは寧ろ現代の悲劇だと私には思はれる。

ブルジョアジーの苦悶の現はれの一つ「犯罪劇」に就いても、卑俗な英雄主義をつけ加へた如き映畫ばかりの羅列でなく、もつと突き込んだ深刻なり諷刺なりを見せる映畫が欲しいと思ふ。

更に「ノンセンス」映畫と稱せられる作品も、どうにもならないわめいても仕樣がないぢやないか、それよりお酒を飲んで女とふざけて、その日を送らうぢやないかといつた、虛無觀から生れるノンセンス映畫を作るべきか、朗かな、肯定的な、諷刺としての元氣を起させるやうなノンセンス映畫を作るべきか、その邊にも明日の映畫には充分なる檢討が行はれ、その後に於て製作さるべきだと考へる。

（三）

最後に我々は、我々にとつて最も重要な意味をもつ日本映畫の問題を二三取り上げてみたい。

先づ一番に不自然な感じを常に抱かせる現代劇と時代劇との區別であるこれは勿論日本演劇の傳統をそのまま映畫が踏襲してゐることを示すもので、その據りどころは必ずしも突飛ではないのであるが、新しい表現形式たる映畫がいつまでも日本演劇の便宜上の區分を守つてゐなければならないといふのは滑稽なる時代錯誤だと思ふ。過渡期としては、時代劇も極めて大まかなものより出來ない作家もあらうし、寧ろさうした人に現代物をやられては迷惑千萬な者が多いこともあらう、その他監督に脚本にこれに類した現象は種々と伴ふであらうが、根本目的を時代劇と現代劇の差別を撤廢し、新しい解釋と演出によつて、古い時代も現代も同樣に取扱ふことに向つて進めなければならないと思ふ。歌舞伎の亡靈と、新派の怨靈から映畫は先づ

解放されなければ

ならない。日活も松竹も時代劇、現代劇を解放し、一つのものに合流させ、そこから自由に新しい時代の映畫を作るやうにならねばならぬと思ふ。撮影所は決して日本歷史の研究所でも博物館でもないのである。

第二は劍劇映畫の衰退と、それに代るべきものの出現である。劍劇映畫は震災後澤田正二郎によつて代表される舞臺上の劍劇が映畫に移入され、すばらしい流行を見た一形式であるが、理論の上から劍劇映畫は二三年以前に全く行きつまり、僅かに惰性で存在してゐる有樣である。講談物の英雄俠客の映畫化が專ら行はれてゐた時代を劍劇映畫が打破したことには充分理由があるやうに劍劇映畫も今となつては何物かに打破されなければならない狀勢に立ち至つてゐる。この變化に對しても時代劇と現代劇は同一組織に置き現代劇風に時代劇を扱ひ、新しい時代物が、我々の生活から共感され得る表現を持つことになることが必要になつて來るのではないかと私は考へる。映畫の表現するものは常に新しい精神でなければならないそれを表現するのに便宜上昔の時代を借りて來たり、現代を借りて來るのである。明日の日本映畫はこの區別を充分に攻究する必要があると思ふ。

第三は日本映畫の一九三二年度に於ては、トーキー化で即ちマヤカシ的トーキーでなく、映畫と充分に實用化され得た土橋式システムによるマダムと女房が發表され、將來の日本トーキーの技術がこれ以上のものでなければ發表し得ぬものであるといふ一線の水準を示したのは偉大な貢獻であつた。併しながら日本トーキー作品としては僅かに右一作品だけを舉げるに止つたことは悲しむの限りである。外國に於てトーキーが盛大であり、日本だけが特殊扱ひにされてゐるといふ無關心的な心持からでなく、日本映畫の技術的進步の立場から多く望む千萬である。

慾を云へば國產トーキーの發達は望ましく、外國會社との提携は日本映畫を滅亡させる作用より一歩も出でず、企業家の立場からは折角の深刻な不況の爲め手も足も出ないのである。既成映畫は出來得ることならサイレントで出來るだけ續けて行きたいのである。そこに積極と消極の不況對策が生れる譯で、トーキーにすれば映畫界に活氣が出ると思つて新奇の仕事に着手してゐる。向ふも出て來たのである。かくの如き新しきものと古きものとの爭ひは、恐らく一九三二年度の映畫界に白熱化するであらうし、從つて日本トーキーも、相當の作品が生れ、映畫界のみは他の不況に比べて幾分の活氣を呈するであらうと豫測される。

選後の感

[illegible]

追加

[illegible]

[illegible]

文日
島献被賞字、如か勝元辰、九重慶天色、長事萬年歡

鹽水港製糖株式會社
溪州製糖所長
黑田秀博

烏日庄長
鄭以春

[illegible]興庄長
潘邦治

東勢郡東勢庄
廖阿霖

東勢庄東勢
印刷と文具
珍文堂
電話二二番

臺中市大正町三丁目
華盛美髮館
王火盛

臺中市橘町四丁目
内外果實青物輸出入 海陸物産雑貨 委託問屋
同成商會
電話八三番

臺中西屯間 乘合 貸切部
瑞敏自動車商會
營業者 張爾敏
電話五三三番

臺中豐原間乘合自動車
合資會社
張匀、蘇賜、林金能
豐中自動車商會 張清泉

裕豐商行
本店（臺中綠川町五ノ四、五 電話六一八番、九一六番）
工場（臺中川端町 電話六三七番）
支店（豐原街 電話二八三番）

臺中市榮町三丁目
川魚料理 東京そば うどん一式
よあけ
潮川定次
電話七八番

東京火災保險株式會社
臺中代理店

臺中市寶町三丁目
小野齒科醫院

臺中市榮町一丁目
竹内齒科醫院
電話一一八番

臺中市老松町一丁目
中華御料理
長春園
電話八四五番

臺中市有明町一丁目
菓子原料 乾物 缶詰 卸商
山叒商店
電話七三四番

臺中市州廳前
梅春園
電話五二六番

臺中市錦町二丁目
乘合自動車 各種自動車ボデー製造 牛車及附屬品 各種器具製作
双合成製作工場
李俊

臺中市頂橋子頭五九七
振香鋳造工場

臺中市新富町四丁目
何寫眞館
主人 何文卿
電話四三九番

臺中市寶町三丁目
青果專門
顏酒果物店
電話八〇九番

東勢郵便局
寺師友二

東勢郡東勢庄
高桑貞

竹山郡守
朝倉哲雄

竹山庄長
林朝槐

竹山郡竹山
庄協議會員
眞鍋穰

竹山郡鹿谷庄
鹿谷庄長
林邦光

竹山郡竹山
州協議會員
國司道輔

竹山郡竹山
庄協議會員
加田喜八郎

竹山郡竹山庄大坑
庄協議會員
辜柳金

竹山郡
郵便局長
坂崎誠一

竹山郡竹山
旅館
新盛館
山口安平 電話一七番

竹山郡竹山
石油 雑貨 卸商
周豐成商行
周朝安
電話二五番

竹山理髮營業組合
組合長 劉梅桂
副組合長 蘇游龍

臺中市錦町三丁目
長野汽船株式會社臺中取扱所
㊀ **臺灣通運合資會社**
電話三〇七番 九六四番

臺中市櫻町三丁目
中南運輸株式會社
電話三六五番

臺中市錦町四丁目
臺中州米穀商同業組合
中部米穀取引改善協會
電話四七五 四七六番

磯貝七平鋳造所
磯野式深耕犁發送部
臺中市錦町三丁目
電話三二三番

臺中市
柳屋食堂

臺中市櫻町三丁目
東京帝國大學
演習林事務所

臺中州自動車協會

臺中市橘町
朝日自動車合資會社
電話八四七番

臺中市壽町三丁目
常盤木ホテル
電話三八〇番

臺中市榮町一ノ一九
臺灣地方自治聯盟本部

有限責任
臺中協賛信用組合

有限責任
臺中信用組合

臺中消防組

喪中ニ付年賀缺禮仕候
臺中
林瑞騰

大屯郡大平庄
株式合資會社
大寶農林部臺灣出張所
電話臺中二二四番

烏日製糖所
秦米造

彰化街
中津德治

北港街
山之城寬平

東勢
高橋齒科醫院
齒科醫 高橋波

東勢庄東勢
日用雑貨 食料品 臺日取次所
一心商店
古山四方吉
電話二三番

東勢郡石岡
乘合 貨物 貸切
近藤自動車部
電話東勢六番
近藤良[illegible]

臺中市錦町三丁目
活版石版印刷 和洋紙文房具 諸帳簿及製本
商標 Ⓑ
尚文堂本店
電話一一〇五番

臺中市大正町三丁目
各種紙函製造
宮本紙函店

臺中市寶町二丁目
東京女子齒科學士
折田キ子
内務省免許
佐藤フイチ

臺中市錦町
平田商店
電話三〇一番

臺中市錦町二丁目
紙 文房具 科學器械 活版印刷
森商店
電話三一一番

臺中市錦町二丁目
岡田商店
電話七二五 六二三番

臺中市錦町三丁目
武岡洋服店
電話三三七番

臺中市寶町二丁目
ナカオカ寫眞館
電話四六〇番

臺中市寶町二丁目
平戸食料品店
電話七二六番

臺中市寶町二丁目
自轉車 附屬品
福井治雄臺中支店
電話八四〇番

臺中市大正町二丁目
奥田呉服店
電話九四六番

臺中市
馬場商店
電話一三三 二七五番

臺中市寶町二丁目
東京内田靴鞄店
臺灣出張所
電話二〇六番

臺中市榮町二丁目
前田八十松

臺中市千歲町一丁目
辯護士 **渡部彌億**

臺中市寶町三丁目
辯護士 **北村寅吉**
電話二五二番

臺中市
渡木利平

臺中市
川島清

臺中貸座敷組合一同

臺中市州廳前
御旅館 **千代乃家本店**
電話五〇二番 二七二番

彰化町
御旅館 **千代乃家支店**
電話二一〇番

臺中材木商組合

臺中市初音町三丁目 **東勝材木合商** 電話一二四番
臺中市初音町四丁目 **東興材木行商** 電話七四一番
臺中市錦町四丁目 **松山商行** 電話一〇〇九番
臺中市橘町一丁目 **協和商行** 電話七〇八番
臺中市新富町四丁目 株式會社 **三振商行** 電話三三九番
臺中市新富町三丁目 **大森林木行商** 電話六二九番

臺中市醫會

東周醫院
體仁醫院
允中醫院
王内科醫院
杏林堂醫院
張眼科醫院
博愛醫院
回春醫院
清信醫院

臺灣煙草賣捌人組合
臺中支部

二瓶源五
李昌期
奥脇由治郎
川上親善
長谷八太郎
長澤圓三郎
山口德治
増澤重之
藤田新吾
丁瑞彬
蔡蓮舫
佐藤源平
芝原太次郎

水裡坑驛前
日月潭自動車商會

	午前	午前	午前	午後	午後
水裡坑發	五、四〇	八、二五	一一、二〇	一、五五	四、一〇
魚池發	五、四〇	七、三〇	一〇、一〇	一、二〇	四、一〇

魚池、埔里間の接續自動車あり

臺中二一會

北斗信用組合
組合長 陳章琪

臺灣青果同業組合聯合會
本部 臺中州廳内（電話一二四〇番）
運輸部 臺中市綠川町（電話八三四番 九六八番）
青果時報社 州廳聯合會本部内

臺中州大甲郡沙鹿
沙轆製糖株式會社

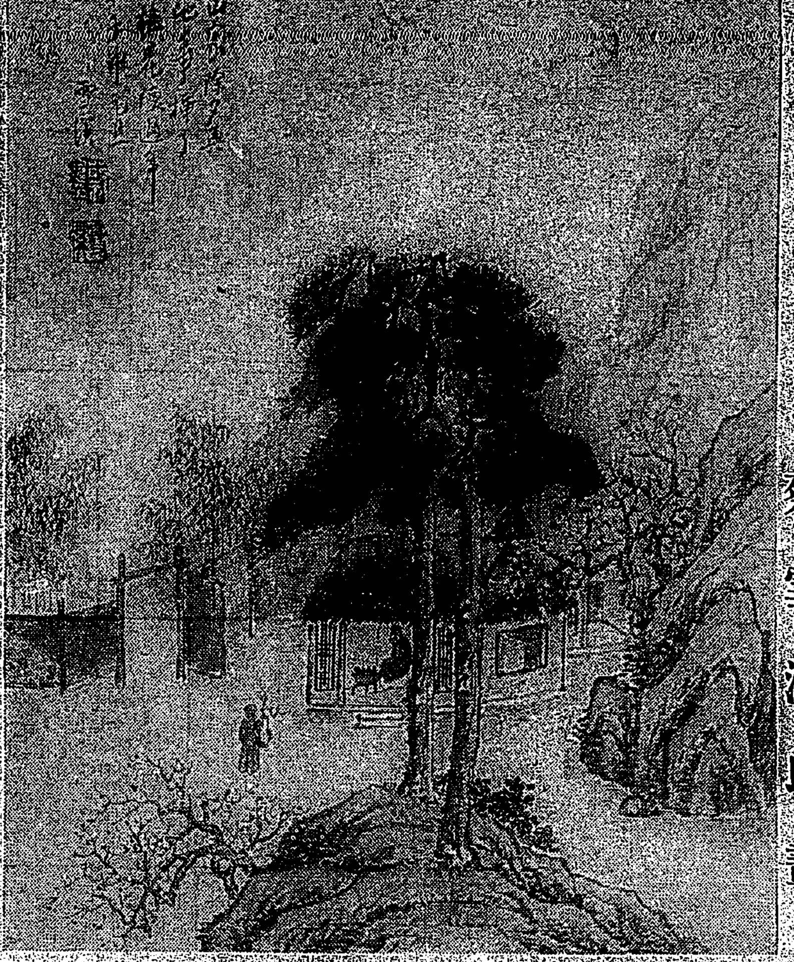
臺中州食堂會員一同

臺中市柳町二丁目四番地
臺中州青果同業組合

臺中市
臺灣青果株式會社

本社 臺中市高砂町十八番地
TS
帝國製糖株式會社
出張所
東京市麹町區丸ノ内有樂館
大阪市東區瓦町山口ビルデイング
北海道小樽市色内町拓銀ビルデイング

臺北　蔡雪溪氏畫



國際聯盟武利安氏
及中華施代表閱歷

日華兩國。不幸以滿蒙事件之起。反爲兄弟鬩墻之舉。幸努及國際聯盟理事會。居間斡旋。此際理事長武利安氏。及中華代表施肇基氏之活動。曾受全世界之所注視。茲介紹兩氏閱歷如左。

▲武利安氏　過去十七年。法國內閣之更迭。凡二十次。此間武氏之身居內閣首班者。凡十四回又更考諸過去二十六年間武氏之入閣爲大臣者。凡二十二回。眞當今法蘭西政界。有舍不得武氏爲大臣之概。周知將相無種。有不得閥閱之貴。而始能致身於青雲者也。蓋武氏生於寒素之家。學生時代非有朝斯夕斯。鐵硯磨穿之精勤。人或譏以荒嬉者不顧。其後出爲律師。長於辯論。自是投身政界。口舌之雄。全爲世所共認論理明。見機敏。其演說不拘草稿。而能暢所欲言此雖熟練。抑亦天授。是故大政治家克雷蘇氏有云作加諾氏無所不知。其實無所知。武利安氏無所知。其實無所不知。非必阿其所好。在今日我國朝野。動輒以武氏之對於滿洲事件。認識不足。武氏非必認識不足。法之利害關係。與我國不同耳彼對於自國重大利害問題何嘗無有遠策。當夫歐洲戰後。在巴里開和議之際聞會與英首相路易我兒氏同行散步。其處有婦人銅像。像爲唱示一種欲回收阿爾索斯。洛連兩州而立者。路易氏因顧謂武氏。爾國。過於貪求。必欲索還兩州耶。恐此後德人。亦將建立此種銅像。武氏即答云。若然則貴國殖民地保無立像之乘耶。其機敏如此。何嘗有認識不足之虞。故日日法兩國。對於問題。利害關係不同耳。又武氏初爲大臣。有往賀之者。武氏却云。爲個人榮遷任大臣而賀。則其人必不能任爲大臣。彼蓋依處立論。武氏爲人。儉約於一身出處。所繫國家大恣旅。嘗著六七年前所著之服。雖身任聯盟理事長聯盟爲物。固非強有力者武氏知之。故必欲使美代表立會。始終崇其後援。然美國亦自重。不欲深入以傷及彼此國民之自尊心由是觀之。武氏之深謀遠慮。能得有如去十一月之滿場可決之案。得保存聯盟體面。殆世界的之魯連歟

▲施肇基氏　字植之浙江吳興人。父施則敬氏爲清末之候補道。曾以慈善家。著聲於海上者也。氏年少時。卽風度翩翩。衣裳楚楚。嘗學於美利堅其時少川唐紹儀氏。一見目爲大器。妻以兄女。爰善遇之。先後任英美公使館隨員。後以道員。指省直隸。既而唐紹儀氏。爲奉天巡撫。一日從容爲總督東海徐世昌氏言。肇基精通西文。練達時務。世昌氏。我疏調入道。薦授濱江關道。內移外務部右參議。歷階丞右丞。北入民國。唐紹儀氏更引榮其氏。任交通總長。此眞似史稱顏淵雖爲行。附驥尾而名益彰。施之於唐爲姻婭。其事好類日本芳澤外相於犬養首相爲甥舅。世不少間閥。然非其器。亦不能致身於青雲之上。先是施氏之爲交通總長。某議士。謂其年少不諳世事。殊否認。此則所見與唐氏大異。既履任。部員鄉某系牙爪。遇事則抗。施氏不能拱。至與唐紹儀氏。同時去職。已而奉使英吉利。垂十數載。不辱使命。去年滿洲事變。聯盟會議。起而折衝執言。施氏爲全權代表。侃々而談。民國政府。更寵以首席部長。克乘時展驥。中國自對英鴉片事件以還。國中積弱。垂近百載。民國而後。軍閥政客。傾仄險詖。相與搾取國民膏血地盤即兄弟之鬩墻。同胞爲刀俎之魚肉。內無平和統一安民除匪之能力。何堪一戰。故舍外交柔制而外。更無別法。顧此三十有年來。汪大燮。梁敦彥孫寶琦諸氏。相繼淪沒。胡惟德氏老矣。陸徵祥氏。又割斷塵緣。去而爲僧。伍廷芳氏。雖有可稱。惜其人不在世。唐紹儀氏久未執政。時與粵內之陳曹汝霖。陸宗輿氏。幾爲國人所唾棄。汪榮寶氏前年。陳籙氏默々無聞。其於最近嶄然露頭角者。厥惟顏惠慶。顧維鈞。王正廷黃郛。伍朝樞諸氏。此間顧王之選。與猶落。然顧氏學生團。且聲明欲打倒之王氏則早受毆打。迫書去職是故丁茲難局。施氏手腕。昔時之排斥氏爲年少無能者。今日始無啞然自失。自咎失言。施氏亦人傑矣哉。但自強自助之國民。須速充實々力。不宜專事外交。實力充實於內。斯國交發揚於外。此點和亦爲施氏之所共鳴歟。

喔々一聲驚曉夢。東來紫氣滿乾坤

曉鷄聲（新題）

戴壽堪篆刻

臺灣產業津梁（一）

臺灣經濟界。近年來仍不振。國計民生。艱難窘迫。對策雖繁。收倍功半。狀態原因。區々不一。大爲環球。小由內地。景氣銷沈。日甚一日。且島內產業之人經營未盡合理。擴張不甚努力。生產費繁。利源不及者有之。供給過剩。販路轉碍者亦有之銷理未精。減其產額者有之。成品不醇。沽不善價者亦有之。中外景況如斯。非自家更奮發實難有補。不易爲力。如北部之茶。中部之米南部之糖。皆本島大宗品也。然一跌價。全島經濟。根本俱矣。北部之石炭。南部之黃麥。固地方特產物也。然一鏡市。全島經濟。亦爲打擊矣。獨大甲之製帽。員林之栽柑。麻豆之產柚。勝求接踵。左右逢源。街庄財政。接濟爲多。本業之損失如此。副業之利得如彼。本業不可恃乎。副業可恃乎。思過半矣。今也內地到處。副業大興。人尚勤勞。地無棄置。年中孜々操作。廣行多角主義。猶往海不擇細流。而生財自成大道。吾人及時效法。則本副業皆足恃。否則遇客歲之失收。反不及三歲之狡兎多矣。歐洲產業之盛。以丁抹爲最。本邦愛知亦以是名。固非一朝夕間。所能企及。然得天時地利獨厚如本島。不論部落或個人。採人之長。補我之短。縱不得其全。亦得其半矣。茲擷內地之尤者。世之人。取其特色美點而參考之。奚患不爲本島興生殖產之一助。使經濟界有所轉機哉。

中農經營方針
村農會所立家家遵守
協力實行全村有利

福島縣相馬郡飯豐村農會查得中農一年缺損百五十六圓。逐年屢借屢多。爲立經營家計方針。使由單純組織。改爲復被經營。惟勤惟勞。可以轉弱爲裕不特不再缺損。反得純益千十三圓。其方針屬經營者。一、縮小水田面積。增加旱地收益。普及裏作二、縮小菜圃。參以養畜耕爲菜圃。三、勞力分配夏少冬多。四、注意市況務使組織合理。屬家計者一、除納公課。償還建築資金。月月於所得工資範圍內。先行預用。貯蓄一成。以備不時之需。二、以主婦當財政。家族所開由主婦給之。三、收入日日除常費外。盡行貯蓄四、除老人外。冠婚葬祭禁用酒類。節約冗費。五家族全部加入保險。農業經營詳之如左。

▲水稻(二町五反二畝)收入六五〇圓(反當收量八俵)二一七圓五〇錢藁價金計六八七圓五〇錢▲支出一六二二圓九〇錢肥料價金一、二二五圓人夫賃、七五圓公課六圓二五、栗種、七圓秋田肥料、一〇圓器具料

▲蓮藕(一段)收入一〇〇圓 ▲支出二五圓肥料、二〇圓人夫賃六圓公課、一〇圓運賃

▲慈姑(一段)收入一〇五圓 ▲支出二五圓肥料金、二四圓人夫賃、一〇圓運賃、六圓公課

▲水芹(五畝)收入二五〇圓 ▲支出三三圓肥料金、四〇圓人夫賃、一〇圓一畝費用、三圓公課、二五圓運賃

▲菜埔(三毛作三段)收入四五圓 ▲支出一八圓肥料金、一四圓四〇錢人夫賃、一圓四〇錢裝貨賃

▲大麥(同上二段)收入四〇圓 ▲支出一二圓肥料金、一六圓人夫賃

▲紫雲英(五段步)收入二九圓 ▲支出五圓肥料金、三圓種子金一〇圓人夫賃

▲園地利用桑園(一段)獨活(一段)早牛蒡(五畝)地瓜(二畝)筍(五畝孟宗)三葉(三畝)秋野菜(二畝)刺瓜茄(三畝)以上總收益三六〇圓四〇錢、貸銀一四六圓四〇錢

▲養畜　鷄、豚、鷄鴨年間收入三三六〇圓、支出三四一圓二〇錢、豚五頭二年間收入二八〇圓、支出子豚購入費五〇圓

▲宅地利用　半促成栽培生花材料等十六圓收入

▲總收益　一、一五二圓三五錢 ▲臨時勞力 其他一三七圓四〇錢

對除收益　一〇一三圓九五錢

農家座右銘
尚勤勞主義
獎勵實行

高知縣農會。以現在農家單不特季節。要操[illegible]。且須新主義。別開生面。爲定八項。獎勵會員實行。錄之如下。一、以勤勞主義始終一貫。二、記帳計畫三、生活簡易。四、注意家族勞力分配。年中不均行工作。日有收入。五、自給自足。六、販賣生產物周到考慮。七、不時留心研究。八、依農事組合(農會爲中心)活動。改善業務以上爲農家座右銘云。

昨年全島大事記（一）

一月

十五日　石塚總督。今朝訪幣原首相代理。表明辭意。次訪松田拓相。提出辭表。首相代理與拓相合議後。十六日伺候葉山行宮。將該辭表及後任奏聞。奉請御批歸京。是晚在首相邸。傳達如下。關東廳長官太田政弘氏任臺灣總督。石塚總督准予開缺人見總務長官。石井警務局長。水越臺中州知事。與總督同時提出辭表。

十九日　兵庫縣知事高橋守雄氏任總務長官。人見長官准予開缺。

二十日　佐賀縣知事井上英氏任警務局長。高雄州知事太田吾一氏轉知臺中州。

二十二日　山形縣內務部長小川泰氏任高雄州知事

三十日　宮原臺南警察署長以部下受賄者出。給二十九日提出待罪書。新井、宮入兩警部引責掛冠。本月臺南州下警官大異動。

三十日　農村疲癈。嘉南大圳水租問題惡化。至南州指定李免延納地域數千甲。

二月

三日　太田新總督着任。

十七日　嘉南大圳區域內地主千餘名。組織地主會在臺南市武廟。舉發會式警官使其撤回反對三年輪作制度之紙片。決議文朗讀中。被命中止。

十八日　臺灣民眾黨全島大會。開于臺北下奎府町本部。提議變更綱領。議論沸騰。被當局命其解散且禁止結社。檢束十四名押收不穩文書。搜查家內

三月

四日　醫師湯文祥。因密造販賣鴉片案。昨年七月。一審罰金八十圓不服。二審懲役六個月。更不服。三審仍照二審判決

十八日　金子南投街長費消公金九千圓。服毒自殺

二十七日　初代臺灣總領事林紹南氏就任。

新農業經營
多角施設
一部落如一家族

兵庫縣農會。最近委各郡農會。調查新式農業經營實施地。迄以津名郡浦村中持部落經營方針。甚合縣農會調查宗旨。該地戶數約六十戶。僻在山間。去年慘遭旱害。高唱多角型農業。即介米作。麥作蔬菜。竹林。蠶業。養鷄畜產加工八部。各置正副部長。設共同採種圃。防病蟲害驅除。栽培上改良競技。共同販賣。品種統一。段別增加。而爲研究實行。尤致力於畜產。所定目標。一戶鷄百隻。牛一頭以上。兒女飼之。頗見起色。菓樹一戶平均植一段五畝。務至昭和十年完成。苟有餘力。開發山地。竹林改放任爲集約。希爲幽西筍之名產地。一面改善生活。如冠婚葬祭等。務使中簡。獎勵行時間云。

曉鷄聲

一名　泥渡　丘維崧

喔々嘐々夜氣淸。月斜幽掖近三更。聲和碧水銅龍滴。唱引丹山彩鳳鳴。長作詩鐘醒醉客。頻催化日放光明。一人有慶當陽祝鵷鷺班聯侍帝京。

二名　竹南　王竹修

花冠早擅德禽名。棲梁待時報五更。喔々幾回茅店夢。聲々喚起玉關情。不因淒景隨鴉噪。祇向朝陽作鳳鳴。大陸睡獅猶未醒聲頻高叫一聲々。

三名　臺中　江介石

味爽雞禽唱一聲。扶桑旭日現光明。德音宛似鳴朝鳳。禁苑非同噪早鶯。戒旦賢妃賢淑德。司晨遐客傷脅征。時膠四境相聞盛安宇女逆步不容。

四名　竹南　劉添貴

大地春回曙色明。金鷄啼曙滿江城。旭光初照昂頭唱。淑氣新催鼓翅鳴。遠近和聲知盛世。高低互唱兆昇平。欣看唱代多祥瑞先在履端報曉晴。

朴子　施雲從氏書

五名　關西　羅慶進

鼓翅長鳴向曙曦。催晨唱破五更溫。嘐々喚醒閨人夢。喔々驚回旅客魂。頻聞數聲光宇宙。恐君一叫轉乾坤。莫誇守信知時鳥報曉淸音達帝閽。

六名　桃園　郭桂林

板橋月落漸黎明。枕畔啼々戒旦鳴。斷絕雄聲催呀念。恐攪徐福逐風湯。否聞攪破佳人夢。茅店驚回逆旅情。不管庭前楓葉亂三時有信報昇平。

七名　新竹　陳金龍

敲殘臘鼓漏遲遲。世界將昏曉不知。忽聽膠膠鳴喔色。欣看戶戶迓晴曦。德禽有德光天下。瑞日無私照海涯。我袞同聲逢聖教孜孜爲善樂明時。

八名　新莊　張長懋

金鷄首唱祝元辰。叫醒鴻鈞萬象新。淡室得雄興赤帝。庭廷爲善率黎民。劉琨起舞心猶壯。祖逖聞聲氣益振。漫學朱窗空對語葉安何以答皇仁。

嘉義　林玉山　氏　畫

曉鷄聲

萬象回春候　群山欲曙時
嘐々鳴乍起　喔々和相隨
引頸矜冠幘　昂頭想羽儀
月將高樹隱　露正短籬滋
夢醒聞應舞　士興戒豈違
頹唐須振作　廢弛待施爲
一日晨先計　分陰晷屢移
玉鷄傳信早　遠近仰堯曦

題天河洗甲圖

施教堂

犇々風雲一掃淸。維揚我武羆長征。國交依舊聯府齒。銀漢重新洗甲兵。王道從來歸坦々。天心不息慶生々。氤氳早得洛風意杲々扶桑日正明。

○　王竹修

隣邦無處不干戈。洗滌全憑天上河。滂澈金波如倒瀉。鋒鉅鐵戟定消磨。拈毫有意閑詩句。展軸如聆奏凱歌。留與群息爭及早唱平和。

○　張寄生

大將專征意氣豪。宣威則漢旌旄。運籌妙算師伊呂。圖畫英姿繪鄂褒。直上星河洗甲冑。早淸狐兎淨蓬蒿。願銷兵及爲農器共話桑麻醉濁醪。

○　江介石

會聞壯士挽天河。淨洗征袍與戟戈。血雨腥風都滌潔。烽煙砲火盡消磨。圖觀駕馬江洲景。題詠灑纓滄水歌。偃武修文崇道德環球從此慶平和。

○　林子楨

甲冑從今長不用。天河淨洗樂昇平。劇憐禹域干戈動。羨煞蓬萊山水淸。偃武林氏欣卒歲。賣刀買犢樂躬耕。沮溺混足滄浪上一曲漁歌世外情。

○　陳濟昌

銀河浪急欲無聲。將帥欣然附甲兵。滌去車塵存志淨。翻來劍影比水清。斷流奚用投鞭事。川武能全止戈名。知是桓々新北士不徒馬上奏功成。

詩壇

曉鷄聲　三屋清陰

籠鷄鼓勁翮。咿喔告清晨大地陽光啓。山河曙色新早鷄豪俊彥。長得迓人親五德稱堯道。三時律舜民好川聯瑞穗。淳俗貴康貧不學浮雲富。偏希世教純雍熙文化洽。赫濯武威伸決鬭雖強勇。日常無失仁

同　題　五十嵐海洲

昧旦將分天地淸。嘐々喔々報鷄鳴。喚回曉日瞳々起。先照扶桑若木明。

同　題　中村貢次郎

盛世昭和茲七年。瓶梅香放色逾鮮。寢鷄三唱晨光白。遙拜東方欲曉天。

同　題　加藤心餘

鷄鳴天欲曉。瑞氣滿乾坤最喜布衣我。行吟樂地存

同　題　大浦思齊

金雞喔々報清晨。瑞氣氤氳曙色新。四海波平初日麗。天南作客又逢春。

新年書懷　五十嵐重四郎

新頒國曆歲推遷。自覺人生幻若煙。百戰光陰過已半。三春景物親應先。壯遊南國雖酬願。高臥西山暫息肩。老去紛華都不管只將文字結因緣。

新年口占　大浦思齊

陰陽燮理氣和平。待挽天河洗甲兵。墻角早梅香欲動。五雲齊日入新正。

新春　富川良俊

天空海底
飛機及潛艇
傾注全力

春風春日曉方春。春水春山瑞色新。最是時清天子聖。賞春人是太平民。

我國人最近以全副力量。注意兩件大工作。一在天空。一在海底。天空者是飛機。飛機之訓練。自小學生研究模型起。以至大學生之實地練習。積極提倡。不遺餘力。政府出重金。獎勵飛渡太平洋。及歐美飛行。中國飛行。內臺飛行。滿蒙飛行。在報紙上。屢奇載其事。一般人民。在天空中亦已司空見慣。各地講習會。關於飛機問題。又大大提倡對於長於飛行之青年。不惜多方羅致。與以熱烈鼓勵。某軍人常作自豪語。謂如果與任何國開戰。在一小時內。可集合飛行隊八百架。機行太平洋。使天日爲之無光。即在社會上。亦以使用飛機。爲發展事業之利器。某大公司有飛行機十二架。某新聞社。有飛機十八架。著名大學。無一不設備數架。以供學生駕駛。近來航空旅行隊。組織日多。社會上試坐者。亦日多一日。女子小孩。多爭一試。而大學生之競爭者更多。在內地人士。幾以飛行機爲尋常交通工具。我國在海洋中之母艦。有四大艘。可藏飛機五十架者一艘。可藏二十五架者二艘。可藏二十架者一艘。聞美國更加精妙。有航空島之設備每島可藏飛機一百架。此島建築有三層。有食堂。有戲場。有臥室。有音樂室。應有盡有。我國人尚歎不如。海底惟一利器。是潛水艇。世界各國潛水艇之精良。在歐洲戰前以德國爲第一。其潛水艇製造計畫。天下無敵。德國遭忌於協約國。此爲其一原因。戰後德國屈服。此計畫不知如何。我國秘密購得。而積極進行。聞此項計畫。有二特點。一爲製造之神速。二年內可造七百架。爲量既多。而質又堅精。一製法之進步。尋常潛水艇深度。只能離去水面一丈。而我國最新之艇。可以離水面二丈。一丈深之潛水艇。在水底動作。水面尚有形跡可尋。猶可在飛機上窺探。[illegible]三丈深之[illegible]動作。水[illegible]空中絕對[illegible]次列強[illegible]力主張限[illegible]出全力阻[illegible]之勝敗。[illegible]之優劣。[illegible]

夏威夷島
阿哇酒樹

美國屬地[illegible]位置于太[illegible]和。所栽[illegible]貿易有刺[illegible]美政府禁[illegible]類。起價[illegible]人。平素[illegible]經濟不振。[illegible]人之資沽酒[illegible]發見一種[illegible]若採取根[illegible]甜如糖液[illegible]麻痺力。[illegible]尤爲猛烈。[illegible]採取作酒料[illegible]

虎尾郡土地
一萬餘甲
年產[illegible]

虎尾郡下。[illegible]庄。二崙庄[illegible]背庄。海口[illegible]據最近當局[illegible]一萬八千三[illegible]人口十二萬[illegible]三人。業農[illegible]四斤。九[illegible]土地二萬九[illegible]戶耕作二甲[illegible]二崙。虎尾[illegible]舊式埤圳灌[illegible]海口。崙背[illegible]千甲中。可[illegible]千甲。昭和五[illegible]額九百萬圓[illegible]四萬九千石[illegible]產額百十一萬[illegible]

蘇門答臘
元旦奇俗

蘇門答臘。[illegible]大島也。地[illegible]屬地之意。按[illegible]馬來。阿剌[illegible]土民。其俗[illegible]於元旦爲尤[illegible]犧牲犀牛互[illegible]常畜喂之。[illegible]御一歐。遊[illegible]歐愈猛愈[illegible]吞噬。土民[illegible]爲祥瑞無可[illegible]行。年々如[illegible]閉戶不敢出[illegible]之禍也。地[illegible]茲已由荷[illegible]其地氣候[illegible]四時園庭若[illegible]花者。秋大似[illegible]落成簇。可[illegible]而帶有酒氣[illegible]元旦欲飲之[illegible]酒。謂爲有辟[illegible]國古俗元旦[illegible]

謹賀新年

臺中市橘町六丁目
ガラス商　コークス
源益昌商店
胡　美

自轉車
飯川商店
臺中市錦町二ノ一五
電話五一一番

臺中市錦町五丁目
金物店　陳金山
電話六二三番
電話一〇四二番

臺中市橘町四丁目
老松自動車株式會社
電話六六七番

臺中市錦町三丁目
力餅
電話二一二九番

臺中市綠川町二丁目
太陽亭
電話四五八番

臺中市寶町三丁目
世帶道具　陶磁器　生花器具
高田商會
電話五二五番

臺中市大正町三丁目
平井順次郎

臺中市千歳町一丁目
特許辨理士　蔡先於
電話三七五番

臺中市寶町二丁目
和洋金物商
大東金物店
電話一六三番

株式會社ラヂオ　ボーレエンジョン代理店
放送協會指定ラヂオ商　電氣器具商
千代仙之助
臺中市綠川町
電話一〇〇八番

臺中市新富町四丁目
自轉車及部分品
共和商店
電話九五四番
陳萬興

臺中市錦町三丁目
精米商
莊昧商店
莊雲臆
電話七〇九番

臺中市寶町三丁目
パン菓子商
星月堂
電話六七番

臺中市寶町三丁目
榮山堂書店
電話三八番

臺中市錦町三丁目
羅紗服地　羅紗商
林乞羅紗店
電話一一三一番

臺中市榮町五丁目
食料品商
金源商會

各種自轉車時約月賦販賣
各種タイヤ及チユーブ
慶輪商會
臺中市既町一丁目
電話七三四番

臺中市榮町三丁目
廣裕興商會
廣裕興支店
電話七四二番

臺中市錦町
和洋諸紙　セロファン紙　石版印刷
白鳩堂紙店

臺中市綠川町二丁目
小間物化粧品　理髮器具
名取屋
電話二〇二六番

臺中市寶町三丁目
春野履物店
電話一〇五九番

臺中驛前
履物商
東京屋

臺中驛前
中央モーター商會

臺中市明治町四ノ四
中央車輛製作所
所主　中村清作

御婚禮用水引細工一式
和洋紙　文房具　印刷
傍士商店
電話三〇三番

臺中市榮町一丁目
小林株式店
電話八〇八番

臺中市榮町二丁目
精養軒
電話二五五番

臺中市橘町一丁目
岩崎印刷所
電話八三六番

臺中市大正町三丁目
手島洋服店

臺中市新富町
榊原辻太郎

臺中市大正町二丁目
商
龜岡商店
電話五二〇番

臺中市大正町二丁目
海陸物產　洋酒　洋食器　食料品
榎臺中支店
電話五〇八番

臺中市寶町三丁目
東京流行履物
角田履物店
電話一一五一番

臺中市寶町三丁目
乃木せんべい
電話一一一四番

漆トラッカー塗
三好漆工所
臺中市大正町二ノ一
電話二六八番

臺中市錦町二丁目
赤尾時計店
臺中市寶町三丁目
杉山時計店
臺中市大正町三丁目
杉　時計店

臺中市錦町二丁目
中山商會
活版石版印刷所
多嘉嶺明經

臺中市綠川町
高須印刷所
電話二七六番

臺中市
吳子瑜

河合ピアノオルガン販賣所
ピアノオルガン販賣所
蓄音器修理
小川公樂堂
小川淨童
臺中市寶町二ノ六　市民館隣

臺中市大正町七丁目
カフエー
トモエ
電話一一六七番

臺中市大正町五丁目
カフエー
太平樂
電話五四一番

臺中
富貴亭

日本生命臺中代理店
水田胸二
電話二〇三番

臺中市
陳新彬

臺中市
常見秀夫

臺中市
小鹽三治

臺中市
奧村文市

臺中市
與田四郎

臺中市
岩瀨啓造

臺中市
福井恭三郎

臺中市
長岡寛

臺中市榮町二ノ四
齋藤守
電話二〇〇番

臺中市大正町二丁目
春田館

臺中市橘町一ノ四
春日館

臺中
太田吾一

臺中
名和仁一

臺中
坂本素魯哉

臺中
大竹勇

臺中
小林五郎

臺中
田原哲次郎
林原彌太郎

臺中
照山昇

臺中
田邊誠一郎

臺中寶町住宅組合
代表者
安田稻實

公證人
正五位勳六等　法學士
佐藤遙
役場　臺中市寶町三丁目二十番地
電話四八〇番

辯護士
遠山景一
臺中市大正町二丁目
電話二七九番

臺中料理屋飲食店組合

大東信託株式會社
臺中、臺南、臺北、新竹

日本生命保險株式會社
臺中出張所長
南嘉吉
臺中市錦町二ノ六
電話一一七二番

臺中市寶町二丁目
福原銃砲火藥店
電話一一一二番

和洋雜貨
臺中市寶町二丁目
貴田商店
電話（三一二）（二二〇）
貴田大紀

歐米雜貨　運動具
臺中市寶町二丁目
清水本店
電話一四六番

臺中刑務所製品
室內裝飾洋家具
臺中市寶町三丁目
松本商店
電話五二番

臺中市寶町二丁目
愛月旅館
電話一二二番

西洋御料理
臺中市寶町三丁目
大正軒
植村タメ
電話二〇八番

臺中市錦町二丁目
棚邊書店
電話一三九番

臺中市綠川町三丁目
棚邊支店
電話一〇七番

日用雜貨
臺中市榮町三丁目
日興商店
電話六〇九番
莊枝

臺中市橘町四丁目三番地
楊阿居陸海運送部
店主　楊阿居
電話五七三番

臺中市錦町
丸三藥房
藤井一康

臺中劇場株式會社
臺中座
電話二〇九番

西大正町總督府中多年の間一方ならぬ御厚情を賜り厚く御禮申上候
引續き市役所を御移轉致す事になりました不相變一層御引立の程希上候
臺中市大正町四丁目
映畫常設
娛樂館
館主　角田
電話九五六番

淺野セメント中部特約販賣
交通局公認運送店
合資會社
三共社商事部
同　運輸部
店主　野中德市
電話一三〇五番
振替二一七番

臺中驛運輸業組合員一同

臺中宿屋組合

臺中州下煙草酒類小賣人組合聯合會

臺中
石川吳服店
平吳服店
肥後屋吳服店

臺灣酒類賣捌人組合
臺中支部員一同

臺中土木建築請負業者

岩田芳次　石田松藏　原田實二郎　新見喜三　本多楨之輔　堀正一　尾田房次郎　川崎勘次　川添進三　淀國造　熊木玉藏　久保文作　小平長重　江尻成美　青木伊之吉　有江直壽　宮崎順造　管太三右衛門　助臺秀太郎

臺中市大正町五丁目
服部醫院

臺中市寶町一丁目
安田醫院

臺中市大正町三丁目
森部醫院

臺中市榮町三丁目
林醫院

臺中市醫師會
吉田清治　辻守昌　古市虎熊　南尚二　鈴木武夫　石津坂一　宮原武熊

新高製糖株式會社

彰化一工場　彰化郡和美庄中寮
彰化二工場　同（電話彰化四四六番）
嘉義工場　嘉義郡大林庄大湖　電話大林一番
大阪工場　大阪市此花區春日出町上七丁目四番地
大阪事務所　大阪市東區博勞町二丁目一番地
東京事務所　東京市麹町區丸ノ內二ノ一八

◇臺中名産バナナと帽子…◇

これぞ臺中州を代表する二大產業でバナナは云ふも更なり新興の帽子は又この二三年來メキ〳〵勃興した產業で而も輸出產業の王座をさへ狙はんとしてゐる品目である

臺中の『ボーシ』景氣

年生產額實に二千二百萬箇

一躍世界的商品となる

太田臺中州知事の談

六年の本島帽子界は未曾有の盛況を呈し一月から十一月までの生產高二千萬箇に達し十二月末には二千二百萬箇を突破した、而して昭和四年の六百五十萬箇、同五年の四百二十萬箇に比すると殆ど三倍乃至五倍に及び、本島帽子界始まつて以來の記錄である

製帽は紙帽全盛であつて四分の三が紙燃帽で占められ、年末に近づいてから細巾紙燃帽と淡色セルロイド紙帽が盛んに出るやうになつた、而して右二千餘萬の價格は四百萬圓で、これを四年の五百萬圓に比するときは安價な帽子の出た事が判るが產額の七割が工賃であるとすると三百餘萬圓近くの工賃が十萬人の女工に分布され、海岸方面の家庭を潤し社會政策上から見ても輸出品として重要產業であることが解る、しかも全島產帽の過半は臺中州清水街を中心として大甲、彰化、新竹等に編まれ、又同州下員林、南投兩郡下及臺南州北門地方に盛んに編まれるに至つた輸出先は米國が八割五分を占め英佛其他三十餘ヶ國であつて殆んど世界的に行き亘つてゐる

增產のわけ

六年に於て何故斯くの如き增產を見たかを考察すれば

（イ）世界的不況は安價な帽子を要求した、本島の帽子はこの要求を充たすことが出來る、即ち一個二十五錢の手編み帽子は本島を除いては世界の何處にも求められない、しかも手編であることに於て艶があり潤ひがあるのである

（ロ）本島帽の中心市場紐育では本島帽子の仕上技術が發明され既時日に米國品たる輸入帽の霧吹、毛立其他の仕上を爲し得るに至つたこと

（ハ）米國が自國帽子工業保護の爲め一昨年の議會に於て關稅を高くしたが獨り本島帽は型を付けず裝飾を施さない未完成帽であると云ふ理由で適用を免れたのである、此の關稅の引上によつて日本及び伊太利の眞田帽が五割より六割に人造纎維使用の製帽が六割から九割に改正され非常な輸出減退を招來したのであるが此の米國關稅が變らぬ限り本島帽が益盛に需要さるるものと豫想されてゐる

當局はこの內に家內工業を獎し外、國際貸借の好轉に資する帽子工業を大に獎勵するため今後にわたり取引の狀況を改善し原料製品檢査等の施設に力を致したく昭和七年度に豫算を計上した將來の指針を定めたいとおもつてゐる

日月潭の工事も

今年からが本調子

手具脛引く地元民への

潤ひもこれから……

日月潭工事、日月潭工事—譫言のやうに、その憧憬は殆どこの十年といふ間臺灣の全島民を夢遊病者のやうにしてゐた。殊にその內でもことに殆ど夢遊病者のやうに『まだかまだか』『いやでも應でも再工して貰はなきや立つ瀨がない』『日月潭工事が復活しなけりや死んでも死にきれぬ』等、等、等、悲痛な聲を擧げて痺れを切らし待ちあぐねてゐたものは何人であつたか、誰でもない、日月潭工事關係の地方民だ。埔里、魚池を筆頭に水社、門牌潭、外車埕、集集、二水等之等の地方民は實に苦節十年、日月潭電力工事の再興を如何に切願したことか、今か〳〵と待ち疲れた商人のうちには遂に夜逃げの餘儀なきに至つた哀れな者も幾人と知れず、中には外債成立の報が傳はつた、前夜逃げ出したと云ふ不運者もあつた程で、さうした人々は運がないと云ふより他仕方があるまい、さて外債成立の報傳はつた時の地方民の喜びはどうだつたらう埔里、魚池等は時を移さず祝賀會を開き歡呼を擧げて熱狂し十年の苦節が報いられたと嬉し泣きに泣いたのであつた、愈々工事は初まつた、昨年十一月二十五日日月潭門牌潭の丘上に於て嚴肅に舉行された起工式を以て今や本格的に工事は初まつたのである、外債成立後[illegible]その第一の新年を迎へ地方民の歡喜は頂點に達してゐる第一工區、第二工區、第三工區、第四工區等の工事區域に近い埔里、第三、第四、第五、第六の各工區に近い魚池、水社、第四、第五工區及び電力會社建設事務所所在地の司馬按、第七工區の所在地たる門牌潭及び之に近い外車埕、水裡坑、集集等の各地方民の大なり、小なり享受する利益は蓋し莫大なものであらうことは想像に難くない所である、いや既に前記各地方民の懐は[illegible]して來つつある際だ、愈々本工事にかかるのは今年からである。愈々潤ひが齎されるのもこれからであらう、山間の森林地帶や國道の穴の奥からダイナマイトの炸裂よく炸裂する音道路の彼方此方を疾驅する乘合、貨物、高級自動車のサイレン、何もかもが賑やかな工事の前途を祝福するかの樣であり閑かな新春の詞を投げて行くかの樣である、昭和七年の先づ第一に關係地方民は此の歡聲を謳歌すると共に、工事の完全に竣功せんことを電力會社及び各請負組と共に新年し晴らかに日月潭工事行進曲を奏でて勇躍してゐる

ボラ漁へ！ 鯔の群だ、高雄州東港郡沿岸一帶の漁夫達は、秋から春へかけて季節の鯔の群の寄るのを待構へて居る、珍味カラスミを市場に送り出す爲めに、そして良い正月を迎へる爲めに見えた！魚群の魚小屋の見張高く赤旗が揭げられるとき、數十隻の竹筏は一齊に船場で四角網を張つて〳〵乘出される

吾らの目標

電燈を輝かすまで

電力會社司馬按建設所長　石井林次郎氏談

昨年六月二十六日突如外債成立の吉報に接した時に自づと流れた嬉し泣きの涙であつたか感激の涙であつたか今尚不明であるが少くとも浮薄の喜びではなく心からな衷心の感激であつたことだけは斷言し出來ることである、昨年中は會社側、請負側とも終始準備工事に一瀉したが本年は年頭より一路に本工事に邁進するので從業員一同の所感は各人千差萬別であらうが胸底を流れる共通の感想は結局に於て本工事そのものの大きな理想のパノラマであらう、沈默した感想を順序よく織り込めば日月潭水電工事の落初より工事完成の暁迄の水路堰堤の見事な大貯溜、此の大給電物が完成された時の歡喜が如何に現されることと思ふ、此の大給電物が完成された時の歡喜が外債成立當時のそれよりより以上のものであらうことは何人も想像し得る所のものであらう、吾々は此の理想の大給電物の完成を目途として邁進し一點一畫之が完成に努力し專心努力する覺悟であり年頭に當り特にその感を深うする次第である

時局隨感

臺中商業學校長　內田佳雄

今回の滿洲問題を有利に解決すると否とは我國にとつて死活の重大問題である、かかる場合に於て我が國民は賢明なる反省をなし國に國として生きるの道を考へなくてはならぬ少しく心あるものは我が國民生活の如何に成長したかを回顧し我が國を充分に了解したいと思ふ

△

我が國が遠い昔神國として創造せられ國北殿鑑の際神の加護によりて救はれて來た事は勿論であるが近代の我が國民は此の事實を基礎として現在を理解しなければならぬ德川封建時代三百年は鎖國主義であつて今から見れば殆んど物の分らぬもののやり方としか考へられぬかも知れぬ、人によればこの封建時代の三百年間諸外國と交通して居つたなれば今日よりももつと〳〵文化が發達し幾十も高くなつて居つたであらう、西洋諸國に比し文化のおくれたのはこのヤボな鎖國主義のためであると當時の政府のやりかたを非難するものもある

△

然し其の反對にも考へらる所謂時代を經てこの封建三百年の鎖國主義は利己的な專橫的な惡弊はあつたとしてもこの時期に於て所謂天下を統一せられた、國民經濟は成立し一つの國民經濟組織が出來上つた併せてあらゆる文物が統一せられ我が國民生活の基礎が出來上り創造せられたのではないかと思はれる、封建政府は大體のやうに成長し三百年にしてそろ〳〵分解作用を起し幕末の內府の威信の失墜となり開國論が天下の大勢となつて遂に倒れたこの大勢に逆行する事は不可能であつた、當にこの時代に國內策の基礎が出來今日の內政のもとをなしたとも考へらる精神生活の方面に於て儒佛を中心とした國民思想が涵養せられ一致團結の美風が出來上つたとも見らるる、三百年も孤立して自足自給の經濟をたて國力を培養した事は世界無比である何れの國にてもかかる長期的の封建時代は經過して居らぬ、この特徵が我が國の強みである永劫の強みである

△

維新以後僅々一世紀にも滿たざる六十有餘年の間に日清日露及歐洲大戰を經て今日にまで成長したのである、これは世界各國の驚異する所である、この事は封建時代に充分に培養した力があつたためである、今日世界の謎の國として存在するのは露國及支那である、我が國はこれ等の厄介な國と隣接し太平洋を隔てて新興アメリカに對して居る、露國は極端なる共產主義の專政に陷つて極端なる專政より脫して居るし、支那は國始まつてより幾千年を大國として存して居るが治亂興亡相つぎ眞に近代國家としては存立して居らぬ、人の生命財產を保證するものは自警團があるばかりである、軍隊はあるとしても政府はあるとしても一二の山賊上りのものがやつて居るにすぎぬ國を思ふといふやうな念慮は毛程もない、唯私利に腐敗して居るにすぎぬ

△

昔孔子や孟子が出て、東洋の高き道德の標準を示されたが實際に行はれて居る事は反對である、これ等の愛國の士は國が紊亂腐敗の極に達したから輩出したのである家貧にして孝子出で國亂れて忠臣あらはれるのである、遂に物質萬能の利己的國民となつてしまつた、米國は資本主義の物質萬能の新興國であるかかる國々の中間に我が國が存在する事は宿命的であり國難に遭遇する事もわかりきつた事である

△

今日經濟上の關係より我が國を見るに支那よりは澤山の原料を輸入し其の代りに製造加工をして綿絲綿布雜貨等を輸出して居る、米國では生絲[illegible]等を輸出する代りに機械類を輸入して居る、云はば今日の我が外國貿易は米支兩國の存在によつて成立つて居るといつてもよい、萬一今回の滿洲問題が擾亂し遂に經濟的の封鎖が實行出來るものとすれば我が外國貿易は全滅である、今日の經濟の立前を自給自足的に改造しなければならぬが其の犧牲は大である、然しながら國の存立上やむを得ざるものとすれば往時の自足自給の經濟の立前に戾る丈の事である、ここに我が國人としての大決心がいるのである、最後の覺悟とはここをいふので、かかる物質的の方面と共に精神的に一層團結の國民精神の光芒を發揮しなければならぬと思ふ、封建時代の精神を振ひ起さなくてはならぬと思ふ

初鷄

服部海雪

初鷄の聲ひつさけり都かにも
むげさきに甘蔗の花の初日かな
拜たたつ百の中の初旅山
門松とならびて梅の盛りかな
春聯に注連の飾りてありにけり
紅名刺ずらりと貼りて草屋かな
若初や支那水仙の机にて
初荷積く山の水牛笑飾りて
眾酒も酌みて祝ひぬ蕃山の春
邪外は甘蔗刈なり松の內

喪中ニ付年始ノ禮ヲ缺ク
員林郡埔鹽庄長　李功垂

賀正
員林郡
溪湖信用販賣購買利用組合
電話九番

賀正
員林郡
溪湖公醫　溪湖信用組合長
楊本
電話一六番

賀正
員林柑橘西瓜同業組合
員林青果輸送公司
電話六七番

賀正
員林郡社頭庄
奎社自動車公司

賀正
員林郡
永靖信用購買販賣利用組合

賀正
員林郡
永靖庄長　陳捷鰲

賀正
員林郡
溪湖庄長　楊春木

賀正
員林郡
大村庄長　賴維種
自宅電話一四九番乙

員林郡員林街員林[illegible]
有限責任　員林信用購買利用組合

員林郡坡心庄[illegible]
有限責任　坡心信用利用組合
役職員　組合員　一同

臺中州員林街五三三
員彰自動車合資會社
役職員一同

員林街　力武卯八

草屯庄長　渥美寬藏
助役　[illegible]　會計役　[illegible]

有限責任　草鞋墩信用購買組合
電話五番

臺中州南投郡草屯庄
李昌期
電話一〇五番

有限責任　草屯信用購買販賣利用組合
電話一〇番

有限責任　集々信用購買利用組合
組合長　[illegible]　理事　[illegible]　監事　[illegible]

臺中州新高郡集々庄
E 國際通運株式會社集々出張所

集々庄集々　山本岩吉

集々庄集々　沈振乾

集々庄集々　松尾武吉

臺中州南投郡名間庄名間
劉阿羅

有限責任　湳仔信用購買販賣利用組合
組合長　[illegible]

南投郡中寮庄
中寮庄長　邱文理
助役　[illegible]　會計役　[illegible]

名間庄長　山口孫一郎
助役　吳紹田

南投街南投
順風醫院

臺中州南投郡南投
張承騰
張慶章

南投ホテル
牧田彥次郎
電話二五番

臺中州南投街
木村醫院
電話一七番

臺中州南投街
古本實

南投郡南投三四三番地
有限責任　南投信用組合

南投街
林文智

南投街
司法代書　柳谷三省
電話二九番

南投街
山田齒科醫院
電話七七番

支那料理
醉仙亭
陳金儀
電話四番

有限責任
內轆信用利用組合

埔里街
澤井益衛

埔里街
長井實一
林其祥

埔里街
深山要助

埔里街
田村健一

埔里街
大久保彥右衛門

埔里街東門通り
和洋御菓子司　一二三軒
御手輕料理　笹卷
仕出一式

埔里、魚池間
貸切、乘合、荷物
二高自動車商會

埔里街
御旅館　能高ホテル

水社　御旅館　涵碧樓
埔里　御旅館　日月館

御料理
相思園

埔里
醫師會
齒科醫師會

取次　山下書籍店
魚池支店

マルエキ埔里本店
同　魚池支店

埔里街
其昌商店

埔里　笹尾[illegible]

埔里　作山[illegible]

埔里街
御料理　喜樂

明けまして
御芽出たう

埔里
御料理　朝鮮亭

埔里
西洋料理　カフェー立鷹

埔里
御料理　カフェー胡蝶

埔里
和洋御料理仕出　カフェー入船

臺灣電力株式會社
司馬按建設所

謹賀新年
元旦
日月潭工事請負人組合（工區順）
株式會社　鹿島組埔里出張所
株式會社　大林組東埔出張所
合名會社　[illegible]
株式會社　高石組司馬按出張所
鐵道工業株式會社　水社出張所
大倉組　門牌潭出張所

魚池庄長
陳金龍

魚池信用購買組合
常務理事　黃成　理事　黃阿[illegible]
監事　呂金傳　石明和

魚池
日用雜貨　食料品
今日星商店

魚池
御旅館　御料理
弘園閣支店

鹿港製鹽株式會社
社長　[illegible]

大甲
金福興運輸部
同　乘合貨物自動車
同　煉瓦陶磁器製造工場

沙鹿庄長
陳添丁
電話二〇番

北港街協議會員
蔡裕斛

北港街
振興公司煉瓦工場

北港街
朝鮮亭　文基錫

新營驛前
運送店

員林郡埔鹽信用組合
組合長　陳奇灶

恭賀新年

高雄市協議會員（いろは順）

飯田耕一
井上忠之助
潘致祥
陳振發
陳冠雄
李炳森
川野福太郎
葉鴻猷
多木龍二
館林恒吉
高木拾郎
馬上福壽
安川精九郎
眞砂由次郎
安藤彦市
清水茂治
芝忠一
杉原佐一

肥料雜穀賣買人
永豐商店
高雄市

工場　東京、川崎、門司、北海道、大阪、臺灣
㊐**淺野セメント株式會社**
高雄臺灣支店
臺北出張所

高雄州高雄市新濱町三丁目五番地
高雄州青果同業組合
電話一一二〇番

中村一造
高雄市

大坪與一
高雄市

高雄
澎湖公會館

高雄貸座敷料理屋組合

高雄市堀江町
森本呉服店
電話四三四番

高雄
小川呉服店

高雄醫會
尾上醫院
渡邊醫院
若宮醫院
小出醫院
海老名醫院
右田醫院
島田醫院
日置醫院

高雄市新濱町
日福材木商行
電話三〇四番

賀正
下村正治
高雄

高雄堀江町
御料理
御園

西仔灣
神戸肉すき燒
濱の家
電話一〇二九番

滋養軒

海産工場

高雄市新濱町
米穀雜貨
下平田支店
小林小太郎
電話三三九番

高雄西子灣
調子庵
本店　電話一一〇二番
支店　電話四六七番

春田館
電話長九一〇八番

高雄市湊町
菅沼商會
電話五四九番

和洋料理
稻福
電話四一八番

高雄市
御料理
聽松園
電話四二九番

高雄市山下町
御料理
茂廼家
電話二〇八番

吾妻支店
電話三三二番
梅屋敷支店
電話三三一番

高雄市山下町
壽旅館
電話七一九番

高雄市旗後町
高砂信用組合
組合員一同

高雄市哨船町四ノ二〇番地
材木商
福森
電話五五二番

割烹
魚まつ
電話五〇九番

高雄市新濱町二丁目
大串運送店
電話一〇三三番

高木拾郎
高雄市

高雄市内乘合貸切自動車業
高雄共榮自動車株式會社
電話一二四三番

有限責任
高雄信用組合

高雄製氷株式會社
湊町貯氷庫

高雄市新濱町二丁目一〇番地
高雄魚市株式會社

高雄市
高雄州自動車營業組合

飯田耕一
高雄

肥料商
英南商行
電話七一五番

平田圭介
高雄川崎汽船株式會社

私書函高雄局第拾貳號
高雄市新濱町一丁目一番地
日東商船組
本店

臺灣鐵工所
株式會社
臺灣高雄

高雄材木商組合

烏樹林製鹽株式會社

陳啓貞
高雄市

茶雅寮
陳中和物産株式會社
電話九八番

內外食品株式會社
臺灣事業所

酒類賣捌人組合
高雄支部
越智寅一
山下一馬
後藤隆志
林傳統
楊縛
鐘鉅

高雄劇場株式會社

高雄市三塊厝
東洋製罐株式會社
高雄工場

帝國生命保險株式會社代理店
眞砂洋品店
眞砂洋家具部

高雄市新濱町
株式會社
國際運輸組

高雄壽町
御料理
高雄花壇
電話一八五番

内外材木商
振成商行

友近求三郎
高雄市

高雄市湊町四丁目十二番地
臺灣鳳梨罐詰同業組合

辰馬汽船株式會社代理店
丸一組
出張所

辰馬汽船株式會社
高雄
基隆
出張員

小野田セメント
大分セメント
高雄特約店
建築材料販賣
隴西商店

米穀肥料
杉原商店

振南鳳梨罐詰株式會社
社長　黃成

高雄市新濱町二丁目四七番地
高雄州米穀商同業組合

有限責任
高雄州米穀信用購買販賣利用組合

呉服洋雜貨
吉井商行呉服部
同　吉井洋品部第一支店
同　吉井洋品部第二支店
同　吉井洋品部第三支店

新興製糖株式會社
製品記號　SAA　SBB　SBR
電話鳳山三〇番

高雄市港町三丁目
辯護士
大橋與四郎

カフェー
電話七二〇番

中野瀰三郎商店
高雄市新濱町
電話七二五番

高雄市湊町
土木建築請負業
東本定楠
電話四四三番

高雄市湊町五ノ一四
三井物産特約店
三井大分セメント代理店
蓬萊商事
豆粕特約店
高雄煉瓦工場
高雄販賣所

高雄
媽基ホテル旅館部
電話二五一番

同
媽基ホテル販賣部
電話二一三番

高雄市新濱町三丁目十五番地
昭和産業株式會社

大日石鹼株式會社

高雄州廳食堂團
團員一同

協和商行

高雄市新濱町
壽山倶樂部

高雄市新濱町一丁目
米穀仲介
高雄商會

高雄市湊町三丁目二六番地
鮮魚仲介商
王沃
電話四八番

高雄新濱町
御料理
寶美樓
電話二〇七番

アイデア寫眞館
電話一〇二三番

氏川洋服店
電話九一〇番

高雄市湊町三ノ一五
中尾岩吉
電話九〇二番

有限責任
北港信用組合
北港街

有限責任
四湖信用組合

有限責任
口湖信用組合

北港街
煙草賣捌人
陳福財
電話一六番

北港街水林庄
紀長

北港街
診療
北港博愛醫院

北港料理屋營業組合

北港郵便局長
秋葉治郎
電話〇番

北港街
御料理
薈英園
劉鎮

北港街
犬塚醫院
電話六七番

金長源商店
蔡山川
北港街　電話六四番

振興工場主
高条呈
北港街　電話三九番

北港街酒類賣捌人
游清松
電話一〇番

永安醫院
院主
洪石
北港街

日用雜貨
建發號
呉石
北港街　電話一〇番

協議會員
蘇石頭
北港街

北港美容所
小竹完
北港街

金棟和
蘇珍

振和材木商行
黃竹根
電話一八番

合興商會

和田廣
花蓮港街

樋口友吉
安田仙八
佐藤淳

有限責任花蓮港信用購買利用組合

陳按察

沈崑山

淺野安吉
花蓮港街

花蓮港廳食堂團

薬と化粧品
海野高砂堂

米　雜貨
梅津商店

片山寫眞館

花蓮港
高橋分店

青山疊店

花蓮港土木建築協會

花蓮港旅館組合

合資會社
株式會社
安田商店出張所

内科　外科　眼科
世香醫院
林世香

有限責任義竹信用購買販賣利用組合

有限責任
鹽水港信用販賣購買利用組合

グレート高雄の底知れぬ膨脹力

市區計畫が追越される始末に

第三次大計畫を立つ

都市の發展は市區計畫が其の根幹を爲すことは勿論である—我が高雄市に於て現に行ひつつある市區計畫は規模小にして年毎に異常の膨脹を見つつある新興高雄市に副はざるものがあるので其の膨脹をして合理化せしむる所謂大高雄建設の基調を爲す大規模の市區改正事業は高雄市民多年の宿望である、之につき今井高雄市尹の所感を叩けば大要左の如く語つた

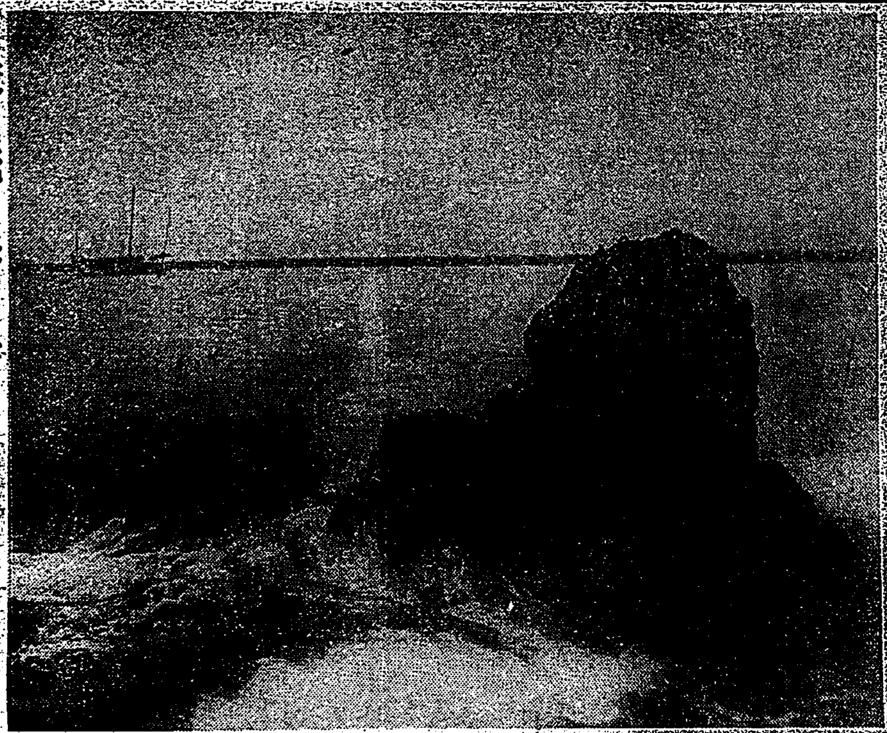
當市の市區計畫は明治四十一年五月時の鳳山廳時代に發表されたけれども其の規模が比較的狹少であつた爲に更に大正八年に至り三十年後の人口十二萬を目標として第二次の市區擴張計畫を樹て同十二年三月に發表されたものが即ち今日實施されつつあるものである然るに大正九年州廳の設置を見て一面地方行政の**中樞地**となり、又一面築港事業が進捗してから市勢は頓に發展し人口も累次非常の勢ひを以て增加し大正八年の第二次計畫樹立後の滿十二年目に相當する昭和五年末にて既に六萬五千を算し年々八萬內外の增加率を示しつつある此の趨勢が將來持續するものとして推算すると大正八年に三十年後の人口十二萬を豫想したものが昭和十三年末即ち十九年目にはその數に到達し三十年後の昭和二十四年末には實に二十八萬餘と**膨大な**人口を包擁し得る事になるから現在實施されつつある市區計畫も又如何に狹少であるかを頷知することが出來る、斯の如く日一日と膨び行く市勢の將來を考察する時、更に第三次の市區擴張計畫を樹立して合理的統制の下に市勢の伸展を促進するの急務なることを痛切に感得されるのである、幸ひ總督府當局にてもとうに其必要を認められ既に調査員を派遣し此の第三次市區擴張計畫の基本調査に着手され將來益々膨大せんとする本市の現狀に[illegible]現に鳳山及岡山兩郡下にかける臨接部落を今測量中で昭和七年一月にはこの測量を了へ三月頃迄には大體の決定を見るものと考へられる、市民は此の計畫の決定と其の發表さるる日の一日も速かならんことを**切望し**てやまないのである、即ち近く發表されんとする此の第三次市區擴張計畫は將來施設の將來を考慮し必ずや商業、工業、住宅及運輸等の各地區が合理的に決定され大高雄建設の基礎をなすに至るべきは想像するに難くないのであるが、此の合理的市區計畫の理想を實現する爲には市の現狀より見て近き將來に於て解決を要すべき幾多の重要問題に逢着して居るのである

中央驛の新設と高雄州右岸の排水工事

第一に市の表玄關たるべき中央停車場の新設である、現在の高雄驛は市勢の發展に伴れて漸く市區の一方に偏在し不便であるばかりでなく**交通上**から將又都市としての將來から見て何人も首肯される問題である。第三次市區計畫の成立と同時に速かに中央驛の位置を決定發表されることは啻り運輸交通上の基礎を確立するばかりでなく、より以上に市の發展を促進し都市美の完成を期し得る所以で市民の均しく渇望する所である。第二には高雄川右岸一帶に亙る排水施設の完成である。現在及將來にかても市の中樞地帶を成すべき高雄川右岸の埋立地一帶の路面は滿潮時にかて海面より低く海水は溝渠に逆流して汚水を停滯底溜せしめ、惡臭を放つのみならず一朝降雨に際會せんか、雨水忽ちにして溝渠に充溢し壽山より落下する雨水と相俟つて低地一帶に氾濫し**家屋は**其の浸蝕の災厄に見舞はれるのである、即ち都市美の完成と衞生的方面から見ても之が對策を講ずることは刻下の急務ではあるが、既に人家櫛比した今日盛土となすは不可能であるが故に溝渠の改造其他汚水處分法を講ずると共に壽山一帶より流下する雨水を適當なる方法に依つて排除することが必要で根本的に技術上の基礎調査を俟つて實現すべき急施事項であると思ふ、第三には高雄川左岸一帶の埋立と新市地である高雄州廳舍の位置そのものが既に高雄將來の中心たるべきを考慮の上建設せられたるは勿論苓雅寮方面の築港工事の進捗、日月潭電力完成後の工場地帶或は中央高雄驛の新設等を考察する時、市の**發展は**勢ひ高雄川左岸一帶に向つて伸び行くことは自明の理である、現にこの方面に家屋を建築せんとする者少からざるも未だ街路を認識し得べき標示なき爲完全なる建築に躊躇するものもある狀態で速かに市區計畫を樹つると共に高雄川の浚渫事業と相俟つて埋立を爲すことが急務である以上の三問題は第三次市區擴張計畫の決定に先き[illegible]事業と相俟つて本市將來の發展上最も重要視さるべき事業的急施事項に屬するのであるが、之が實現には多額の經費を要し財政の現狀に於て今日に實現することは困難の事情にあるも總督府當局の御指導御援助の下に全市民がもつ燃ゆるが如き愛市觀念と協從せる**新興の**意氣とに依り協力一致之が實現に邁進するに於ては敢て難事に非ざるべしと信ずるのである、私は此の信念を以て市民各位と共に大高雄市建設の理想に向つて邁往邁進し一致協力之が實現の促進に邁進したいと思ふ

壬申御題　巖谷小波

一國に萬國の利す網役かな



巖を洗ふ春の海……高雄西子灣にて

猪百頭を射止めた昭和の仁田四郎

村民のため野猪退治をやつた

豪傑鳥丸龍肚公學校長

古への仁田四郎にも比すべき猪退治の猛者……と云ふと少し大袈裟の樣に聞えるが兎に角仁田四郎以上の野猪狩りの名人が高雄州下に居る、此の昭和**武勇傳**の主人公は高雄州旗山郡美濃龍肚公學校長兼[illegible]公學校長烏丸喬[illegible]氏で同氏の野猪狩りと言へば州下狩獵界では誰知らぬ者はないと云ふ程有名なものである何しろ大正十一年に同地へ赴任して以來約十年間といふもの校務の餘暇を見ては根氣よく附近の山野を跋渉して懲した野猪はおよそ百頭に餘り遂に近年同地方には野猪の跡を絶つたと云ふから大したものである、其間最も多かつたのは昭和四年の十三頭、大きい方のレコードは一頭二百八十斤の**大猪と**云ふに至つては恐ろしいものではないか、龍肚部落は美濃庄內の山脚に添うた一寒村で同君が赴任した大正十一、二年頃には、猛しい野猪群が平地に出沒して田畑を喰ひ片つ端から農作物を食荒すので部落民は非常に困つてゐた、其の荒し樣が又甚しいもので一段步餘りの籾や甘藷は一晩間足らずの裡に食ひ荒して仕舞ふと云ふので部落民は色々對策を講じて見たけれど何分相手は向ふ見ずの猪の事だ、結局防ぐ術もなく唯拱手傍觀するの外なかつた、そこへ乘込んだのが若き[illegible]校長烏丸さんである、かうした部落民の惱みを見て生來の**義俠肌**に加へて聞ふだに血の湧き立つ猪狩りと云ふ事が持前の獵奇心を一しほ煽りて遂に村民の爲に野猪退治を思ひ立つたのが其動機であると云ふ、以來十年に近い長い年月數へ切れぬ野猪と飛躍してまかり間違つたら研ぎ澄ました鋼刀の樣な牙に掛かつて大事な命を樽に限らうと云ふ生死の瀨戶際を無事に潛り拔けて來たのは勿論性來の豪膽と精神修養が齎した結果ではあるけれども今一つ忘れる事の出來ないものは狩に際しては寸時も此の手を離れた事のない愛銃である、所が此の愛銃が頗る舊式の一連銃で其爲同君の狩方は勢ひ込んで進んで來る野猪を至近距離二三間の所に引寄せて初めて銃の引金を引く、一彈か二彈しかない爲に**危險率**の多い狩り方である、更にくはしく方法を聞いて見ると元來野猪と云ふ奴は山間の雜木林や叢に隱匿して居て其の通路と云ふものは略定つてゐるさうだ、で其の路は先づ獵犬を放つて猪公の本陣を脅かせる、かうして狩出した奴を通路に待伏せて擊ち止めるのだが之は[illegible]に行つた場合の事で十中の八九迄殺られた奴は所謂手負猪と爲つて牙をむき鼠の樣なり體を跳げて文字通り猪突の勢ひで逆走する、其の物凄さには大概の者が蒼くなると云ふが大膽と言はうか沈着と云はうか烏丸さんは之を眼前二、三尺の所に近寄せて擊ち止めると云ふから其の手練其の**妙技は**一寸眞似の出來ないものがある或る時は彈を打ち盡して危ふく手負猪の牙に掛けられんとした瞬間必死の勢ひで猪の尻尾を握り一擊で撲殺したと云ふ痛快な武勇談もある、其他之に似た珍談奇談は數多くある、だが烏丸さんの猪狩は唯徒らに自己の獵奇心や征服慾を滿足させると云つた卑屈な考へのみで爲されたものでなく部落全般を多年の災害から救はんとして一身を危險に曝らしてやつたものである所に感ずべきものがあり又其の價値がある、近年烏丸さんの猛威に怖れを爲してか部落內に一頭の野猪も見られなくなつてからと云ふものは住民は平穩な時を送り烏丸さんは愛銃を手にする事をプッツリやめて今では平和な此の小部落でひたすら育英事業に**沒頭し**學童や住民を相手に長閑な日を送つてゐる、同氏は普通人に一寸眞似の出來ない事を遣つて除ける丈けあつて見た所頗る勇猛果敢古武士の俤があるが至つて人情に脆く磊[illegible]磊落の質で田植時に成れば自ら泥に塗れて學校園の田植もやれば牛を使つて田の耕作もすると云つた調子で全校の職員、兒童は勿論氏に心服し切つてゐる。又住民間に信望のある事は非常なもので赴任以來部落に起つた爭ひ事は勿論兒童教育其他何事に依らず氏を煩はさなければ治まらぬと云ふに至つては唯之れのみを以てしても州下教育界の傑出せる變り種と云ふ事が出來やう

矍鑠壯者を凌ぐ

八十五歲の老翁

十里の道を自轉車で

時には御壽司の出前持

頭に和を戴き尺餘の銀髯を風になぶらせながら自轉車に乘つて高雄市內を驅け廻り行人の目を惹く老翁は市內後町三丁目吾妻壽司の隱居さん三木[illegible]翁である、翁は

▽…**嘉永**元年一月一日江戶で生れ今年八十五歲の高齡である、年齡に似ず肉付がよく若い者のやうな血色の持主で、隱居の身分では仕事をせずには居られぬ性質で朝は四時に起きて家人を休ませ自分で一切の仕事を遣るのみか忙しい時には町外づれのセメント會社迄でも壽司の五人前位は片手で提げて自轉車を飛ばし、又所用の爲に十里位の里程を自轉車で往復する事などもありて

◇…**壯者**を凌ぐ矍鑠さには驚くの外はない、翁は[illegible]で少壯の頃から柔道と劍道を學び江戶では千葉秋作師の門下として坂本龍馬等と劍道を學んださうだが秋作師の道場開きの踊りに十八人の劍道の仲間と連れ立ち歸宅の途中三州屋で酒を飲み交した狀に時刻の一人が手ごは市人や百姓の酒ることで武士の面汚したと云つて翁が柔道を習つてゐる事をけなしたことから翁は大に

◇…**憤怒**して相手を其場から引出して眞劍勝負を挑じて相手をへこました痛快な挿話もある翁は十七歲で彰義の戰ひに參加したのが初陣で其後幾度か死生の境地に出入し腕前を見せたのは劍道の腕を勤めてゐた父の感化に依るものであらうが、翁の渡臺は三十一年で其臺中上陸後新竹山に落ち付き[illegible]に從事したが病氣に罹る事せられるやうに爲つて蕃地からみ流出の

◇…**名物**男とし持てはやされたものだが、大正三年高雄に[illegible]殿して今日に及んだのである、翁の健康法といふのは別段變つたものもなく、二十四歲迄は日に二升の酒がなくては治まらなかつたのみか非常事の際などは飯にありつけない事もあるので武士として斯る場合に於ける訓練と云ふか用意と云ふか兎に角飯の溜食ひを體苦した其習慣で今でも時には

◇…**溜食**ひをやるなど健康法を無視する逆の遣り方であるにも拘らず矍鑠たる今の健康と活躍は翁自身でも驚いてゐる位で此の調子なら大隈侯の理想ぢやないが百歲の長命を保つかも知れぬと云ふ元氣さは御目出度ことである、武あるものは文ありで翁は若い時から俳句に趣味を有し[illegible]と號す翁の詩歌を左に

勅題　曉鷄聲

不二乃嶺を明きて聲の初音哉

八十五回の春を迎へて

八十餘りの春待ふや梅と我

カフェー　タイガー
筑紫町　小野磯市　花蓮港　電三四番

小出博文堂
花蓮港のメンストリートへ移轉しました　日本ビクター蓄音器特約店
花蓮港黑金通　電三二三番

紙筆墨文房具　出古屋
花蓮港　電二四八番

司法代書　岡林義繼
花蓮港　電三一四番

御料理　花月
花蓮港　電一一六番

米及雜貨商　豐隆支店　王玉寶
花蓮港　電四一二番

御料理仕出し　西簡易食堂
花蓮港　電二六五番

生春醫院
花蓮港　謝萬福　電三四四番

雜貨商　振興商會
花蓮港　許聰敏　電三一九番

生そば、うどん　東京庵
花蓮港　藤井次郎　電一〇五番

鰹節製造業　平山貞市
花蓮港

土木建築請負業　岡本組
花蓮港　岡本[illegible]市　電話三二八番

土木建築請負業　大嶽組
花蓮港　大嶽國三郎　電話二八番

土木建築請負業　大津賀組
花蓮港　電話一六五番

土木建築請負業　角谷組
花蓮港　角谷止六　電話二三四番

土木建築請負業　高橋組
花蓮港　高橋清太郎　電話三三三番

土木建築請負業　田村組
花蓮港　電話二一番

土木建築請負業　安武組
花蓮港　電話二五八番

東部信用組合
花蓮港

花蓮港信用組合

花蓮港
中村五九介
大江虎吉
吉村佐平
小川浩

花蓮港
玉置金物店　電話一六二番
玉置材木部　電話二六九番
玉置彌四郎

花蓮港みやげにあんこ芋
花蓮港名物あんこ芋
ゑびすや　電話三三三番

花蓮港黑金通り
印刷業　中村同生堂　電話一九番

稻垣呉服店
花蓮港　電話三〇三番

臺灣酒類賣捌人組合花蓮港支部
渡邊晋
林彬秀
大村康吉
許柳枝
西澤金次郎

東臺灣無盡株式會社
電話三三九番

花蓮港自動車組合

新築增設新興氣分明るい部屋とサービス
御旅館　筑陽軒
花蓮港　電話四九番

活動常設　筑紫館
奥井利周
花蓮港　電話五五番

花蓮港料理店組合

羽鳥醫院
電話七番
花蓮港入船通り四四
羽鳥重郎
戶谷米之助

住田物産株式會社
花蓮港珈琲農場
本社　大阪市北區老松町一ノ二
農場　花蓮港[illegible]

謹賀新年
蘇澳・花蓮港間
鐵道と自動車連帶運輸
臺灣花蓮港黑金通貳拾壹番戶
東海自動車運輸株式會社
電話　本社　三五二番
花蓮港營業所　四二五番
蘇澳營業所　七五番
出張所　臺北市表町二ノ一四後宮合名會社內
電略（ト）又ハ（トウカイ）
私書函花蓮港局第一六號
振替口座臺灣二八九三番

高雄州協議會員

右田吉人
高橋傳吉
中村一造
大坪與一
柳田金之亟
陳光燦
陳啓峰
楊緒
橋本安博
陳順和
白石喜代治
渡邊發藏
筧千城夫
蘇雲英
龔天隆
林廉
張山鐘
許受全

高雄市　野口敏治

高雄市　今井昌治

高雄市　井上知博

高雄市　陳啓峰

建周金物店

臺灣煙草賣捌人組合　高雄支部

高雄土木建築請負業組合　組合員一同

高雄市　平田末治

高雄市　山本七五三洲

高雄市　梅川伊之助

高雄樓

東美容館

臺灣地所建物株式會社　高雄出張所　基隆出張所

新春樓

謹賀新年　株式會社　竹內商會　本店　支店

高雄驛構內作業團
臺灣運輸株式會社
國際通運株式會社
日東商船組
日野運送店
川田運送店
松美運送店
武智回漕店
臺灣倉庫株式會社
大串運送店

臺灣運輸株式會社

岡山郡　豐澤勇治

東港郡役所　郡守　樋口要司　庶務課長　尾山義一　警察課長　能村他吉

東港街役場　街長　蔡朝取　助役　前田德太郎　會計役　林邦要

新園庄役場　庄長　楊長　助役　陳清溪　會計役　吳漏

萬丹庄役場　庄長　李開山　助役　生田目與又　會計役　林火炎

林邊庄役場　庄長　阮朝江　助役　鄭如南　會計役　林鼎

佳冬庄役場　庄長　蕭恩卿　助役　林劍泉　會計役　羅綸郎

琉球庄役場　庄長　宇田薰　助役　李响　會計役　何寅

佳冬信用購買利用組合

萬丹信用購買販賣利用組合

新園信用組合

東港信用組合

恒春四重溪　公共浴場

恒春四重溪　龜山ホテル

有限責任　恒春信用組合

有限責任　潮州信用組合

恒春郡車城庄長　董清吉

帖佐涉

潮州庄長　尤昆平

恒春電氣株式會社　常務取締役　許清詰

臺灣纖維株式會社　恒春出張所

鳳山街長　平間重兵衛　同助役　王超群　同會計役　李元平

令和發公司

小島丑松

潮州郡內埔庄　鍾幹郎

有限責任　大和信用購買利用組合　組合長　李才烈

布嶼拓殖株式會社

土庫米商改善協會

虎尾　塚本常盤

虎尾　松山松次郎

虎尾　林永振

虎尾　臺西自動車株式會社

有限責任　虎尾信用購買組合　役職員一同

有限責任　土庫信用組合　役職員一同

有限責任　埔善寮信用購買組合　役職員一同

永松藥房

虎尾　御料理　廣松

虎尾　御料理　喜久亭

虎尾　臺灣御料理　春風園

中南旅館　經濟食堂　陳蕭氏招治

廖元胡

虎尾　陳清寅

虎尾　陳變

虎尾　石田辰彥

日興商店

虎尾　大貫洋服店

虎尾　太原製米工場

林本

二林印刷所

大瑞商店

有限責任　朴子信用組合

有限責任　港墘信用購買組合　組合長　許茂元

有限責任　東石港信用組合

有限責任　鹿草信用購買組合　組合長　黃清詰

有限責任　車城信用組合

廖重光

郭新

金輪自轉車商會

鶯鶯閣

聽月樓

有限責任　太保信用購買利用組合　組合長　王國材

ツバメ商會貸切部

朴子自動車株式會社

朴子酒類煙草小賣人組合　組合長　林金璨

醫師庄長　王國材

朴子街長　臺南州協議會員　黃媽典

謹賀新年　刋安全金物商店

泉發商行

泉珍商行

司法代書人　游金堂

張全森

卓和尙

林內自動車株式會社

成春製米工場

保安堂藥房

梅蘭芳醬油工場

共進印刷所

斗六街林內　張旺　張溫良

中和堂藥種商

林固

斗六郡煙草小賣人組合

鄭沙棠

有限責任　斗六信用購買販賣組合　役職員一同

古坑庄長　吳桂春

斗六街　林訓承

街協議會員　李寶

張秋棠

斗六街長　鄭沙棠

周喬木

貸地業　詹受昌

慶茂製米工場

臺灣製糖株式會社

TAB
TBB
F B
F L

EEE
MMM
OOO
PPP

本社　屛東